発行・編集＝塚本学院校友会 企画広報委員会　〒546-0023 大阪市東住吉区矢田2-14-19　大阪芸術大学 Tel.0721-93-3781／大阪芸術大学短期大学部 大阪学舎 Tel.06-6691-7341
Tel.06-6607-1988　Fax.06-6607-7485／発行人＝福永亮碩　伊丹学舎 Tel.072-777-3353／大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 Tel.06-6713-4466

塚本学院校友会誌ウイングス

wings

Number 43

January.2022

大阪芸術大学 / 工芸学科 / ガラス工芸コース
tender flowers　H400×W1400×D1400　岡崎 彩香

作品サイズの単位は mm

大阪中之島美術館開館情報は、館長 菅谷富夫氏、平美代子氏に記事を依頼させていただきました。ありがとうございました。

プチギャラリー Wings に掲載する在学生作品を選んでいただいた　大阪芸術大学 美術学科 版画コースの日下部一司先生、山本善一郎先生、大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 版画担当の安井寿磨子先生、大舩光洋先生、大阪芸術大学 工芸学科 テキスタイル・染織コースの竹垣恵子先生（広報委員）ありがとうございました。

企画広報委員長　田村昭彦

塚本学院校友会
会長 福永 亮碩

ー苦難に耐えてー

新年あけましておめでとうございます。

校友会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心からお慶びもうしあげます。沈静化に向かうと思われた新型コロナウイルスが、変異ウイルス・オミクロン株による感染の急拡大に歯止めがかからない状況になってまいりました。不安な日々が続きますが、感染には十分に注意してお過ごしください。

パンデミック２年目の昨年は多くの貴重な命を奪うとともに我々に物心両面にわたり大きな試練の生活を強いてきました。

この厳しい状況のもとでも私ども校友会は、会員による各種催しの後援、社会貢献活動、支部活動等に対する支援及び会員に対する各種広報活動の充実さらに在学生にたいしては奨学金・学生活動費の助成及び大学祭への支援等一定の成果を残すことができました。

これも偏に会員の皆様方はもとより各学校関係者そして校友会役員の方々の御協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、この暗い世相の中でもアメリカ大リーグにおける大谷翔平選手や我が国将棋界における藤井聡太さんの最年少四冠達成など私共のコロナ禍ですさんだ心を奮い立たせてくれるような活躍がありました。

私が特に印象に残っておりますのは、昨年開催された第 32 回東京オリンピックにおいて、大阪芸術大学美術学科卒業で令和元年度校友会顕彰制度「校友会賞」を受け取っていただいた川西純市様のデザインによる金・銀・銅メダルが各競技の優秀アスリートに贈られそのメダルを誇らし気に壇上でかざすアスリートの姿が今も脳裏に焼きついています。

この偉業を達成された川西純市様の今後の活躍を会員の皆様方とともに大いに期待しましょう。

結びにあたり、パラリンピックの創始者であるルートヴィヒ・グッドマン博士の言葉「失われたものを数えるな！残された物を最大限に生かせ！」この力強いメッセージはパラアスリートのみならず今もってコロナ禍に苦しむ我々への力強い勇気づけの言葉として学ばせて頂きましたとある高僧が語っておられます。

そして、その高僧の『今年こそ、コロナ禍を乗り越えるように“失われたものを数えるな”と常に問い“残された物を最大限に生かす”という気概をもって、今一度皆様と心を一つにして、新しい年を邁進しようと思っています。』という言葉を、コロナ禍に否応でも立ち向かわなければならない我々へのはなむけとして紹介させていただきます。

会員の皆様方にはくれぐれもご自愛いただき、そして大いなるご活躍を祈念してごあいさつといたします。

1　令和2年12月3日（木）　定例役員会
新型コロナ感染防止のため
定例役員会を書面審査に変更

①学生活動支援制度の概要及びその実施が承認された。

2　令和3年8月6日（金）　定例役員会
新型コロナ感染防止のため
定例役員会を書面審査に変更

①令和2年度事業報告・決算が承認された。
②令和3年度事業計画・予算が承認された。

塚本学院校友会一般会計

（単位：円）

科目		令和２年度決算額	令和３年度予算額
収入の部	前年度繰越金	7,987,457	7,247,000
	名簿頒布金	0	0
	基金受取利息	179,504	150,000
	預金受取利息	90	1,000
	一般寄付金	0	0
	広告収入	140,000	140,000
	基金繰入金	43,000,000	55,000,000
	雑収入	0	0
	合計	51,307,051	62,538,000
支出の部	会議費（各種会議開催経費）	3,258,888	5,500,000
	名簿調整費	0	0
	会誌発行費（wings 印刷・送付経費）	15,011,333	17,000,000
	表彰協賛費（催し物協賛）	736,782	3,000,000
	準会員費（奨学金等在校生支援費）	8,076,670	11,000,000
	渉外慶弔費	434,601	1,000,000
	支部開設費（支部開設準備・運営費）	72,124	1,000,000
	記念行事費	0	0
	ITシステム諸費（ホームページ運営経費）	699,292	4,300,000
	雑支出	880	800,000
	事務局費（事務局人件費・事務用品等）	15,769,975	18,470,000
	予備費	0	468,000
	合計	44,060,545	62,538,000
差引繰越額		7,246,506	

塚本学院校友会誌ウイングス Number 43
wings
Index

会長挨拶 …… 1
役員会報告 …… 2
あのころ、あの場所で、Part 2 青春ピロティー道場 …… 4
大阪中之島美術館 開館 2022年2月2日（水） …… 8
大阪中之島美術館 館長 菅谷 富夫さん
工房訪問 レオビジュー 坂井 裕子さん …… 10
キャラクター造形学科棟が誕生 …… 12
文化庁芸術祭優秀賞受賞「みつなかオペラ」 大阪芸術大学 演奏学科 客員教授 牧村 邦彦先生 …… 13
文化の日の表彰を受けて 福原 成雄先生 …… 14
Dear Gallery NARA マネージャー 松本 尚大さん …… 15
「芸術賞」を受賞 大阪芸術大学 写真学科 師岡 清高 元教授 …… 16
1981年度卒業 大阪芸術大学工芸学科 陶芸専攻生 40年後に送られてきた奇跡の卒業アルバム …… 18
箱根寄木細工でSDGsに取り組む。 箱根丸山物産・箱根開発 丸山 一郎 …… 20
最も自由な公募展を目指して ZERO展 …… 22
母校愛のきずな「親子二代Vol.10」 …… 24
令和3年度 校友会顕彰制度と社会貢献等支援事業概要 …… 29
発表します（2022）・発表しました（2021） 会員の各種活動に対する支援状況 …… 30
奨学生の声 …… 34
関西学生・全日本大学 対校女子駅伝結果報告 …… 36
凸凹母校　活躍するOB・OG特集 …… 38
ハガキ短信 …… 48
書籍・CD・DVD出版 …… 52
支部活動　開催報告 …… 54
学校便り …… 62
学生活動支援制度 …… 63
学びのフィールド …… 67
入学試験日程 …… 68
卒業制作のご案内 …… 72
卒業生113,000人とツナガル Business Card Ad …… 74
執筆等、お世話になった方々 …… 76

nostalgic location

連載企画

あのころ、あの場所で、Part 2

青春ピロティー道場

■取材・文責／企画広報委員　和田 貢
■現地撮影・調査／企画広報委員　平松 佑介　東陰地 正喜

現在の12号館　1階部分がピロティー

芸大で過ごした思い出の場所を、当時の写真から探訪し、あの場所は今？を探ります。『あのころ、あの場所で、』は２回目の連載となりました。今回は３名の卒業生から、想いの詰まった懐かしい写真を沢山いただきました。昔と今を比較探訪してみます。

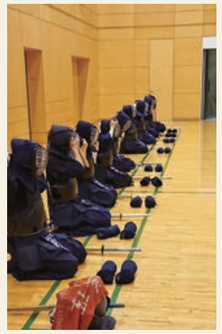
まず皆さんに紹介する写真は、1970年代の12号館ピロティでのひとコマです。芸大の坂を上って正面玄関横にある１階が吹き抜けになっている建物が12号館です。

当時、この１階部分は林流糸東流空手道部･少林寺拳法部･剣道部･正道会館空手道部等、大阪芸術大学体育会武道連合会で道場として使用していました。現在のような立派な総合体育館がまだ芸大に無かったころです。写真は芸術計画学科1980年卒業の片岡昭夫さんからいただきました。片岡さんは当時、少林寺拳法部に在籍し12号館のピロティー道場で毎日汗を流していたひとりです。片岡さんさんが練習に励んでいたころの12号館のピロティーですが、今から10年ほど前に耐震工事を行いました。それで当時よりも１階部分の柱の数が多くなって雰囲気が変わっています。現在は机と椅子が数脚置かれており、コロナ禍の学生たちの自習スペースとして活用されています。近年では舞台芸術学科や演奏学科、ポピュラーダンスコースの学生達が自主練習などで利用している姿がよく見かけられました。今12号館は初等芸術教育学科の校舎となっています。夏は炎天下、冬は吹きさらしの過酷な条件の野外道場でしたが、当時の武道系体育会の部員にとっては、雨をしのげるだけでも、有り難かったとか･･･

現在は､平成11年(1999)に大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)を受賞した立派な総合体育館を、各クラブで使用しています。また大小のアリーナ、トレーニングルームなど体育設備のほか､ギャラリーや食堂､売店などが設けられ、アリーナは、卒業式などのイベントなどにも利用されています。当時のピロティーは、もちろんコンクリート！剣道も少林寺拳法も裸足で行う競技です。また少林寺拳法には受け身があります。

本来、稽古は板間でしますが、怪我を防ぐために畳を敷いて練習していました。剣道部でもコンクリート上でのすり足、足さばきなどで、足の裏の皮がめくれ傷ついてしまうので、後年、シューズを履いて稽古をしていたらしいです。『厳しい条件下でのクラブ活動でしたが、今は楽しい思い出となって残っています』と片岡さんは語っています。

12号館１階部分で練習に励む、少林寺拳法部（左）剣道部（右）



大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）を受賞した立派な総合体育館

OB対談　あの場所、の思い出

今回の対談には当時、同じく剣道部として12号館を利用していました、現大阪芸大体育会剣道部監督の三浦さんにも参加していただき、あのころを語り合ってもらいました。

三浦：懐かしい写真ですね！私が剣道部のころは部員が三名でしたが、少林寺拳法部は部員が多くて羨ましかった。

片岡：確かに剣道部や空手部の方もピロティーを使ってましたね。私たちの練習は夕方からがメインで剣道部は昼休みでしたよね？

三浦：そうです、私たちは昼練習が主体でした。辛かったのは裸足でやりますので、コンクリートの上での練習はきつかった！何度も足の裏の皮がむけました。

片岡：それは大変でしたね！確か私どもの代では剣道部の中には靴を履いて練習していた方もいましたね。拳法部は、中古の畳を敷いてました。少林寺拳法には『受身』があるので、さすがに直接は無理でした。１年生が練習前にセットしました。確かピロティー奥のポンプ室に収納していたと思います。

三浦：私たちの代が剣道部の草創期ですから、片岡さんの入学よりも６年前の話です。やはり少しずつ改善されましたね。部室は敷地の奥、グラウンドの果にありましたよね？今はキャラクター造形学科の立派な校舎が建っている辺りです。部室までは遠く、練習後の疲れた身体には、こたえましたね（笑）

片岡：それに当時は無謀なこともやりましたね！ピロティーは共有部分で通行は自由だったはずなのに、通行しようとする学生に『練習中に入るな、出ていけ！』などと恫喝してましたよね？私たちのクラブは格闘系や武道系ですから通行時の学生に怪我をさせないため、とか大義名分がありましたが、今思えば強引でしたね（笑）当時は上下関係が厳しく、練習も『パワハラ』に近い内容が多かったと思います。今はそんな練習は絶対やりませんが・・・。

三浦：今だと大問題になるでしょうね。当時、流行っていた『花の応援団』などのバンカラ風気質の影響を受けてましたね。今の子たちは先輩後輩の上下関係にとらわれず、和気あいあいと、クラブ活動を楽しんでます。でも我々の年代には嫌なこと、辛いこと不条理な思いもしましたが、今思えば良き思い出ですよ！反面、当時でしか味わえない、楽しいことも沢山ありましたね！これには触れないでおきましょう・・・（両人笑）

片岡：今後も剣道と少林寺拳法の現役を続け、お互い身体に気を付けて頑張りましょう！今日は有難うございました。

三浦：こちらこそ、楽しいひと時でした、有難うございました。

資料・写真提供・対談

三浦栄一さん（左）
1974年 放送学科卒業（05071）
大阪芸術大学 体育会剣道部 監督

片岡昭夫さん（右）
1980年 芸術計画学科卒業（T6020）
岡山市少林寺拳法連盟 理事長
芳賀狭山スポーツ少年団 支部長

こころの駅 Part 2

前号で喜志駅周辺を紹介しましたが、今回は改札口付近の紹介です。改札口ですが、1970年代当時は地上から直接ホームへ入る形式だったのが、現在は一度地下に降りて上り下りのホームへ上がる形式となっています。おそらく、それに伴い駅舎の建て替えがあったものだと思われます。旧喜志駅改札の写真は1976年、片岡さんが入学前に芸大を訪れて撮影したものです。

三角屋根の風情のある駅舎改札口でした。
阪南ネオポリス行やタクシー乗り場の案内が懐かしい。

近年、東口の階段に芸大と近鉄のコラボレーションによる、階段のサインが施工されて、とても目を引くデザインとなっています。また周辺のロケーションは様変わりしても、太子ゆかりの、この石碑は昔からあったと思われます。

青春ぐらふぃてぃ Part 2 成和荘よ永遠に・・・

ピロティの写真をいただいた、片岡さんから別の問い合わせもありました。
前回の特集で学生寮『唐橘寮』の思い出と今を紹介しましたが、今回は太子町の男子寮、『成和荘』の写真をもとに当時を振り返りながら、思い出を語ってもらいました。頂いた写真と所在地をもとに、探索に出かけました。住所が示す場所には、確かに『成和荘』らしき建物が現存していました。

建屋が半分と、前方の食堂も無くなっていました。今は空き家になっています。

お知らせ

塚本学院校友会誌ウイングスでは、会員の皆さまからの『あの場所の今を知りたい！』に、お答えしようと思っています。書面にて、今を知りたい場所や、当時の写真、エピソードなどを添えて、校友会事務局まで、お知らせください。

塚本学院校友会事務局
〒546-0023　大阪市東住吉区矢田2-14-19
塚本学院校友会『あのころ、あの場所で』係宛

写真・資料提供（筆者の青春ダイブ）
岡野憲右さん
1978年　映像計画学科卒業（V4017）
有限会社　ザ・イアーズ　代表
名古屋芸術大学　芸術学科
音楽領域　教授

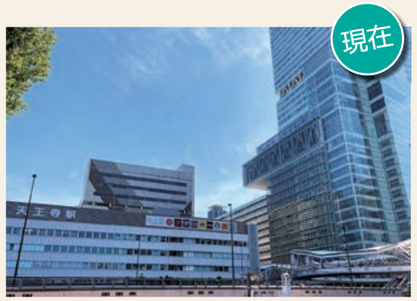
片岡：私が成和荘に入寮するきっかけになったのが、少林寺拳法部に入ったことでした。当時の主将がこの寮に入居していまして、誘われて入りました。人里遠く離れた山奥にあるので、本当は入りたく無かったのですが、1か月2万6千円で朝、夕食付、共同ですが風呂もあったので決めてしまいました。生活してみると、朝食は食パン2切れと牛乳、夕食も食堂奥に住んでいた、管理人が作った献立で、お世辞にもご馳走とは言えなかったです。送迎のバスで帰ると、山奥なので、どこにも行けなくて・・・。16人の学生が住んでいましたが、寂しくて毎晩誰かの部屋に集まっていました。お腹が空いてもインスタントラーメン、コーラ、タバコくらいしか売っていないので、皆で持ち寄り集まっていました。また16人中8名が少林寺拳法部員で、その中に先輩の4年生主将がいますので、クラブの延長のようで、何かと気を使い大変でした。風呂へ行くのも、主将が廊下を歩く足音で判断し、かち合わないようにしました。毎日足音を聞いていると先輩を判別できるようになりましたね（笑）また、当時流行っていたスーパーカーのプラモデルを皆で持ち寄って、夜な夜な、誰かの部屋がプラモデル工房と化してました（笑）

夕食に牛乳とチャーハンを食堂で！
みんなでワイワイ食べれば、ご馳走になります。

片岡さんの部屋にランボルギーニやフェラーリなど世界の名車が集結。
この日は明け方までプラモ工房は続いたらしい・・・

あのころ、みなみのあの場所で

道頓堀界わいの大阪名物『くいだおれ』は姿を消しましたが、かに道楽のかには今も健在！
芸大生が近鉄電車で遊びやショッピングに足を運んだ『アベノ』も高層ビル『あべのハルカス』が建ち、昔の面影は何処に？



同級生から懐かしい写真が送られてきました。
映像計画学科の課題製作で映画パロディをつくろうと『奈良ドリームランド』で撮影中のひとコマ。ドリームランドは2006年に閉園しましたが、1970年代頃は、まだまだ人気のアミューズメント施設でした。当時公開されたハリウッドスター『スティーブ・マックイーン』主演の『パピヨン』をパロディーでと、園内で撮影。周遊していた海賊船から池に飛び込むシーンは（右奥に海賊船が映っています）運営管理者からは危険なのでNGが出ていましたが、私達は諦められず、別の場所から池のフェンスを越えて、こっそりダイブ‼瞬間の写真です。

筆者の青春ダイブ‼

池が濁って底が見えないので深さが解らず、怖くてへっぴり腰でダイブ！迫力ない演技でした。（左：筆者）

大阪中之島美術館 開館
2022年2月2日 水

大阪中之島美術館 館長
菅谷 富夫

大阪中之島美術館の開館にあたって

大阪中之島美術館が来る2月2日に開館します。大阪市が建設準備室を設けて本格的な準備が始まったのは1990年です。その後、バブル崩壊や幾多の社会的な変化を経て、この度の開館にこぎつけることができました。この30年という期間、私たちはコレクション形成に励むとともに、常に新しい時代の美術館はどのようにあるべきかを追い求めてきました。結果として、約6,000点を超える国内では有数の充実したコレクションを持つことができましたし、また計画は市民の期待や行政目的などに合ったものとするために、何度も書き換えられ、更新されてきました。常に市民や時代の要請に応えられる美術館になるための計画作りが進められたのです。さらに今年の夏には、黒い箱を中空に持ち上げたような斬新で存在感のある建築も完成しました。この新しい美術館は、単なる展覧会場として機能するだけではなく、美術やデザインをテーマに多くのみなさんに新しい体験を提供できるアートのプラットホームとして機能していくことを目指しています。アートを学んだ経験を持ち、またアーティストとして活躍するみなさんの目で、ぜひご覧いただきたいと思っています。来館をお待ちしています。

EVENT イベント

1　記念講演会
「大阪中之島美術館・コレクション〈草創記〉」
◎2022年2月5日（土）　14:00－15:30
講師：熊田司
美術史家・元大阪市立近代美術館（仮称）
建設準備室研究主幹

2　開館記念シンポジウム
「日本の美術館が収集した『近現代』
－戦後、バブル、コロナ禍に対峙して」
◎2022年2月12日（土）　13:30－17:00
登壇者（50音順）：笠原美智子（アーティゾン美術館副館長）、寺口淳治（広島市現代美術館長）拝戸雅彦（愛知県美術館長）、宮下規久朗（美術史家・神戸大学大学院人文学研究科教授）
菅谷富夫（大阪中之島美術館長）
モデレーター：田村かのこ
（Art Translators Collective代表）

3　トークイベント
「超コレクション展グラフィックデザインや
大阪中之島美術館のシンボルマークと
ロゴタイプなどについて」
◎2022年3月19日（土）　14:00－15:30
登壇者：大西隆介
（direction Q 代表／アートディレクター
大阪中之島美術館VI デザイナー）
聞き手：平井直子
（大阪中之島美術館主任学芸員）

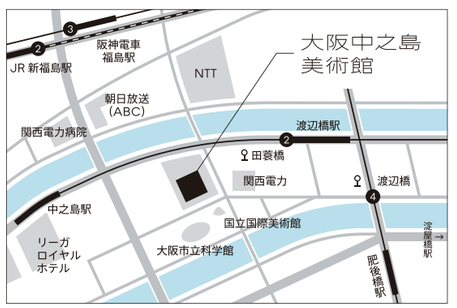
※1、2、3 全て　会場：1階ホール　定員：150名

4　担当学芸員によるギャラリートーク
◎2022年2月26日（土）、3月12日（土）
14:00－15:00
会場：4・5階展示室　定員：50名

※いずれも要事前申し込み。参加費無料、ただし展覧会観覧券が必要。詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

圧巻のコレクション約400点を公開。

1983年に構想が発表されてから約40年。大阪中之島美術館のオープニングとなる本展では、これまでに収蔵した6000点を超えるコレクションから約400点の代表的な作品を選び一堂に公開します。3つの章により当館の収集活動の特徴を紹介し、国内第一級の質を誇るコレクションについて存分にご堪能いただける機会とします。
本展では、コレクションに親しみを持っていただけるよう、作品にまつわる99のものがたりもあわせて紹介。「99」は未完成であることを意味しており、皆さんの100個目のものがたりで展覧会は完成します。本展が大阪中之島美術館のコレクションを楽しみ、末永く愛していただくはじめの一歩となれば幸いです。



〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
TEL：06-6479-0550（代表）　https://nakka-art.jp

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

第1章：Hello! Super Collectors
コレクション形成史の源を紹介

1

2

第2章：Hello! Super Stars
代表的な近代・現代美術作品を紹介

3

4

5

第3章：Hello! Super Visions
デザイン作品を中心に紹介

6

7

8

1 マリー・ローランサン《プリンセス達》1928年／2 池田遙邨（ようそん）《雪の大阪》1928年／3 アメデオ・モディリアーニ《髪をほどいた横たわる裸婦》1917年／4 ルネ・マグリット《レディ・メイドの花束》1957年／5 アルベルト・ジャコメッティ《鼻》1947年／6 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》1891年／7 コロマン・モーザー《アームチェア》デザイン1903年／製造1903-04年頃／8 倉俣史朗《ミス・ブランチ》デザイン1988年／製造1989年

工房訪問

アクセサリーのデザインから製作
そして販売を行う企業

レオビジュー

株式会社レオビジュー
代表取締役　**坂井 裕子**
平成7年度 大阪芸術大学
グラフィックデザイン学科 卒業(D92023)

■レオビジュー(Leobijou)という社名の由来

田村昭彦(以下、田村)
田村:勇ましそうな社名の由来は？

坂井裕子(以下、坂井)
坂井:レオはイタリア語で「ライオン」なんですけど「勇敢な」という意味もあって、「ビジュー」はフランス語で「宝石」。それらを繋げた造語です。
宝石みたいなアクセサリーなので、社名の中にそういう意味合いを入れたかったのと、
前に勤めていた会社が廃業して、それから立ち上げたこともあって、勇敢にやっていきたいという気持ちが強かったのかもしれません。

■ジュエリーとアクセサリー

坂井:最初に目指していたのはジュエリー系の仕事だったんですけど、アクセサリー関係のアルバイトをしていた時に、ジュエリー系の仕事は制限が多い事を知りました。安くしようと思ったら地金を制限したり、地金を制限したらデザインに制限が出てきて大きいものが作れない。そういう制限が出てくることが苦痛でした。
反対にアクセサリーは何をやっても表現は自由です。デザインや形、使い心地、素材、機能性、大きさも制限がないので、それがすごく楽しかった。ジュエリーの道に行ってたら出来なかった事がアクセサリーでは出来るので、そこで広がった感じがします。

田村委員長と坂井さん

■オリジナルブランドとOME

田村:ブランディングの中で何通りかの区分けがありますか？

坂井:大きく分けたらオリジナルブランドが3つあります。ここに新たに古墳のシリーズが入ろうとしています。それ以外はお客さんからの依頼で作るOME(製品の製造委託)になります。その割合がOME6割でオリジナルブランドが4割くらいです。自社ブランドで食べていきたいと思いながら、なかなか難しいのが現状です。自社の強みをどういう所に落とし込んで、どういうモノづくりをして、どういうマーケットを開拓していくか計画中です。

新作の古墳シリーズ

台紙によって商品の印象が変わる

■「ちょいダサ」との駆け引き

田村:用途としてジェネレーションの違いや感覚的なもの。その時のトレンドに乗っかったり、あるいは頑として乗らなかったり。トレンドというのは常に意識に持ちますか？

坂井:基本的に好きなものっていうのはあまり変わらないと思うんですよ。ただ、売れるか売れないかという所ではトレンドが凄くあるんです。いっぱい売れようと思うとどこかに「ちょいダサ」な要素を入れないとダメなんですよ。「そうしたくない」という思いがどこかにあったりして、その辺の駆け引きが難しいです。服とかでも「なんでこっちが売れるの？」っていう事があるじゃないですか。それと同じようなことがアクセサリーにもあるんです。「売れてなんぼ」っていう事を意識しないと、いくらおしゃれでも売れなかったら何の意味もない。

看板犬のレオちゃん

■工房として

田村:素材を純金で作ってほしいなどの依頼はあるのですか？

坂井:たまにあります。結婚指輪とか、個人用に1個だけとか。そういう仕事は受けて個人的にやります。私一人が個人作家だったらそれを受けてやっていけるんですけど、会社としてそういう仕事を受けても食べていけないので、工房としてスタッフがいる以上、ある程度の数の仕事をとって、ある程度のものを沢山作らないと回らない。
本当の意味での大量生産といったら、アクセサリーでも全部海外で作られているわけですよ。何千個、何万個と。海外で作らせた方が安く上がるんですけど、ある程度のスピード感とクオリティーが必要で何百個という仕事が工房では一番多いです。だから大量生産ほどではないけど量産するという事が工房としての仕事のメインになってくるので、沢山売るために何をするのか、一緒に考えていかないといけない。

トロフィーのオーナメントを見せてもらいました。

■錫の可能性と工房の今後

田村:これからアクセサリーデザイン会社として、新たなビジョンを聞かせてください。

坂井:結局コロナになってからOMEが見事に減ったんです。去年まで注文が来てたお客さんが今はゼロという所がいっぱいなんです。そしたら、オリジナルブランドを伸ばさざるを得ない。やっぱりファクトリーブランドって言われるような所だからオリジナルブランドの商品を伸ばしてそれをもっと売る努力をしていかないといけない。

田村:マーケットの開発も入ってきますか？

坂井:そうです。こういう時期だからお客さんからの注文が来なくなったというのがコロナで分かったので、そしたら自分たちのオリジナルブランドをもっと真剣に伸ばさないといけないという所にも気が付いたし、新たにコロナになってからアクセサリーじゃないものの仕事が入ってきたんです。機械に使われるような金具、部品なんですけど、という事は別にアクセサリーじゃなくても良いんですよ。

田村:要するに工房で出来る可能性のあるものという事ですね。

坂井:そっちをもっと伸ばさないといけないねっていうのが分かったんですよ。今まで目を向けてなかったけど、会社の技術として錫を鋳造するっていう所がうちの売りなんです。それを活かせられるものだったら、アクセサリーだろうが他の部品だろうが何でもいいという所に落ち着きました。
今は錫を活かした仕事をとれないかという所で、釣りの重り・ルアーの重りとかの仕事が来てるんです。だから、錫の仕事ってまだまだ伸びるんだと思っていて、別の何か必要とされている物から「錫で作れる可能性」を考えていきたいです。
うちの会社は鉛を一切使っていないので、会社の一番推したい所、そこを伸ばすためのものづくりや、仕事をとってくる事をもっとやっていきたいです。

1階工房

原型製作

遠心鋳造

仕上げ作業

真鍮加工

99.9%と99.99%の純錫による鋳造を行う工房。
鋳造する際の型を作る原型師と遠心鋳造を行う職人、型から外した製品の仕上げを行う職人がいます。
また、型物ではない金属の加工を行う職人もいます。ハンマーで模様を施す「槌目加工」や、バングル用の金属を曲げたり、ロー付けなどの作業も行います。

2階作業場

組み込み作業

事務所

商品のサンプル、アクセサリーの組み上げ作業を行います。奥ではアクセサリー台紙やPR用チラシのデザイン、事務作業などを行うデスクがあります。

坂井 裕子 略歴

1995年	大阪芸術大学 グラフィックデザイン学科卒業
1995～2000年	株式会社ワタナベモニュメント
2002～2015年	株式会社ユタカ
2016年2月12日	株式会社レオビジュー 設立

URL　http://leo-bijou.jp

取材:企画広報委員長　田村 昭彦
撮影:校友会事務局　松本 晴名

大阪芸術大学

キャラクター造形学科棟が誕生

33号館キャラクター造形学科棟 外観

2021年11月、キャラクター造形学科棟として、33号館が誕生しました。

11月18日（木）には竣工式が行われ、神事の後のオープニングにはキャラクター造形学科の学生をはじめ、多数の在校生やメディアがあつまりました。

キャラクター造形学科長の里中満智子教授は「当たり前のことをやっていては、豊かな発想はなかなか生まれない。この校舎で、どこにもない夢を形にしてほしい」とコメント。学生たちは早速、校舎内を見学し写真撮影に盛り上がっていました。

キャラクター造形学科は2005年度に設置され、2013年にフィギュアアーツコースも加わり、漫画、アニメ、ゲーム、フィギュアアーツの4コースからなり744名※の学生が在籍しています。（※2021年11月現在）

9号館の裏手にある撮影所を抜けたグラウンドに建設された新しい校舎は、学生の想像力・発想力を養い、日常からインスピレーションを得られるようにという想いを込め、ドイツのノイシュバンシュタイン城を参考に、内装も細部までこだわって、大学独自の古城のような校舎がデザインされました。

竣工式でのテープカットの様子

中央部分を吹き抜けにした地上4階、延面積4,628.1㎡（1,399.9坪）、高さ36.9m、3階には学生たちの交流の場として府内を一望できるテラスがあります。1階はゲームコース、2階は漫画コース、3階はフィギュアアーツコース、4階はアニメーションコースとなっており、実習室のほか撮影室、録音室、展示スペース、ロッカールームなども充実しています。

新校舎はキャラクター造形学科の学科校舎としてはもちろん、デッサンやドローンの授業、プロジェクションマッピング、撮影場所など、他学科でも教材として使っていきたいとしています。

3階テラス（府内が一望できる）

エントランスホール（4階層吹き抜け）

エレベーターホール

令和2年度（第75回）文化庁芸術祭
音楽部門 優秀賞受賞

第29回 みつなかオペラ

満仲 ～美女丸の廻心

「芸術祭優秀賞」賞状

みつなかオペラ「満仲～美女丸の廻心」劇中写真

開催日時　2020年10月10日（土）16時開演
（15時30分開場）
10月11日（日）14時開演
（13時30分開場）

会　場　川西市みつなかホール

私が音楽監督として関わる「みつなかオペラ」は、客席数500に満たない小さな会場（みつなかホール）で年に一度だけ開催される、小規模ながら日本国内のオペラシーンでは、“知る人ぞ知る“という感じのオペラプロダクションです。

「川西市民オペラ」として出発し、聴衆にとっつきやすい演目を続け、その後「みつなかオペラ」と名称変更してからは、ソリストはオーディション制、コーラスもプロの固定メンバーに絞り、演目もイタリアオペラに特化したドニゼッティシリーズ、ベッリーニシリーズ、プッチーニシリーズとレパートリーを広げていきました。この団体の1番の特徴は、歌手もスタッフも全て関西の人材で固めること。オール関西でもクオリティは絶対下げない、という強い意志を持って取り組み続けているうちに、東京のオペラファンや評論家の耳に届くところとなり、そのうちに、佐川吉男音楽賞や、三菱UFJ信託音楽賞、音楽クリティック・クラブ賞などの舞台芸術に権威ある賞を度々受賞するまでになりました。この度芸術祭優秀賞を受賞した「満仲～美女丸の廻心」は20年前に、前川西市民オペラ実行委員会会長でもあった、作曲家景山伸夫氏が作曲し私が指揮初演した作品です。清和源氏の祖となる《源満仲》が川西の地に寺を創建してから1050年という記念の年の昨年2020年に、私が作品に少し手を入れて再演しました。コロナ禍の公演とあり、出演者・スタッフともにピリピリした毎日を送りましたが、舞台人として生きている証を実感しながら創り上げた感慨深い作品です。この公演が受賞という形で認められたことで、特に感染予防に徹して出演者を守ってくれた舞台スタッフにはとても有難いご褒美だと思っています。

景山伸夫氏の写真を持つ牧村邦彦氏

舞台芸術を生業とすることだけでなく、舞台芸術を愛するものの使命を再認識した公演となり、普段からみつなかオペラを応援してくださる方々への恩返しになったと思っています。

尚、この公演は第18回三菱UFJ信託音楽賞も受賞し、珍しいダブル受賞となり大変話題を呼びました。

1982年　大阪芸術大学 演奏学科卒業
現　在　大阪芸術大学 演奏学科客員教授
牧村邦彦

関西音楽新聞 2020年11月1日

読売新聞 2020年11月30日

令和３年度 文化の日の表彰を受けて

大阪芸術大学大学院客員教授／大阪芸術大学短期大学部客員教授
一般社団法人 日本庭園文化国際研究会 代表理事／塚本学院校友会常任理事
福原成雄

教育功労表彰状　　表彰式会場　ホテルアウィーナ大阪

表彰状を持つ福原成雄氏

2021年11月５日、大阪府教育委員会より「文化の日の表彰」教育功労表彰の表彰状を拝受いたしました。

造園の仕事を始めてから調査、設計、作庭、施工監理、維持管理だけではなく、様々な事情で地域に残されているお屋敷の建物と庭園が取り壊されている現状を見て、なんとか残したいと常々考えていた。

その思いが、大阪芸術大学教育研究補助費を受けて「大阪府下における地域庭園についての調査研究」大阪府内の庭園調査を開始した。そこで、堺市、藤井寺市文化財担当者の方々と知り合い、地域伝統文化総合活性化事業「藤井寺市内所在史跡名勝など文化遺産活性化事業」に伴う協同事業に参加した。

大阪府下の地域庭園（未指定）を調査し、どのような形態、庭園手法によって作られたのか、庭園が現代の庭園文化にどのような影響を与えたのか明らかにすることを目的にした。

ここ数年は、それら庭園の維持管理、修復、復元、改修方法に重点を置き、全国各地で行われている文化財庭園の調査、復元、保存活用整備方法についても調査を行うようになった。

大阪府からの委嘱を受け、大阪府文化財保護審議会委員、続いて岸和田市文化財保護審議会委員、堺市文化財保護審議会委員になり、今までの経験が活かせる立場となり、大阪府下の記念物（庭園）を調査、評価して文化財指定出来るようになった。そのことが認められ教育功労表彰を受けられたと、とても喜んでいます。

今後は、建物は有形文化財（建造物）、庭園は記念物（庭園）として別々に指定されていることに対して、これでは建物は保存されても庭園は保存されないので、建造物と庭園を一体的に保存できるような働きかけをします。

そして、仲間と共に一つでも多くの地域庭園を調査、保存、活用できるように精進してまいります。

さらにこの願いを実現するため、一般社団法人日本庭園文化国際研究会を設立し下記の取り組みをします。

1. 海外で作庭された日本庭園の調査研究事業。
2. 日本庭園の復元、修復、改修、作庭、維持管理、保存活用支援事業。
3. 日本庭園管理技術者国際ネットワーク支援事業。
4. 日本庭園で行われる各種催しプログラム支援事業。
5. 日本庭園の歴史文化、設計、施工、維持管理技術のリモート講演会事業。
6. 施工監理、維持管理、保存活用技術者の派遣事業

2018年度、2019年度とスコットランドコーデン城
日本庭園四季の文化交流展示で万博基金助成金を受ける福原成雄氏

活動履歴

2010年３月	堺市妙国寺国指定天然記念物蘇鉄再生事業石組指導
2010年10月	地域伝統文化総合活性化事業「藤井寺市内所在史跡名勝など文化遺産活性化事業」に伴う協同事業に参加
2000年３月	国際園芸・造園博「ジャパンフローラ 2000」国際コンテストクラス審査団審査委員
2002年～2017年	堺区域花と緑のまちなみコンクール審査委員
2006年	第23回全国都市緑化おおさかフェア自治体出展庭園コンクール審査委員長
2012年８月	堺市妙国寺蘇鉄庭修復工事指導
2013年～	大阪さともり地域協議会審査会委員
2014年～2016年	大阪府下における名勝庭園についての調査研究
2014年～	英国コーデン城日本庭園復元工事設計・施工管理
2014年～	大阪府文化財保護審議会委員
2015年10月	久保惣記念美術館茶庭実測調査 久保惣美術館文化振興財団
2016年～2018年	大阪鶴見緑地内「こどもホスピス創造広場」における創作活動、芸術療法の可能性に関する研究
2016年～2017年	岸和田城庭園（八陣の庭）保存活用計画策定委員会委員
2017年～	岸和田城庭園（八陣の庭）景石等整備検討委員会委員
2017年～	イタリア・ローマ日本文化会館日本庭園修景計画 国際協力基金
2017年	登録有形文化財 和泉市久保惣記念美術館茶室保存活用計画有識者会議委員
2018年～2019年	「コーデン城日本庭園四季の文化交流公演展示」2018 年度日本万国博覧会記念基金助成金
2018年～	大阪府文化財保護審議会副会長
2019年～	和泉市久保惣記念美術館茶室保存活用有識者会議委員
2019年～	岸和田市文化財保護審議会委員
2020年～	令和２年度海外日本庭園修復（エチオピア連邦民主共和国アディスアベバ日本庭園）修復モデル事業の実施に関わる業務 国土交通省
2020年 12月～	堺市文化財保護審議会委員
2021年４月～	岸和田城庭園（八陣の庭）整備計画策定委員会委員
2021年 10月～	岸和田城天守閣耐震対策検討委員会委員

2018年９月　スコットランド　コーデン城日本庭園四季の文化交流展示開催

Dear Gallery NARA

マネージャー
松本 尚大

現在は、平日は会社員、土日はギャラリーのマネージャーをしております。

Galleryの経歴について
2020年８月にならまちにアートギャラリーをオープン
若手作家の支援と地域との交流を柱にして、貸しギャラリーとして運用をしております。

現在、若手作家が展示する機会が減少していく中で、当ギャラリーについては若手作家の展示を通じて奈良から世界へ作品を発信したいと考えております。
私自身が、大学在学中に多くのグループ展や個展を開催したり、ギャラリーでアルバイトしていた経験を生かして、展示や作品のご相談等も受け付けております。

また、通常の展示だけでなく映像や写真機材を導入しオンライン展示やオンラインでのアート教室等を開催する予定で、進めております。

ぜひ、お近くにお越しの際は見に来て頂ければ幸いです。

経歴

1992 年　８月 18 日 奈良生まれ
2011 年　大阪芸術大学写真学科に入学
2015 年　大阪芸術大学大学院に進学。
2017 年　大学院修士修了。

日本写真芸術学会 会員
アート団体 BAC 所属
https://www.bac-b-a-c.com/

【主な個展】
2014 年 「tight」 GalleryPASTIS
2015 年に京都グラフィーのサテライトイベントKG+にて個展「Night a Dream」を開催
2016 年 ひな人形写真展「FOCUS」とんだばやしきらめきファクトリー
2017 年「おちかた」体育館ギャラリー「大阪芸術大学」
2020 年「はなび」Dear Gallery NARA

【主なグループ展】
大阪芸術大学写真学科選抜展「NEXT」ニコンサロン大阪
アジア大学生国際写真展 九州産業大学
「プローニー写真展」 Kobe 819 ギャラリー
写真展「NATURE」NADAR / OSAKA

〈電車でお越しの方〉
近鉄線奈良駅３番出口より徒歩7分
JR線奈良駅より徒歩 13 分

〈自動車でお越しの方〉。
駐車場がございません。恐れ入りますが近くの有料パーキングをご利用下さい。

TEL 090-9166-2413
mail : dear.gallery.nara@gmail.com
add 〒630-8344　奈良県奈良市東城戸町９

web : https://www.dear-gallery-nara.com
Twitter : https://twitter.com/DearGallery
Instagram : https://www.instagram.com/deargallerynara/

大阪芸術大学写真学科　師岡 清高 元教授が「芸術賞」を受賞

略歴

師岡 清高 | もろおか きよたか

1948年、大阪府生まれ。大阪芸術大学美術学科写真専攻卒業
専任講師を経て同大学芸術学部写真学科教授。2019年3月退職。
天野竜一氏、岩宮武二氏に師事。

日本のみならず、パリやロンドン、アムステルダムなど
ヨーロッパの都市を撮影。「閉ざされた記憶」、「刻の表出」、
「うつろう時」などをテーマに自らの心象風景を写真で表現する。
日本写真芸術学会員、日本写真作家協会顧問

令和３年度の第 21 回日本写真芸術学会において、元大阪芸術大学写真学科教授、師岡 清高氏がキャノンサロン S で開催された写真展「刻の表出」展と「丹平写真倶楽部」の文化を伝承した制作活動に対して「芸術賞」を受賞されました。

一昨年、定年を迎えられ大阪芸術大学を退職されてからフランス・パリで撮影された約 90 点の作品を中心とした写真展「刻の表出」は、師岡先生自身が、これまでの創作活動を見つめ、今後の写真家としての作家活動へ進むための決意の表れが感じられる作品が並び、「多様な出会いに、何を語るのか」の問いに答えるように先生は写真を撮って来られました。「私にとって全ての写真の原点はドキュメント。今を撮ることだと思っている。事物に向かい・ふれあい・想像し読み解く。それを記録するのが私のスタイル。出合いの中より知覚した事物を記録し語るようにしている」と写真創作への思いを話されました。「今回の『芸術賞』受賞に関しては、写真展『刻の表出』のみではなく、永く教育者として、また、写真作家として活動を続けてきたことに対しての受賞だと感謝していると共に、今後の作家活動への激励だと考えている」と喜びを語られました。

先生が写真を始めるきっかけは「二人の指導者」との出会いがあったと言います。最初の指導者として丹平写真倶楽部におられた天野龍一先生から写真の魅力を学び、その後、大阪芸術大学で岩宮武二先生を師事されました。「最初の師匠である天野先生は、出会った時にはすでにご高齢で、指導を受け始めたころに喉頭癌を患われ、器具を喉に当てながらお話を聞かせていただきました。まだ16歳だったこともあり、何を写せば良いのか迷うばかりでしたが、月に一度開かれる研究会の中で、それぞれの作品について語られる天野先生の話を聞き、作者の考えを具体化するための方法を指導され、正しい答えや、ひとつしかない答えを求める概念から解放され、何か呪縛から解き放たれたような感動を覚え。写真は、自由に創作を行えるので、私にも何か出来るのではないかと思い更に写真に強い興味を持ちました。そのような写真の魅力に気付かせて頂いたのは、最初に指導を受けた天野龍一先生のおかげだと、今ではありがたく感謝しています」と述べられました。

そして「もっと写真を学びたい」と師岡先生は、大阪芸術大学美術学科に入学され、二人目の指導者となる岩宮武二先生と運命的な出会いがありました。「最初にご指導頂いた天野先生も丹平写真倶楽部におられましたが、岩宮先生も同じく所属されておられ、何か不思議な縁があったように思って居ます。岩宮先生から学べたことは、常に新しい世界を模索すること、今を見つめ続け、常に心のシャッターを切る事、答えが多様にあることなどなど。

作品研究を受ける度に、自分の視野の狭さや解釈の未熟さに気づかさられる事が多く、写真を撮る前にしなければならない事（豊かな知識で対象を読む事）、撮った後も作品の整理と分類するための引き出しを持つ事など。作家としての厳しい姿勢と心構えを指導頂いたと感謝しています」と話す。

先生は、大学を卒業されてから、研究室で副手・助手をされながら、岩宮先生のヨーロッパでの撮影旅行に何度も同行し、「先生から取材の実際を学ばせて頂き、作家としての厳しい姿勢と心構えを指導いただいた」と懐かしそうに語られました。

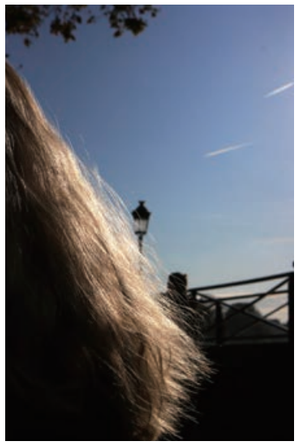
師岡先生も、大阪芸術大学写真学科の指導者として多くの学生を導き輩出されて来られました。確かに、学生たちにとつては厳しい授業もありましたが「学生たちの写真上達を願う気持ちの強さ」が感じられた親身な指導だったと、社会に出てから「厳しさ」に感謝し、懐かしく思い出す卒業生も多い。

東京・品川のキャノンサロン S で 2020 年 2 月から開催された写真展「刻の表出」は、突如発生したコロナ禍の中で休館、開館を繰り返す事態となり、同年８月までと長期に渡る開催など不規則な展示となりました。その事が、コロナの影響で外出が難しい写真愛好家にとっては、先生の作品に触れる機会を増やした事にも繋がったようです。

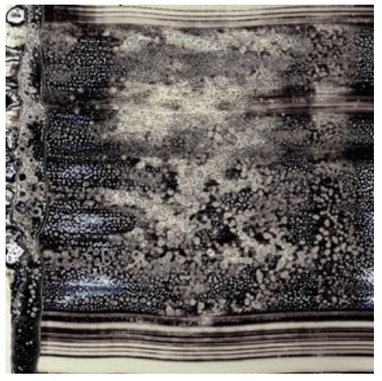
会場の一部には、新しいテーマとして制作された「This word has various meanings」も展示され、「この作品が何を想像させるのか、普遍的な概念と鑑賞者の豊かな解釈が作品を魅力的なものへと導くことを望んでいます。何に見えるか、何を感じるか、どの様に物語を読むか。作者の観点と共に新たなる想像と発見を頂ければ幸いです」と師岡先生は語っています。

インタビューで訪れた奈良・王寺にある先生のアトリエには、書棚に並ぶ多くの写真関係の書籍と共に、写真撮影に使用するための引伸ばし機の台が置かれていました。「いつでも思い立った時に、この部屋の中でも作品作りができるように置いてあるんだ」と「他には何も出来ないから、これからも写真を撮り続けるつもりだよ」と言った笑顔が「写真」への一途な想いが感じられる素敵で印象的なものでした。

文責/大阪芸術大学写真学科卒
企画広報委員　薩摩嘉克



写真展「刻の表出」から



写真展「This word has various meanings」から

1981年度卒業 大阪芸術大学 工芸学科陶芸専攻生

40年後に送られてきた奇跡の卒業アルバム

40年前僕たちは夢の中にいました。まだ見ぬ世界に胸を躍らせ、見るものすべてが輝き、聞くものすべてに感動し毎日が夢の中。何もかもが無我無中の日々でした。

芸大坂から工芸棟へ向う途中聞こえる音楽棟からの音色、突然始まった映像学科の8ミリ映画のロケを横目で見ていると、遠くで舞芸の発生練習の声「ア！エ！イ！ウ！エ！オ！ア！オ！…」油絵具のにおいがする彼とあいさつを交わし、手を藍で染めたオーバーオールの女の子とすれ違うと、金工教室からけたたましく、槌の音が聞こえてくる。陶芸の実習室の電気窯からは還元焼成の煙が立ち上り、誰か一人焚口に薪をくべている。

突然呼び戻される40年前の記憶に、無性に懐かしくリアルでただただ懐かしく、熱いものがこみ上げてきました。

4回生当時(1980年)卒業アルバム制作の話が持ち上がり中島君(中島健蔵氏)が、250枚もの写真を撮りためていました。しかし、当時の紙媒体の卒業アルバム制作には資金が足らず、計画は立ち切れとなりました。

(中島氏いわく、長い長い冬眠の始まりでした。)それから40年後定年を迎えて孫もできようかという60歳も過ぎ、ようよう訪れました！

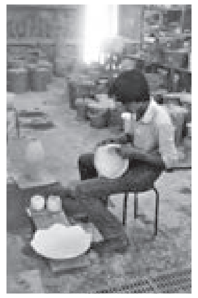
「時代はデジタルへ!」

中島君はとうとう長い冬眠から目覚めました。彼はアルバムの写真をデジタル技術で何とかできないものかと思案。期せずして、よしこちゃん(三原嘉子さん　旧姓 原田)あきちゃん(豊嶋聰子さん　旧姓 池田)のんちゃん(松田徳子さん　旧姓 吉田)の3人の協力を得ることとなり早々「アルバム制作委員会」を立ち上げ、ようやく40年を経て「デジタル版卒業アルバムDVD＆データーCD」が完成したそうです。

奇跡のようなタイムカプセルを開けた同級生からは、たくさんの感動のお便りをいただいています。この記事をお読みになった「1981年度卒業大阪芸術大学工芸学科陶芸専攻生」の皆様、まだお手元に届いていない方はご連絡ください。貴方も是非この感動をご一緒に味わいましょう。

1981年度卒業工芸学科陶芸専攻　十川 英治

連絡先　〒309-1623
茨城県笠間市上加賀田356-9　中島健蔵
Eメール　cloud kthmy@cocoa.plala.or.jp



40年前の私たち

僕たちが在学中お世話になりました工芸学科教授南 和伸先生が、2022年春にご退職されると伺い、一言お礼を述べさせていただきます。
南和伸先生ご退職おめでとうございます。

南先生(左から2番目)

ほんとうに在学中は大変お世話になりました。南先生には入学当初から、陶芸の基本を丁寧にご教授いただきました。40年経った今でも土練り、ろくろの引き方、道具の作り方、すべてが南先生の教えが基本です。学生との距離が近く、私たちの兄のような存在でした。

南先生の優しいお人柄に触れつつ、陶芸を学べましたことを心より感謝申し上げます。本当に長い間ありがとうございました。

出遭いと挑戦　EVANS CASTLE HALL

私たちと同じように、大人になりかけの純粋な日々に、楽しく、チャレンジャーとしての勇気を色付けてくれた大阪芸大時代。大きく成長した今でも気持ちはあせることなく、思いは強く増していき、個人で素晴らしいホールを建設した卒業生がいる。奈良県出身の浅川哲弥氏だ。

彼は日本古来からの奥深い歴史の地である奈良で、固定概念にとらわれず、様々なジャンルで活躍できる表現者たちの施設を造りたいと2019年10月にEVANS CASTLE HALLを(エバンズ キャッスル ホール)オープンさせた。

コンサートや演劇ミュージカル、伝統芸能上映会、発表会、様々な式典にも利用できる大きなホールです。いち早くコロナ禍に関係なく、電解次亜水(食品添加物として承認された、人体に直接取り込んでも全く支障のない水)による館内全体の殺菌･除菌に加え、強制換気システムを採用することにより、会場に訪れる方々や、演出される関係者の方たちの安心･安全な設計になっている。

工芸学科陶芸専攻
40年前　在学当時の浅川さん

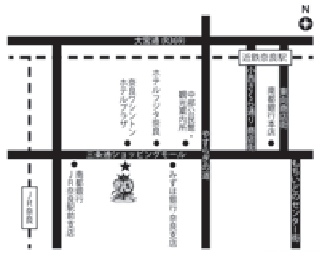
浅川氏は「世に継ぐ大阪芸術大学の学生さんや卒業生の方、より多くの人達に活用してもらえれば本当に嬉しい限りだ。」

「奈良の柔らかな風土と深い歴史の中で鎮座していてもらわないといけないもの、時を経て変わりゆくものとの融合こそが優美で、人々を魅了する芸術文化が誕生する大きな役割を担っているのだと思います。」

と、EVANS CASTLE HALL建設の意義を唱えている。

取材　1981年度卒業工芸学科陶芸専攻　松田徳子(旧姓吉田)

最大収容190席
(スタンディング550人)



〒630-8244 奈良市三条町553
TEL 0742-25-4870
evans-kingdom.com

箱根寄木細工でSDGsに取り組む

有限会社箱根丸山物産　代表取締役
箱根開発株式会社　代表取締役
丸山 一郎　大阪芸術大学工芸学科　1987年卒業（C84131）

今回ご紹介します箱根丸山物産は、芦ノ湖のほとり箱根関所跡近くに有ります。大阪芸術大学工芸学科の卒業生の丸山一郎さんが代表を務める会社です。この会社ではSDGsへの取り組みとして、釘なしで木と木を継ぐ組木を使った箱根細工の技法でつくる、秘密箱の体験や実演などを通じ、伝統工芸の歴史や職人の知恵と技術を大人から子供まで、幅広い年代の方々に広める活動を行っています。

箱根丸山物産

外国人にも人気の体験教室

箱根寄木細工をメジャーに、そして世界に!!

約200年の伝統があるとされる箱根寄木細工。その製造・販売を箱根丸山物産は手掛けています。昭和40年代から箱根細工の実演販売を箱根湯本指物組合と共に日本各地で初めて行いました。その後、箱根寄木細工のブランド性を高め、知名度を上げようと平成5年にはインターネットでの通信販売も開始し、海外観光客の増加に伴い、外国人対応の販売にも力を入れています。そしてインターネットの普及に伴いAmazonでの販売や楽天市場、Yahoo! ショッピング等、ネット通販でも販売実績を大きく伸ばしています。

日本の伝統工芸品である箱根寄木細工を、歴代の名工に支えられ、多くの人に提供し、伝統文化を守り、伝承できるよう日本のみならず海外にもグローバルに発信し続けています。

箱根寄木細工ワークショップ

からくり箱　箱根富士

箱根寄木細工　秘密箱　黒手毬

裂織職人との結束

SDGsへの熱い想い!

箱根丸山物産では伝統工芸の歴史や技術をより多くの幅広い年代の方々に伝承する手立てとして、大人数への周知や発信を行うため他施設への出張体験も行っています。外国人観光客はじめ地域や国を問わず、平等な対応を心掛けています。今では義務教育での社会科の勉強として、県内外から毎年20校を超える学校が箱根寄木細工の歴史や基本を学びに来ています。近年コロナの影響もあり、インターネットでのオンライン体験の導入やライブコマースを取り入れることにより、世界へも日本伝統的工芸である箱根寄木細工　秘密箱、からくり箱をリリースしています。

『かながわSDGs』『おだわらSDGs』のパートナー企業にも登録され、端材を利用した商品開発やゴミ削減にも取り組んでいます。また裂織職人と協力をし、余った端材を利用して無駄にならないよう織物にできないか等、SDGsへ寄与できるよう試行錯誤を繰り返しています。箱根のひのきの間伐材を使用することで地域経済循環の促進も進めています。

かながわSDGs、おだわらSDGsのパートナー登録証

『物が溢れている時代だからこそ、物に愛情を持って大切にすることを伝えていきます』
と丸山さん。2013年には、「箱根からくり美術館」を開館。秘密箱の歴史や秘密箱から発展してできた「からくり箱」を鑑賞、遊べる場として話題を呼んでいます。また、皆さまから頂いたアイデアを作品化する、からくりパズルアイデアコンテストを年に1回開いて募集しています。

箱根細工とは？

もともと日本伝統の建築で用いられる、釘なしで木と木を継ぐ組木技術を使った工芸品です。実用的な、この技術から、箱根の多様な木材を使って模様を描きだしたり、手順を踏まなければ開けることができない秘密箱／からくり箱の技術に発展してきました。今は、箱根地域が国立公園に指定されたため、箱根の木は材料にできなくなりましたが、日本古来のホオノキ、ミズキ、ケヤキ、桜などを使うことで、着色しない自然な色で模様を作り出しています

文責／企画広報委員　和田 貢

SDGs

「SDGs（エスディージーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。貧困、紛争、気候変動、感染症などの課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成された持続可能な目標のことです。

最も自由な公募展を目指して
ZERO展

ニューアート・ZERO会は、2000年「新しい世紀に新しい創造」をテーマに理想の公募美術団体にしようと設立されました。ZEROの名称は、ちょうど世紀の変わり目で「ゼロから新しい美術の潮流を作っていこう」という想いが込められています。2001年より毎年春に大阪市立美術館にて「ZERO展」を行っており、2022年2月には22回目の展覧会を迎えます。公募は、大きさがほぼ無制限の［本展］、F0号サイズ（14×18cm）限定の［0号展］、高校生以下対象の［子どもの部］の3部門に分かれますが、それぞれの部門内でジャンルは問わず、絵画もプリントも立体も工芸も映像もインスタレーションも同等に扱われ、審査されます。

年齢・経歴・国籍・地域を一切問わず、平面・立体とも技法を問わないという自由な発表の場を提供し、従来の「絵画・彫刻」の枠を越えた、様々なジャンル・技法の作品が出展され、観る人に新鮮な驚きを与えてきたと自負しております。
また公募した入選作品だけでなく、特別企画展も併設しており、総合デザイナー協会（DAS）のご協力のもと毎年「テーマ『0』のポスター展」を、また堺市健康福祉局のご協力のもと障害者アート展「sakai ARTcation」の選抜展を行っています。公募展と合わせて、実に様々な表現が一堂に会した展示となっており、毎年4,000名を超える来場者の方々にも喜んでいただいております。

会長の私・松井公一をはじめ、当会には大阪芸術大学や短期大学、大阪美術専門学校の卒業生や教員が多数所属しており、毎年のように入賞者の中に校友の名を見つけることができます。また、開設当初より大阪芸大の美術学科長であった松井正先生の名を冠した「松井正賞」を設けており、塚本学院との関わりが深い団体です。さらに2018年より、塚本学院校友会の社会貢献事業の一環として「塚本学院校友会会長賞」もいただいており、こちらも学生や卒業生の受賞が相次いでおります。ニューアート・ZERO会の活動から、新しいアートの胎動を感じていただければ幸いです。

ニューアート・ZERO会　会長 松井公一

ZERO展の募集要項やポスター類は前年度のDASポスター展（河村美代子さんのデザイン）よりヴィジュアルを使用させていただいております。

2022・ZERO展

2022年のZERO展は2月に大阪市立美術館で実施されます。関西だけでなく、全国から意欲的な作品が集まりますので、お近くの方はぜひご覧ください。
また、1月末まで作品募集も行っております。大作はもちろん、F0号サイズ限定の［0号展］の部門もありますので、ぜひ校友のみなさまの作品、またお子さまやお孫さまの作品を気軽にご応募ください。お待ちしています!

展覧会実施概要

会期　2022年2月22日（火）～2月27日（日）
9:30～17:00
会場　大阪市立美術館（天王寺公園内）
地下展覧会室　【入場無料】

https://newartzero.com

募集概要

申込期間　2022年1月1日（土）～1月31日（月）
搬入日　2022年2月15日（火）
※委託の場合は事前に指定業者に連絡
搬出日　2022年2月28日（月）
出品資格　他の公募展に出品していないオリジナルの作品に限ります。平面立体を問わず素材・表現は自由とします。また、出品者の年齢国籍等は問いません。
（※［子どもの部］は高校生以下）

詳細はニューアート・ZERO会のウェブサイトをご覧ください。

ヴァラエティに富んだ作品群が自慢です　校友による受賞作品から

わらびもち「Tortoiseshell cat」
2019 松井正賞（美専）

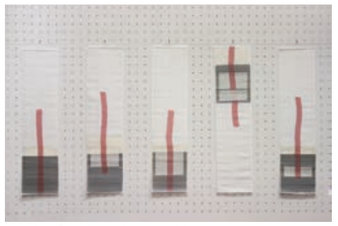
河合芙幸「Blue blue Blue」
2019 ZERO展大賞（大阪芸大）

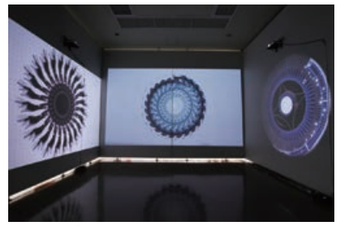
ヨネダマユミ「ボーダーライン」
2001 ZERO展大賞（美専）

久野安依子「母神」
2009 ZERO展大賞（大阪芸大）

高橋亜希「地点」
2020 20周年記念賞（大阪芸大）

大濵千尋「Blooming」
2019 塚本学院校友会会長賞
（大阪芸大）


竹垣惠子「1/f（エフぶんのいち）」
2021 塚本学院校友会会長賞（大阪芸大）


東陰地正喜「くるめく」
2021 ZERO展大賞（美専）

植田伸一「Athletic」
2016 松井正賞（大阪芸大）

上田佳奈「shadow-casting」2018 塚本学院校友会会長賞（美専）

服部年弘
「八咫烏（ヤタガラス）」2017
松井正賞（大阪芸大）

増田素子「想いのかけら」
2018 松井正賞（美専）

坂本政幸「クロスタノイブルク（オーストリア）のぶどう畑の丘からの眺望」
2021 会員賞（美専／大阪芸大）

坂本大地「series F0」
2020 0号展ZERO会賞
（大阪芸大）

井本雄三「funk storage」
2014 新人賞（大阪芸大）

上杉美岐
「水ぼうそう・ローマ法王・重役・ミイラ・ポーク」2018 新人賞（美専）

久保田晴名「馨りに誘われて…」
2019 新人賞（大阪芸大）

小西聡甫「その変化」
2020 兵庫県議会議長賞（大阪芸大）

母校愛のきずな 親子二代 Vol.10

ん？三代？
実は、芸大一家？！

Profile
森脇英哲
Moriwaki Eitetsu
学生番号　J21030

大阪芸術大学
初等芸術教育学科
在学中

英哲さん(家の前の道路にて)

なぜ、芸大を選ばれたのですか？

息子の英哲さん(以下、子)

子：選んだきっかけは高校の先生から勧められたことですが、芸大は祖父や父母の母校でもあるので決めました。

実際に芸大に入学されてどうでしたか？

子：入学して大学の新しい友達ができ、楽しい大学生活を過ごしています。

お子様が芸大に行くとなった時、どんな思いでしたか？

母の早代さん(以下、母)

母：私達にとって大学生活はとても有意義なものであったので、子供にも大学には行って欲しいと思っていました。芸大は楽しいよとは伝えていましたが、絵は好きで描いてはいましたが、さほど芸術全体的に興味があるかないかわからない子供時代だったので、大学に芸大を選ぶとは思っていなかったのですが、同じ大学に入学できて、また、コロナ禍の中でも友達が沢山できたようで有意義な大学生活を送っているのでよかったと思います。

森脇 元太郎さん 早代さん 英哲さん 親子

森脇夫妻(ご自宅にて)

Profile

森脇元太郎　Moriwaki Gentaro
学生番号　F92-128
平成７年度 大阪芸術大学 美術学科 卒業

森脇早代　Moriwaki Sayo（旧姓：岩本）
学生番号　F92-021
平成７年度 大阪芸術大学 美術学科 卒業

在学中の思い出や印象に残っていることは？

父の元太郎さん(以下、父)

父：立体造形を中心に触れて楽しめる作品を制作していました、溶接や板金塗装など今の仕事にも通じる所があります。在学中は色々な人と知り合い、良い意味で価値観や常識に囚われない自由な発想が飛び交う、とても有意義な大学生活でした。

母：大学生活の中で印象に残っていることとして、日本画の授業で校外に出ることがあり、いろいろな場所を見学後、先生の家に招いて頂き、いろいろな話で盛り上がったことや、よく友達の家に集まり話をしたり、当時は今よりカラオケが流行っている時代だったので喜志駅近くのカラオケに行ったりと人生の中で大学生活でしか体験できないことを沢山経験することができた大学生活でした。

現況の活動等のご報告。

父：会社員で二輪の整備士をしております。

母：幼稚園の課外保育で絵描教室にて幼稚園児に絵を教えています。

絵画教室についてお伺いします。

母：絵画教室についてですが、幼稚園児中心なので絵を教えると言うより好きな絵を描いてもらった後、空白部分に対して一緒に考えて付け足して絵を作成しています。

子どもたちの興味を引き出すのは難しいですか？

母：年少さんには、顔描くときにお目めどこ？鼻？口は？髪の毛は長い短い?とか私の目を見てもらって目の中黒いよねと話ながら絵を描いて貰ってます。
また、人物しか描かない子供には、どこに居てるのか、家の中か外か、天気は晴れているか雨、曇りかどうか、今日は色塗らないと言う子供には一色でも塗って貰う方向に話をします。

早代さんが課外保育を行ってる幼稚園の園児たちの作品

お子さんが絵を描き始めた時は嬉しいですね。

母：子供なので自分の思い通りにならないと描かないと言うこともありますが出来上がった作品に満足したときの笑顔、お絵描き大好きで絵画教室を楽しみにしてると言ってくれたり、卒園しても絵が好きでずっと絵描いてますという言葉が嬉しく、私自身まだ至らないことも多いですが続けていければ良いなと思います。

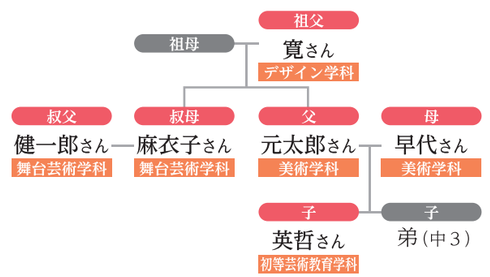
早代さんが課外保育を行っている幼稚園の園児がプレゼントしてくれた作品

元太郎さん(父) のお父様も芸大とお伺いしました。

父：数年前に亡くなったのですが、大阪の本町でデザイン会社を経営してました。

母：主人の、妹夫婦も芸大です。

まるで芸大一家ですね。つまりこういうことですかね。



Profile

森脇　寛　Moriwaki Hiroshi
大阪芸術大学 デザイン学科

倉田麻衣子　Kurata Maiko（旧姓：森脇）
学生番号　S94-113
平成９年度 大阪芸術大学 舞台芸術学科 演劇コース 卒業

倉田健一郎　Kurata Kenichiro
学生番号　S94-051
平成９年度 大阪芸術大学 舞台芸術学科 演劇コース 卒業

そこで…

元太郎さんの妹さんの倉田さんにもお話を伺いました。

芸大を目指すきっかけは？

元太郎さんの妹、倉田　麻衣子さん(以下、妹)

妹：私が大阪芸大を目指すきっかけとなったのは、高校の同級生のお姉さんに演劇部の部員が少ないからお手伝いがてら入部してほしいと言われ、そこから全てが始まりました。
女子校で、なおかつ顧問が歴史の先生だったからか結構お堅い演劇？(大阪弁の昔ながらのイントネーション重視) をしていた私が、当時人気だった劇団の公演を小劇場に観に行き、「こんな演劇もあるんかぁ、めっちゃワクワクするやんか！」お堅い演劇しか知らなかった私はアッサリ魅力にハマった訳です。
小劇団の魅力に触れ、父が芸大だった事、また２つ上の兄も芸大に合格した事も私が舞台芸術学科のある芸大受験に目を向ける後押しとなりました。
「芸大行きたいなぁ」と私、「無理、無理！絶対落ちるわ！」と兄。
その言葉に触発されない訳がありません。
「めっちゃ腹立つ！絶対受かったる！！」その決意と共に無事、芸大合格を果たした1994年の春でした。

舞台芸術学科の生活はいかがでしたか？

妹：びっくり箱のような学生生活。舞台芸術学科の皆んなで一から創り上げるドキドキの舞台、授業の一環での能舞台経験、映像学科の自主制作映画の撮影に参加したり…、沢山の恩師にもお世話になりました。
「お前さんはよぅ」いままでそんな呼ばれ方をした事が無かったけれど、恩師の故 山口竹彦先生に呼ばれると不思議としっくりくるものがありました。
本当に懐かしく、楽しい思い出だらけです。

芸大一家？！

妹：父、兄、義姉、私、甥、全員ジャンルは違えども、大阪芸大という共通点はなかなか底力のあるものだと思います。
ちなみに、私の夫も芸大卒で、正に「芸大一家と呼ぶのに相応しい！」と思うのは私の贔屓目かも知れません。

妹の倉田さんご夫婦も芸大卒

思い出の自主制作映画達

ありがとうございました。
芸大とのご縁にビックリ。
素敵なご家庭の活躍をスタッフ一同応援しております。

文責／企画広報委員　下村宗生

母校愛のきずな

親子二代

Vol.10

佐藤 武司さん
はるかさん
幸一郎さん 親子

佐藤夫妻(自宅兼教室にて)

Profile

佐藤武司　Sato Takeshi
学生番号　F88-050
平成４年度 大阪芸術大学 美術学科 卒業

佐藤はるか　Sato Haruka（旧姓：鎌田）
学生番号　F88-032
平成４年度 大阪芸術大学 美術学科 卒業

幸一郎さん
（陶芸実習室にて）

Profile

佐藤幸一郎　Sato Koichiro
学生番号　C20-017
大阪芸術大学 陶芸学科 在学中

大阪芸術大学に進学しようと思われたのはどのようなきっかけだったのでしょうか？

父の武司さん(以下、父)

父：高校から美術に特化した高校に通っていた為、その流れで受けたら合格しました。

母のはるかさん(以下、母)

母：体育大を志望していたのですが、怪我で体育大を断念しました。教師になりたくて、次に得意だった美術で教師を目指そうと芸大を志望しました。その時には、かなり勉強しました。

息子の幸一郎さん(以下、子)

子：高校で出会った陶芸をもっと突き詰めたいという気持ちで芸大を志望しました。両親も中学の美術の先生も高３の担任の先生も大阪芸術大学の美術学科の卒業生というのもきっかけでした。

幸一郎さんと芸大には、そんなご縁があったのですね。それではご両親に伺います。息子さんが大阪芸大に進学されることをどのように感じられましたか？

父：ちゃんと絵も描けないのに大丈夫かと思っています。今と昔では大学生活もかなり違うものと思うので、やるべきことはしっかりやって、自分なりに楽しんでくれたらと思っています。

母：進学出来たことが奇跡かと思うほどです。本人がやりたい事があり進んでいくのなら応援しようと思っています。私は芸大に行けて良かったと思っているので、コロナ禍でも芸大でいろんなことを経験して欲しいと思います。

息子さんにお伺いします。ご両親が美術学科の卒業生でいらしたわけですが、進学をされるときにきっかけのひとつになりましたか？きっかけになったとしたら、具体的にはどのようなことだったでしょうか？

子：小さい頃、大人はみんな絵が上手くてなんでも作れるのだと思ってました。父はものを作る仕事だと聞いてましたが、遊びに行った遊園地のメリーゴーランドの壁や天井の絵が父の絵だと聞かされたり、幼稚園や小学校で、文化祭や広報新聞にイラストや絵を描いてくれて自慢の父でした。私が高校の時に父の高校の時の絵を見て同じ高校生の絵とは思えず驚きました。母もまた、絵も上手いし粘土で何でも作ってくれて、母手作りのお弁当はクラスの子たちがみんな見に来ていました。それが大きくなって両親が大阪芸術大学出身ということを知り、両親の先生や友達の活躍を見て「芸大ってみんな凄いんや！」と思っていました。無理かもしれないけど、私の1つの将来の夢に大阪芸術大学はありました。私は両親とは違い絵もそんなに上手くないし飛び抜けた才能もないけど、高校の陶芸作品だけは父も母も褒めてくれて、今思うとそれが陶芸を楽しいと思うきっかけになったと思います。今両親は画家でも彫刻家でもないけれど、特に父は周りの大人とは違っていて、今もだいぶ変ってますが、ストイックなものづくり精神は健在です。母は芸術とスポーツを通して教育の分野で幅広く活動しています。周囲の人たちに頼りにされる、そんな母の姿を見て、私も母のような教師になりたいと思っています。

ご両親に伺います。学生時代に影響を受けた先生などいらっしゃったら教えてください。
また、印象に残ったことなど教えてください。

父：特にありません。

母：私は影響を受けた先生がたくさんいらっしゃいます。
１回生の時に受けた彫塑概論の河合隆三先生の授業が面白くて、彫塑専攻を決めました。石彫を専攻していたので菅原二郎先生のスパルタ授業は忘れられません。２回生で、最初に教わったのが「石の上に座り続けるなー、痔の手術は屈辱だぞー」でした。（菅原先生には私達の結婚式で石開きの司会をしていただきました。）副手の先生方（平田敦司先生，藤田昌宏先生，政儀雅俊先生）がとにかくカッコ良かったです。みんなたくさん助けてもらっていましたし、生徒からしたら一番近い存在でいろんな相談をしました、彫塑の事だけでなく恋愛相談とかも。
息子が小さい頃から小田信夫先生や田中昇先生の作品は、街中や駅や公園でも見かけるので「この彫刻、お母さんの大学の先生の作品やで」と自慢したり、山本哲三先生の個展「おもかるサン」では息子が先生の作品で遊びまくっていました。私にとって彫塑の先生方はキラキラした存在でした。そして、教職では教育原理の梅田昌彦先生の影響が大きかったです。

学生時代のはるかさん

学生時代の武司さん

ご両親に伺います。もしよろしければ、現在のお仕事についてお話しください。

父：現在は樹脂を使った製造業です。

母：現在は「佐藤教室」という支援教室をしています。学校では難しい指導を個人で始めたのは15年前になります。障害児教育と出会ったのは更にその15年前、彫塑を専攻して２年目のことでした。○○先生が所属していた大きな○○展に行った時(お名前は伏せます)、目の見えない白杖を持った方が入館を断られていました。その方のお友達も彫刻家だそうで「触っても大丈夫だよ。」と言われて来たのに入れず、それを見ていた私はたまらず「私が一緒に行きます！私も彫刻家の○○先生の作品触ってもいいって言われました！○○先生が『彫刻作品は安全でないとダメ、危ない作品は作ってはいけない』とおっしゃってました。だから大丈夫！」と、今思うとばかみたいに、一生懸命お願いしましたが、それでも入館は断られ、その方は帰ってしまったのです。しかし、気になり追いかけて話した事がきっかけで連絡先を交換し、障害者の苦労を知りました。教育原理の梅田先生に相談して、障害児教育の勉強を始め、触れる彫刻展をしたいという夢も持てました。その彫刻展は開催できたけれど、希望した盲学校に勤めることはできず、養護学校(特別支援学校）の勤務が続きました。勤める中、もっと勉強しなくてはと思い、1996年京都佛教大学文学部教育学科で養護学校１種免許を取得しましたが、それでもまだまだ知識や経験が足りませんでした。結婚して９年目に念願の息子を授かり、教職からは離れていたのですが、市の発達専門の病院からの紹介と療育相談を受ける事が多くありました。それが今の佐藤教室になるきっかけです。最初は障害児の親を集め、スポーツで汗を流しながら、療育に悩むお母さん方が集まり情報交換の場として、テニススクールを開きました。そして、不登校児童の水泳指導を始めました。そこから障害によってスクールに通えない理由がある、身体の機能的な改善を図りたい、スイミングに行ってもなかなか上達しない、水泳部でタイムをあげたいといった様々な悩みをもつ子供達に今も水泳を教え続けています。
息子が小学生になる頃、夏休みだけ絵画教室を開くようになりました。健常児も障害児も夏休みの絵に困る子、それに困る親。この頃に誰かが「佐藤教室」と呼び始めました。そして、ひきこもりの児童に出張で絵を教え始めました。
息子が中学生になり高校受験をする！しかも美術に特化した高校生となった頃に発達支援学習塾と画塾を開きました。支援学級所属の学習面がしんどい子も、お勉強は出来ても生活面でしんどい子も、高校受験のために保護者さんとお子さんの将来を考えた個々の学習指導要項を作り対策していきました。この頃、テニススクール，水泳，学習塾，絵画造形の生徒さんは40人を超えていました。
息子が大阪芸術大学を目指すこととなった高校３年の頃は、息子の受験と部活の引退試合のために一旦佐藤教室を閉め、最後の子育てを楽しみました。（息子は高校で陶芸部を中心に、バドミントン部[実業高校大会ベスト８]，水泳部[３地区大会背泳６位入賞]，テニス部[母がテニスのコーチだという理由で練習相手にと]）ところが、AO入試１回目で合格し夏休み明けには全てが終わってしまい、高校を卒業する頃はコロナ禍になっていました。そして再開した佐藤教室は、現在水泳クラス・発達支援学習クラス・絵画・造形・絵手紙クラス・アーティフィシャルフラワークラス・手作り石けんクラスと多岐にわたります。絵手紙クラスは、主に老人ホームやデイサービスでの出張クラスです。人生の先輩方の優しい手に癒される時

ご両親の卒業式(芸大坂にて)

間です。手作り石けんクラスは、我が家では昔から手作り石けんを使っているのですが、夏休みの自由研究の授業として、ご家族の肌の病気などで市販の石けんを使えないなど、自然派石けんを作りたい方のレッスンを行っています。ハーブコーディネートの資格を持ち定期販売もしています。アーティフィシャルフラワークラスは、息子の進学が決まって、私自身のこれからを考え、学生の時に取得していたものの更新せずにいたお花の免許を、再度アーティフィシャルフラワーアレンジメントという資格を取り、お花のクラスを作りました。生徒さんの中には障害児のお母さんもいますし、佐藤教室の卒業生の保護者さんもいて、現在の生徒さんたちの頑張っているお話も聞けて一番楽しい時間です。

※現在“障害者”の“害”の漢字をひらがな表記する様ですが“害”すると言う意味ではないと私はそのまま使っております。

ご両親と息子さんに伺います。今後の展望或いは目標のようなものがあれば教えていただけますか？

父：仕事を辞めて釣りができるところに引っ越したい。(夢)

母：現在私が取り組んでいることを、需要がある限り続けていきたいと思ってます。

子：しっかり教職課程を取り卒業する事です。

最後に母校や校友会に対して期待していることなどございましたらお話しください。

父：特にありません。

母：時々息子から教職の授業の話を聞いて、先日は「ハンセン病の授業やったよ」とか「インクルーシブ教育の授業やった」とか聞いて、教職も変わったなぁと思いました。
教師は今、教員免許状更新講習が決まって、私も受けた事がありますが、講習内容の「発達支援の今」では、40人ほどの先生方が受けていましたが「発達障害って何ですか?」と聞かれて「国で定められた先天性脳機能障害」と答えられた先生が一人もいらっしゃらず、こっそり愕然としました。「学校を巡る近年の状況と組織的対応」の講習会では「発達障害は親の育て方。」というおじいちゃん先生がまだいるのかな？最近はいないと思いたいです。発達障害を少しは正しく伝わりつつある様でない様な、教育点で関わる課題が複雑化・多様化し、学校だけでは解決できない事例が多く、資質・能力に対応出来る教師が本当に少ないと思います。学力に対する課題、児童・生徒の心理的課題の変化など考えると、教員が果たすべき役割や負担も大きいとは思います。大阪芸術大学出身の教職を履修してる生徒さん達にはしっかり学んでどんな形ででも教える仕事に就いて欲しいと思います。教職課程の先生方、どうぞよろしくお願いします。

子：すみません、わかりません、ありがとうございました。頑張ります。

この度はお忙しい中、取材に協力していただきありがとうございました。

文責／企画広報委員　竹垣恵子

佐藤はるかさん教室・佐藤幸一郎さんのグループ展案内

《同期作品展》
佐藤教室絵画クラス「Rainbow rose展」
大阪芸術大学工芸学科2年陶芸コース「個性の創造展」
日程：令和４年３月16日(水）～21日(月)　AM10:00 ～ PM5:00(最終日は2:00まで)
会場：浜寺公園駅駅舎ステーションギャラリー
大阪府堺市西区浜寺公園町２丁232番地　TEL：072-267-1230

令和３年度 校友会顕彰制度と社会貢献等支援事業概要

塚本学院校友会社会貢献顕彰制度委員会 委員長　小山保広

1　令和３年度の校友会顕彰制度と社会貢献等支援事業審査状況

会員の連帯意識の高揚と母校の発展を目的に会員等に対する表彰制度と会員による社会貢献等の事業支援制度の令和3年度審査結果等について報告します。

（1）顕彰制度につきましては、２名１グループの方々が推薦され、12月5日(日)表彰式において以下のとおり校友会会長賞及び副賞が贈呈されました。

①大阪芸術大学舞台芸術学科卒業の池田康子 様
長年にわたりダンス指導者として、多くのダンサーを養成する一方高齢者等の心身の健康向上及び骨髄バンク推進運動に尽力

②大阪芸術大学映像学科卒業の村尾愉 様
長年にわたり国立文楽劇場において、文楽人形の首(かしら)の制作･管理･補修に尽力

③大阪芸術大学卒業生４名で構成された映像制作チーム GOMAORA (代表映像学科卒業の石川幸典様)
毎年各種コンテストに出品し多数の入賞を獲得。48時間で映画を製作するコンペティション「Osaka 48 Hour Film project 2020」おいてグランプリ獲得作品「「House of Soul(魂の場所)」」が、国際的な映画祭「Filmapalooza2021」にて、準グランプリ(作品賞)及び監督賞を受賞。当該作品は世界３大映画祭の一つ「カンヌ国際映画祭」において上映された。

（2）社会貢献等支援事業につきましては２件の新規申請があり、審査の結果以下のとおり２件とも支援が決定しました。

①ユネスコの提唱する芸術の力で世界平和を目指し、13か国16名の芸術家も参加して“WORLD ART DAY―やさしさのための芸術”実現に向け開催される日本美術家連盟近畿地区が主催し、近畿の府県教育委員会が後援する日本美術家連盟全近畿地区会員展へ出展する校友会員を支援します。

②大阪芸術大学工芸学科卒業のベテラン･若手作家を工芸学科あげての支援と工芸学科を広く紹介する「工芸のちから2021展」の開催を支援します。

③その他　昨年からの継続支援が３件あります。

2　来年度の顕彰制度及び社会貢献等支援事業につきましては、年明け早々募集をはじめ、５月末の締め切りを予定しております。詳しくは校友会事務局までお問い合わせください。

塚本学院校友会事務局
〒546-0023 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
TEL 06-6607-1988
FAX 06-6607-7485

小山委員長

表彰の様子

左から 小山委員長、池田さん、村尾さん、GOMAORA（石川さん、上山さん、秋篠(あきしの)さん）

撮影／吉田 昇

発表します
発表しました

会員の各種活動に対する支援状況

校友会誌 ウィングスを 活用しましょう!!

校友会では、会員の技術の向上を図るとともに会員相互の親睦を図るため、会員主催又は参加の各種催しに対して後援を行っております。また、後援を申請していただいた会員には、催しの会場にお祝い花をお贈りさせていただきます。なお、これら催しの主催者・参加者から校友会員向けの「招待券」も校友会本部にて預かっております。鑑賞等をご希望の会員は是非事務局までお問合せください。
右は、2021年1月から今年1月までの会員（敬称略）の活動状況（発表しました）と2022年2月からの活動予定（発表します）です。

2022

発表します		年明け早々ですが発表します‼ 是非ご来場ください。	Wings43	
開催日（期間）	主催会員等氏名	催しタイトル名等	催しの区分	催し会場等
2.22 ～ 27	松井　公一	2022・ZERO展	作品展	大阪市立美術館（大阪府大阪市）
2.28	谷口　瑞穂	大阪芸術大学トランペットアンサンブルコンサート	音楽会	阿倍野区民センター（大阪府大阪市）
3.8 ～ 22	田村　昭彦	DASデザイナーによる掛け軸アート展	作品展	ギャラリー ゴロー（大阪府大阪市）
3.19 ～ 20	池田　康子	池田康子の舞踊と癒しの集い	舞　踊	池田康子創作舞踊ワークショップ（大阪府大阪市）
5.1	阪本　久美	阪本久美ピアノリサイタル	音楽会	関西医大 小ホール（大阪府枚方市）
7.9	上田　衛	第3回上田衛バリトンリサイタル「日本の心を歌う」	音楽会	ムラマツリサイタルホール新大阪（大阪府大阪市）

2021

発表しました		発表は終了致しましたが報告にて失礼‼	Wings42	
開催日（期間）	主催会員等氏名	催しタイトル名等	催しの区分	催し会場等
1.4 ～ 2.28	宮田　透	フォト＆イラスト短歌展―第19回 宮田透作品展―	作品展	茶房楽蔵ぴあの（長野県松本市）
1.7 ～ 2.1	師岡 清高	師岡清高写真展「This word has various meanings」	作品展	リコーイメージングスクエア東京ギャラリー（東京都新宿区）
1.9 ～ 2.2	中西　學	中西學　2010－2020展	作品展	PORT ART & DESIGN TSUYAMA（岡山県津山市）
1.16	西田 和久	フレッシュ・コンサート	音楽会	堺市中文化会館　ソフィア・堺（大阪府堺市）
1.19 ～ 1.24	松井 公一	2021・ZERO展	作品展	大阪市立美術館（大阪府大阪市）
1.23	薄木 恭子	第八回おとのわコンサートチャリティーコンサートvol.1（ダンク）	音楽会	海南　nobinos（和歌山県海南市）
2.1 ～ 2.28	横山 栄一	横山栄一展	作品展	ヒルトンプラザ　ウエスト3F　ギャラリー（大阪府大阪市）
3.6	河野 優子	第10回ピアノ発表会	音楽会	柏原市民文化会館リビエールホール（大阪府柏原市）
3.7	南　麻紀	R95 Joint Concert vol.12	音楽会	南港サンセットホール（大阪府大阪市）
3.14	池田 康子	池田康子創作舞踊公演	舞　踊	池田康子創作舞踊ワークショップ（大阪府大阪市）
3.16 ～ 21	齋藤　孝	齋藤孝展～華と花を描く～	作品展	ギャラリー名芳洞（愛知県名古屋市）
4.3 ～ 18	池松　静	静の世界	作品展	みづまふれあいホール（広島県尾道市）
4.10	大垣 瑞穂	大垣瑞穂門下生による第60回発表会記念コンサート	音楽会	東大阪市文化創造館（大阪府東大阪市）
4.11	中村 加奈	第19回プティコンサート	音楽会	東大阪ライティホール（大阪府東大阪市）
4.18	田中 睦美	春の朗読＆ピアノコンサート	音楽会	世良美術館（兵庫県神戸市）
5.30	川口 智也	ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル 音の泉コンサート2021	音楽会	西宮市民会館 アミティーホール（兵庫県西宮市）
6.1 ～ 13	中西　學	中西學展	作品展	楓 Kaede Gallery（大阪府大阪市）
6.13	西本 公美	「クラシックなひとときを」コンサート	音楽会	和歌山県立図書館メディア・アートホール（和歌山県和歌山市）
6.21 ～ 7.3	田村 昭彦	風呂敷展	作品展	不二画廊（大阪府大阪市）
6.26 ～ 27	上杉 真由	niconomiel 自主公演　vol.2 「synergy」	舞　踊	一心寺シアター倶楽（大阪府大阪市）
6.30 ～ 7.6	長谷川政弘	大阪芸術大学工芸学科創設50周年記念「工芸のちから2021」	作品展	近鉄百貨店本店（大阪府大阪市）
7.1 ～ 8.31	峯島 良枝	手ぶらで出来る絵手紙教室	作品展	古民家カフェ森鈴 モリリン（滋賀県米原市）
7.2 ～ 2022.1.27	西田和久	フレシュ・コンサート計17回	音楽会	大阪市立東小橋小学校　他16小中学校（大阪府内市町）
7.10	岡崎 尊子	ファミリーコンサート　シリーズ　クラシックコンサート	音楽会	尼崎ピッコロシアター（兵庫県尼崎市）
7.10 ～ 8.9	千光士義和	千光士義和の世界　動くダンボール　アート	作品展	奈良市美術館（奈良県奈良市）
7.11	片山 道弘	宮崎剛演奏活動30周年記念演奏会	音楽会	住友生命いずみホール（大阪府大阪市）
7.17	赤松 充子	SOMMERKONZERT 連弾の愉しみ	音楽会	大阪倶楽部（大阪府大阪市）

発表します 発表しました

会員の各種活動に対する支援状況

展覧会・演奏会・舞台等、皆様から催し物の情報をお待ちしております。

塚本学院校友会　事務局
〒546-0023
大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
TEL:06-6607-1988
FAX:06-6607-7485
E-mail
tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp

7.28	東野　穂澄	東野穂澄　童画展	作品展	ギャラリーダダ（神奈川県横浜市）
8.15	紺谷　志野	トライアングルバロックコンサート	音楽会	kokoka 京都市国際交流会館（京都府京都市）
8.19～30	師岡　清高	師岡清高写真展「This word has various meanings」2021	作品展	リコーイメージングスクエア大阪ギャラリー（大阪府大阪市）
8.22	水野　恵子	ミュージックコンサート　2021	音楽会	京都市西文化会館　ウェスティホール（京都府京都市）
8.27	田中　公道	オペラ歌手デビュー61周年テノール リサイタル84	音楽会	住友生命いずみホール（大阪府大阪市）
8.28	紀之定淳規	もう一度聴きたい映画音楽コンサート ～名作映画のあの感動にきっとまた会える～	音楽会	和泉シティプラザ弥生の風ホール（大阪府和泉市）
8.30	福井　雅志	福井雅志バリトンリサイタル	音楽会	あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール（大阪府大阪市）
9.9	東　園己	第1512回札幌市民劇場「東園己メゾ ソプラノリサイタル」	音楽会	札幌コンサートホールKitara（北海道札幌市）
9.18～28	織作　峰子	織作峰子写真展―光韻―	作品展	銀座和光ホール（東京都中央区）
9.20	久斗　理恵	FLUTE DUO CONCERT	音楽会	YOSHUホール（大阪府大阪市）
9.20	阿部　文	近藤文ピアノリサイタルvol.13 ―オマージュ―	音楽会	阿倍野区民センター（大阪府大阪市）
9.23	岡崎　尊子	音活コンサートシリーズAutumn Joint Concert	音楽会	尼崎ピッコロシアター（兵庫県尼崎市）
9.28～10.3	小西　聡甫	みんなが主役 みやび流押絵展 ～神戸・芦屋・本町教室合同展～	作品展	ギャラリーあじさい（兵庫県神戸市）
9.28～10.3	今中　和義	今中和義作品展	作品展	奈良県文化会館（奈良県奈良市）
10.16	岡田由美子	なら100朗読コンサート「生命、輝いて～人と自然と奈良と」	音楽会	なら100年会館（奈良県奈良市）
10.27～29	若林富美子	第1回classical photographの魅力	作品展	大阪市中央公会堂（大阪府大阪市）
10.30	加藤八千代	三八式楽譜デュオライブ	音楽会	日本キリスト教団　島之内教会（大阪府大阪市）
10.30	内藤　綾乃	Klavierabend 2021	音楽会	宝塚ベガホール（兵庫県宝塚市）
11.27～28	豊田　千晶	広島オペラアンサンブル第45回 公演オペラ「フィガロの結婚」	音楽会	JMSアステールプラザ（広島県広島市）
11.7	薄木　恭子	第九回おとのわコンサート「紀州の調べvol.2～温故知新～」	音楽会	メディア・アートホール（和歌山県和歌山市）
11.17	坂岡　裕志	坂岡裕志ユーフォニアムリサイタル ユーフォニアムの魅力～音の展覧会～	音楽会	西宮市フレンテホール（兵庫県西宮市）
11.23	内田　尚子	フルートとピアノによるオータム・コンサート	音楽会	日本キリスト教団　宇治教会（京都府宇治市）
11.27	阪本　康生	阪本康生サロンコンサート Plus Familier	音楽会	La Paz ラ・パス（大阪府大阪市）
12.6～18	田村　昭彦	“December Delights”　12月の愉しみ 2021	作品展	山木美術（大阪府大阪市）
12.8～14	糸井　康博	糸井康博作陶展	作品展	大丸神戸店（兵庫県神戸市）
12.11	宮本ひとみ	韓国歌曲研究会 第六回演奏会 韓国のうた・日本のうた	音楽会	大阪韓国文化院ヌリホール（大阪府大阪市）
12.12	川口　智也	ミ・ベモル　サクソフォンアンサンブル第36回定期演奏会	音楽会	住友生命いずみホール（大阪府大阪市）
12.19	花森　小夜	Oto-Toridori 10　～舞い踊る音 舞い踊る人～	音楽会	大阪府立中央図書館（大阪府東大阪市）
12.23～26	杉田真梨子	人間泥棒―元小泥棒の夢―	舞　台	ABCホール（大阪府大阪市）
12.24	田代　紀子	VOCI DI BOSCO クリスマスコンサート	音楽会	ザ・フェニックスホール（大阪府大阪市）

2022

1.17	河田　早紀	河田早紀テノールリサイタル	音楽会	あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール（大阪府大阪市）
1.18～29	田村　昭彦	MI gallery企画展　DESIGNERS COLLECTION 2022　12cmの世界	作品展	MI gallery（大阪府大阪市）
1.19～25	東野　穂澄	東野穂澄　個展	作品展	近鉄百貨店　和歌山店（和歌山県和歌山市）
1.23	阪本　康生	阪本康生サロンコンサート	音楽会	La Paz ラ・パス（大阪府大阪市）

奨学生の声

◆大阪芸術大学　Y・T

私は将来陶芸家になるべく、大阪芸術大学にて陶芸を専攻しています。他大学の陶芸と大きく異なる点は、クラフトの分野より、オブジェ焼と呼ばれる陶芸独自の立体造形に非常に尽力されているところです。私は陶芸の田嶋悦子教授に憧れ、オブジェ焼の作家を目指しました。大阪は京都などの周りの県に比べ、陶芸が盛んではありません。しかし、近年大阪はアートイベントなどによる盛り上がりを見せています。陶芸の視点だけではない、立体造形の可能性を大阪という土地に期待しています。

私は自身のルーツである大阪という場から、フェティッシュな陶芸作品を発信していきたいのです。彫刻と陶芸が同じ舞台で展示されるような時代をつくっていきたいと思います。そんな目標を掲げる中、今回奨学生として認定して頂いたことは、非常に有り難いと感じております。頂いた御恩で色々な展示を展開させて頂きます。本当にありがとうございます。

◆大阪芸術大学　Y・N

塚本学院校友会の奨学生に認定していただき、ありがとうございます。

母子家庭なので大学進学を諦めかけていた私に、母は、「自分の人生、夢があるなら諦めず、大学に行き。」と言ってくれました。長年貯めてきた預金を惜しみなく使ってくれた母の負担を少しでも軽くできたらと思い応募しました。決定通知を頂いたときは、私も母も大喜びでした。しかし、奨学金の返還に回しなさいと、私にくれました。

授業料、交通費の出費とは別に制作費もかかります。制作費を惜しんではいけないと知るも、残った分でなんとかするしかありません。母は、少しでも楽になるようにお弁当を作ってくれます。仕事で疲れているにも関わらず、制作、勉強で疲れているでしょ、自分の時間に使いなさいと言って、甘えさせてくれました。

残りの大学生活は今までよりも精進し、そして、背中を押してくれた母、ご指導してくださっている先生に感謝しつつ卒業制作に励みます。

◆大阪芸術大学　M・K

四回生の十月、気づけば卒業まで残り半年を切っていました。芸大に通い、教室で友人たちと共に笑いあう日々はもう少なくなっているのだということを実感しています。

これまでの大学生活を振り返れば、講義や実習、サークル活動、学園祭、資格科目と、どの瞬間も今の自分を形作る大切な時間でした。とりわけゼミでの活動は、四年間の中で最も印象的な時間です。出版や編集の道を志す友人たちと、一年をかけて一冊の雑誌を作りました。何よりも、友人や先生という人との出会いが私を豊かにしたと思います。このようなかけがいのない学生生活を送ることができたのも、塚本学院校友会の皆様のお力添えのお陰でございます。御礼申し上げます。

卒業後は、新聞関係の会社に就職します。大好きな文字に関わる職に就くことができたのも、芸大での学びがあったからこそだと思っています。芸大出身者として、社会に貢献できる人材になりたいです。

◆大阪芸術大学　K・N

私は進学のために大阪に来て一人暮らしをしています。父子家庭で経済的に厳しいのにもかかわらず好きなことを学ばせてくれる父には感謝しています。そんな父の負担を少しでも減らしたいと思い、アルバイトを掛け持ちして生活費などをまかなっていました。しかし4回生になり、卒業制作で忙しく今までのようにバイトに入れなくなりました。そんな中、塚本学院校友会奨学生に認定していただき、お金のことを気にせず卒業制作に集中して取り組むことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私が今こうして好きなことを学んでいけるのは家族や友人、先生方、そして校友会の皆様のおかげです。今後も奨学生として恥ずかしくないようにより一層頑張りたいと思います。ありがとうございました。

◆大阪芸術大学大学院　A・H

私は、現在、大学進学に併い、一人暮らしをしています。学費と一人暮らしに必要な費用を合わせるとかなりの費用がかかるため、工面するのに大変苦労しておりました。

女手一つで育ててくれている母に、これ以上の負担をかけたくないという思いが強く、一学年の頃から、授業だけでなく、課外活動にも積極的に参加しておりました。これらを意識していたことが、今回、塚本学院校友会奨学生として認定していただけた一つの要因になったのではないかと考えております。この度は、誠にありがとうございました。塚本学院校友会関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

また、今回奨学生として認定していただいたことを母に伝えたところ、心から喜んでもらうことができました。未熟者ではございますが、一つ親孝行できていれば嬉しいです。

今後は、今以上に奨学生、卒業生としての自覚を持ち、精進して参りたいと思います。

◆大阪芸術大学短期大学部　A・K

小学一年生のときに習い始めたピアノの教室の先生にお手紙として音階を書いたメモを渡したのが曲作りのきっかけでした。そこから夢をつかむため、大阪芸術大学短期大学部に入学しました。家が裕福な方でなく、高校卒業後はアルバイトをしながら音楽を続けていこうと思っていたのですが、父や母のおかげで進学することができました。その機会を無駄にしないよう日々学んできた中、この塚本学院校友会奨学生に選んで頂けて、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからより一層頑張り、創作活動に励みたいと思います。この度は塚本学院校友会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

◆大阪芸術大学短期大学部　M・A

塚本学院校友会奨学生にしていただいた過程でお世話になった大学の先生方、ずっと支えてくれた両親に感謝しています。ありがとうございます。書類選考の段階から文章を書くのはあまり得意ではなく、面接も今まで受ける機会がなかったのでとても不安でしたが、奨学生として選んでいただけたことに驚きです。これから奨学生として恥ずかしくない自分であるよう努力して行きます。私は生まれつき左耳難聴と発達障害を抱えています。誤解される事も多く、友人関係や勉強の面でも上手くかない時期もありました。けれどもここまでこれたのはずっと協力してくれた両親の存在が一番大きいです。両親に少しでも恩返しができれば私にとってもこんな嬉しいことはありません。校友会奨学生として残り少ない大学生活では卒業制作に集中して取り組みます。卒業後には絵の道を極めて行きたいことと共に大阪芸大グループの一員であったことを誇りとして忘れず社会貢献します。

◆大阪芸術大学短期大学部　K・N

私の家庭は父が単身赴任しているということもあり、家計が2つ必要で経済的に厳しい環境です。それなのに私が美術系の大学に進みたいと言った時に嫌な顔一つさせずに通わせてくれた両親に親孝行したいと思い塚本学院校友会奨学生に申し込みました。そして奨学生に認定して頂き、少しは親孝行出来たのかなと思っています。今までこういう名誉のあるものに選ばれるという経験があまり無かったのですが、努力をすれば結果は出るということを知ることが出来ました。

これをきっかけにこれから自分の夢を目指し、努力し、親孝行出来ればと思っています。

この気持ちを常に持ち、より一層努めて参りたいと思います。

この度はありがとうございました。

◆大阪芸術大学短期大学部　S・L

この度は塚本学院校友会の奨学生に認定していただき、誠にありがとうございます。

塚本学院校友会援助金検討委員会では、大阪芸術大学グループ各校の最終学年を対象に、奨学援助金を希望する学生を募集し、援助金を給付しております。令和三年度は各校から合わせて15件の申請があり、書類選考・面接審査を経て10名の奨学生が認定されました。ここでは奨学生から寄せられた感想文を紹介いたします。

私は高校生の時からグラフィックデザイナーになりたいという夢があり、その夢を叶えるべく大阪芸術大学短期大学部に入学しました。

奨学金のご支援のおかげで、学費の支払いにあてることができて、学業に充実して取り組むことができております。また様々な知識を学ぶことで成長し、立派な社会人になることを目指して努力致します。

将来は社会に貢献できるデザイナーを目指していきたいと思います。

ご支援をいただきました塚本学院校友会の方々に心よりお礼申し上げます。

◆大阪美術専門学校　Y・T

この度は、令和三年度塚本学院校友会の奨学生に認定していただき、誠にありがとうございます。

私は、今まではいつもどおりでしたが、父親がたおれ、経済的に食べていけるのがやっとなぐらいでした。

ですが、塚本学院校友会の奨学生に認定していただいたおかげで、すこしだけ楽になりました。

家族が全員で6人いまして、下に2人の小学生と幼稚園の妹がいまして、これからどんどんと、お金がかかる時期ですので、本当にとてもうれしいです。

自分も、画家になるために、すこし制作に集中できるようになり、現在、卒業制作に集中し、現代にそった絵画を制作中です。

勉学を継続する事ができ、校友会の皆様に心より感謝申し上げます。

第31回関西学生対校女子駅伝競走大会
過去最高順位の総合２位
６年連続９回目の全日本大学女子駅伝出場権獲得（大阪芸術大学 女子駅伝部）

女子駅伝部監督　中瀬 洋一

９月25日（土）神戸しあわせの村で第31回関西学生対校女子駅伝競走大会（6区間30㎞）が行われた。全日本大学女子駅伝の出場権（関西地区枠４校）をかけ、立命館大学・関西大学・大阪学院大学のシード校を含む17校で競い合った。レースは１区城谷桜子（放送４）が３位とチームに勢いをつけ流れに乗った。２区鈴木杏奈（初等芸術教育２）が順位を１つ落とすものの、３区北川星瑠（舞台芸術２）で再び３位へ。４区宮永光唯（デザイ４）、５区川原一文（デザイン２）も順位をキープし、６区アンカー古賀華実（初等芸術教育３）が区間２位の走りで１校を抜き過去最高順位の２位でゴール。１位は立命館大学、３位に関西大学のシード校が入った。総合タイム１時間41分17秒は昨年の記録に８秒足りなかったが、芸大記録歴代２位のタイム。関西地区枠のトップ通過を果たし、全日本大学女子駅伝でも十分戦えるだけの力を付けたことを証明した。

関西学生女子駅伝２位　６区 古賀選手

第31回関西学生対校女子駅伝競走大会 2021.9.25
神戸しあわせの村周回

区間	選手名	学科	距離	記録	区間順位	通過順位
1区	城谷 桜子	放送４	3.9km	12分54秒	3	3
2区	鈴木 杏奈	初等芸術教育２	3.3km	10分47秒	5	3→4
3区	北川 星瑠	舞台芸術２	6.5km	21分46秒	4	4→3
4区	宮永 光唯	デザイン４	6.5km	22分14秒	4	3
5区	川原 一文	デザイン２	3.3km	11分10秒	6	3
6区	古賀 華実	初等芸術教育３	6.5km	22分26秒	2	3→2
total			30.0km	1時間41分09秒	総合２位	

２区 城谷選手−３区 宮永選手

４区 野中選手−５区 古賀選手

５区 古賀選手−６区 古原選手

スタジアムを出る北川選手

第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
シード届かず総合11位（大阪芸術大学 女子駅伝部）

10月31日（日）宮城県仙台市陸上競技場をスタートし、仙台市役所までの６区間38.1kmを走る第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が行われた。シード８校と各地区予選を勝ち抜いた17校、それにオープン参加の東北学連選抜を含む計26校で学生日本一をかけ競い合った。昨年は４区途中で疲労骨折のアクシデントがあり、初めての繰り上げスタートを経験。今年はその悔しさを晴らすべく、８位のシード権獲得を目標とし過酷なトレーニングを積んできた。レースは１区北川星瑠（舞台芸術２）がトップと15秒差の７位で襷を渡す。杜の都初出場となった２区城谷桜子（放送４）が最初の１キロで１校を抜かすも、その後３校に抜かれ９位と後退。宮永光唯（デザイン４）は昨年と同じ３区。思うように走れなかった悔しさを胸に、今年はリベンジも兼ねて走り出すがラストスパートで後ろから来たチームに抜かれ順位を１つ落とし10位。４区野中和佳菜（デザイン１）は大学初駅伝。１年生らしいフレッシュな走りをしたものの、他大学と力の差を痛感し順位を３つ落とし13位に。５区古賀華実（初等芸術教育３）はキャプテンとして、他大学のエースが集う最長区間を任された。他大学のエース相手に見事順位をキープ。６区アンカー古原夏音（工芸２）が関西予選で走れなかった悔しさをバネに区間６位の力走を見せ、順位を２つ上げて11位でフィニッシュした。総合タイムは２時間09分17秒の過去最高記録。上位12位までに与えられる年末の全日本大学女子選抜駅伝競走大会（富士山女子駅伝）の出場権を手にした。

６区 古原選手

第39回全日本大学女子駅伝競走大会　2021.10.31
仙台市陸上競技場

区間	選手名	学科	距離	記録	区間順位	通過順位
1区	北川 星瑠	舞台芸術２	6.6km	22分02秒	7	7
2区	城谷 桜子	放送４	3.9km	12分48秒	11	7→9
3区	宮永 光唯	デザイン４	6.9km	23分37秒	15	9→10
4区	野中 和佳菜	デザイン１	4.8km	16分52秒	17	10→13
5区	古賀 華実	初等芸術教育３	9.2km	31分05秒	13	13
6区	古原 夏音	工芸２	6.7km	22分53秒	6	13→11
total			38.1km	2時間09分17秒	総合11位	

ゴール後の選手たち

レース後の中瀬監督のことば

昨年に引き続き今年も新型コロナウィルス感染症予防対策のため、無観客無応援となりました。現地で応援出来ない分、たくさんのご声援をいただき胸が熱くなりました。心より感謝しております。シード権まであと３つ。来年はシード権を獲得し、皆さんと共に喜びを分かち合えるよう頑張っていきたいと思っております。

写真／大阪芸術大学
文責／中瀬 洋一

日本で唯一純正奈良漬で伝統製法を守る 今西本店

株式会社 今西本店 今西 泰宏 社長
大阪芸術大学舞台芸術学　1981年卒業（S7070）

純正奈良漬元祖製造元、昔と変わらない伝統的な製法を守り続け着色料や人工甘味料は使わず、清酒粕のみで熟成された奈良漬は丹念に仕上られ、日本で唯一「純正の奈良漬」と認定されています。
今西泰宏社長は、大阪芸術大学 芸術学部 舞台芸術学科（演技・演出専攻）に在籍中に「劇団新感線」の立ち上げメンバーの一人として、舞台監督も務められ、1981年に卒業されました。舞台芸術学科4期生で、卒業後東京日本橋三越（宣伝部）三越劇場に入社後約3年間働かれ、人手不足だった奈良の実家に戻られ、今西本店を継がれました。舞台芸術学科に在籍中は、北村 英三学科長や宮村 一幸教授・黒田先生（大道具）にご教示され芝居に没頭されていました。　当時自主劇団が乱立し、自分達で作品や準備の費用を捻出し学外で公演していました。
劇団新感線も同期のこぐれ修氏を中心に結成され、当初は つかこうへい作品を上演していましたが、その後オリジナル作品（ハードロックやヘヴィ・メタル）などを融合させ関西演劇界の中心的存在に成りました。
大学の4年間は人生で最も充実した日々であり、その後の人生に多大なる影響と友を得られた、二度と経験出来ない素晴らしい4年でした。と言われています。
ご子息は現在、今西本店を手伝いながら、画家（今西真也）としても活躍中です。

プロフィール
今西泰宏（いまにし　やすひろ）

株式会社今西本店　代表取締役
純正奈良漬　元祖製造元
1958年 生まれ（現在63才）
1977年 大阪芸術大学舞台芸術学科入学（4期生）
3回生・総合舞台監督、4回生・総制作
1981年 卒業
東京日本橋三越入社（宣伝部）三越劇場
1983年 今西本店に戻り現在に至る

奈良商工会議所青年部副会長その他、PTA会長
民生委員、なら燈花会の会役員等歴任
奈良市消防団三笠分団21年在籍、
分団長3年後　2017年3月退団
大阪芸術大学舞台芸術学科4期生　同窓会代表幹事

住所 ／〒630-8228　奈良市上三条町31番地
TEL ／0742-22-2415

現在店舗の建物は築400年にもなり、江戸後期から営業を行い続け,昔ながらの製法を引き継ぎ、今西本店の奈良漬は、熟成期間が短くて4年、長いものは19年も熟成し甘味料、保存料、着色料や添加物は一切使われず、酒粕だけの純正奈良漬。
今西社長は、5代目として奈良漬の伝統を守り本物を残し、味の追求こそが、経営の生命線と言われています。

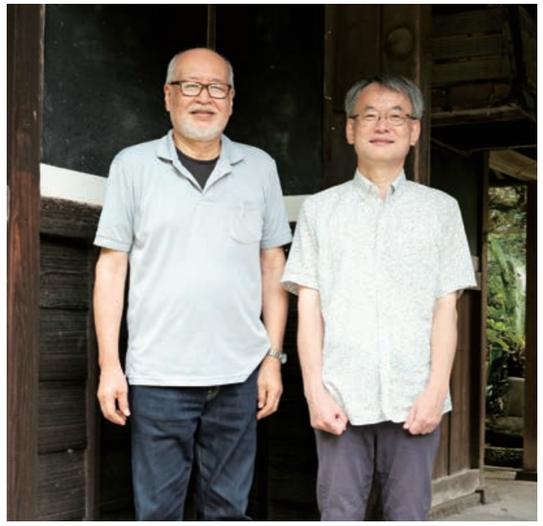
江戸末期からの店舗

壮大な倉庫

熟成期間 4 年〜 19 年

一般の奈良漬と比べ色も黒く、塩分はほとんど無く、清酒粕のみで熟成させる昔ながらの製法をかたくなに守っています。　保存は冷蔵庫に入れずに、開封後も酒粕に漬けておけば、2年はもちます。

取材・フォト ／ 企画広報委員 植村幸治 ・ 金沢ちかこ



左から吉川委員と千光士さん

ダンボールの波目の美しさに魅せられて。

千光士 義和

大阪芸術大学映像計画学科
1982年卒業（V8048）

本日は、子供からから大人まで楽しめる“動くダンボールアート”の第一人者である千光士義和先生にお話を伺います。これは奈良市美術館が創作活動35周年千光士義和の世界展を企画主催し、2021年7月10日～8月9日まで開催されたその期間中にインタビューしたものです。

奈良市美術館工作教室風景

吉川：お久しぶりです。本日は宜しくお願いします。

吉川：大阪芸術大学映像計画学科に入ろうと思われたきっかけは？

千光士義和：映画好きの兄の影響は大きいです。小学生の頃から兄が買って来る映画雑誌を読んでいました。この頃から映画を作りたい思いがめぐっていた事が志望の理由。学科長の依田先生、カメラの宮川先生を既に知識として有りましたので、先生の下で学びたい思いが芸大志望を後押ししました。

吉川：現在は奈良でお住まいですが、少年期過ごした環境は少なからず今に影響していると思いますが。エピソードがあれば

千光士：出身は四国の高知です。城下にほど近い市内生まれで自然を育むと言うより映画館通いと母校の時計台の有る屋上から街並みを見るのが好きなちょっと田舎の都会っ子でした。漫画なら映画に近い表現が出来るので投稿を目指して描いていました。高校時代に地元の漫画家青柳祐介先生（代表作「土佐の一本釣り」）に漫画のご指導受けてストーリー漫画からほのぼの系の漫画に表現を変えた事もダンボールアートへの大きな起点です。

吉川：当時は漫画家も目指しておられた。

千光士：ハイ、大学時代少女漫画ブームの頃で、原稿預かりでそのまま別冊少女コミック増刊号に掲載。同作品で２年間ほど連載する事が出来て良い思い出に成りました。就職後漫画は止めてしまいました。

吉川：映画制作、でも漫画家も、と錯綜する中での大学生活はいかがでした。

千光士：大学時代、滝沢一先生に凄く惹かれました。先生の講座の時間が楽しかったです。卒業制作に滝沢先生・池田先生の映像ディスプレイを選択したのは、前述の理由と、多分ミニパビリオンを作ればOKなんだぐらいに考えていました。しかし制作実習が進むにつれて表現の多様性と規制の無い可能性を感じるようになりました。造形物を被写体に映像を投影する、そこに依田先生のシナリオから学んだ時間軸と物語性、佐々木先生のカリカチュア実習も表現に役立ち、学んだ事が一つに出来たのが映像ディスプレイでした。４名の学友と制作した卒業制作作品はグランプリを頂き私の四年間の総括と成りました。

展示場

映像計画学科●グランプリ
映像ディスプレイコース　作品「Pata Pata」
千光士義和　松島敦子　松下直　福本整

卒業制作

卒展にて滝沢先生

吉川：私も拝見しました。当時動的ディスプレイはコンピュータやデジタル処理が出来なかった時代ですからすべてアナログで大変だったでしょう。今で言うプロジェクションマッピングの前身みたいもの映像計画学科でも先進的なコースでしたね。結果はオーライでしたね。

吉川：卒業後の進路は？

千光士：東京中央プロダクションへ入社しました。好景気時代でNHKの教育テレビの人形アニメ、TVCM、映画ソフトの字幕撮影ととにかく忙しく毎日刺激的で夢中でした。特に制作部入社の私が、美術部の手伝いをした時のセット造りでは、下地がダンボールでしたので材料として既にダンボールと出会っていましたね。社内で妻と出会い結婚を機に恩師佐々木侃司先生に相談。1985年プロダクションを退社して美専の講師をさせて頂きながら作家活動を行うようにと個展を佐々木先生にプロデュースして頂き、遠藤先生在住の奈良へ引っ越しました。その時、目の前の多量の荷造りダンボールを見て、ダンボールを材料に作品制作を思い立ちました。

初個展

吉川：ほう、凡人にはダンボールは処理に困るもの、どこに創造の萌芽を見たのですか？

千光士：ダンボールの断面の波目の美しさ魅せられました。まるで鉄柱のトラス構造のような『メカニック表現』と映像の仕事から『動』の表現が結びつき、初個展から動くダンボールアートへ行き着きました。翌86年大阪茶屋町画廊初個展は多くのメディアの取材を受け多方面から毎年依頼を受けて気が付けば30年以上続けて来ました。

吉川：今、動くダンボールアート作品群を目の前にしますと、その精緻さと相俟って、素材も、作家によって無限の表現の可能性を秘めたものに成ると思いつつ、この情熱を継続させているのは何なのかお聞かせ願がえれば。

千光士：続けて行く情熱に成ったのは声援を下さるファンの方々と我が子にカラフルなダンボールの美しさや作家の世界観をみせたかったからです。作品展会場で目を輝かせている子供達に作る喜びを伝えて行く必要を強く感じたからです。

吉川：どのようなコンセプトで創作を始められたのですか。

千光士：私の動くダンボールアート作品のスタートは自走する汽車を半立体の壁掛け作品の制作でした。手製額の裏にモーターと電池を納めてスイッチを入れると動く仕掛けです。止まった状態と動いた時の動きを楽しむ事が基本で作品制作の狙いでした。動きはアニメーション表現に通じる生命や躍動を表現出来るのでよりテーマが表現し易かったからです。長男が３歳ごろに私の以前の漫画を見て、「この漫画のキャラクターは制作しているダンボールアート作品のどこに居るの？」と尋ねた事で、漫画の表現とダンボールアートを一つの世界に結びつけられたように思います。

マリオネット マジシャンロボ
（2019年制作）

ロボファイト（2014年制作）

吉川：今の作風が生まれたのですね、もう少し具体的に。

千光士：キャラクターを登場させることで作品

ツークロックス
(2020 年制作)

サークルアートリッチ
(2009 年制作)

の世界観は明確になります。例えば柴犬を飼えばそれをモデルにしたロボット犬がキャラクターとして登場して新たな物語を連想させてくれます。さらに動くダンボールアートの世界にカラフルなカラーダンボールを使用し、子供から大人の方も楽しんで欲しい思いで、お花を育てるロボット犬のシリーズ作品を創造し銀座で個展をしました。ちなみにこのロボット犬のモデルはマイペットのマルです。

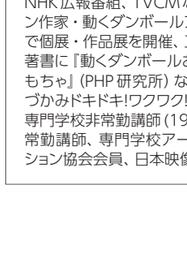
柴犬マルとアトリエにて

吉川：個展での反響は？

千光士：各方面から反響ありました。ペットの柴犬マルとともにTV・ペット雑誌・新聞と多くのメディアで紹介して頂き台湾・韓国の日本大使館文化院など海外での作品展へと発表の場が発展しました。我が子の一言やペットの犬が作品世界を広げてくれました。着想は身近に有りです。その後おそらく1500点以上制作して日本中のファンの方にご購入頂きました。

吉川：工作教室や工作本の出版も精力的に行っていらっしゃいますね？

千光士：子供達に作る楽しさ工夫する喜びを伝え体験して欲しい思いから工作教室も精力的に行ってきました。沢山の新作工作アイデアを生み出す事で5冊の工作本を出版（PHP研究所刊）して頂きました。子供たちが家庭で過ごす時間が増えた昨今、再び工作本に注目が集まり今年の秋に数年ぶりに工作本を発刊します。身近な材料のダンボールや紙で動くおもちゃが作り出せる事でリサイクルの学習や近年のSDGs教育からの観点でも注目されています。



吉川：最後に今後の動くダンボールアートの可能性と実現したい事が有りますか？

千光士：ダンボールアートの可能性は無限大ですので断面の波目の美しさをこれからも表現して行きたいと思います。子供達や遊び心童心を忘れない心の豊かな大人に伝えて行きたいです。台湾・韓国で作品展開催の企画展の機会を頂きました、ヨーロッパできっと注目されますよと色んな方々からお声頂く事が有るので欧米での個展を実現させたいですね。

千光士：今にして思えば、あの大学にての映像ディスプレイコースで造形物の制作や映像を立体物に投影する事で立体も映像作品の表現に近づけると学びました。この事は動くダンボールアートへ表現の可能性を導き出してくれましたので正に私にとって原点です。

吉川：人それぞれ今に至る過程は興味深く、第三者にとっては不思議な縁をかんじるものです。本日はコロナ禍の中、貴重なお話有り難うございました。日常から非日常への扉を開いて、大人も子供も楽しめる童話的空間に導いてくれる動くダンボールアートの可能性に向けて更なる創作活動を期待しております。

千光士義和（せんこうじよしかず）　プロフィール

1958年、高知市に生まれる。大阪芸術大学在学中から地方誌に四コママンガを掲載し、新人マンガ賞を受賞、『別冊少女コミック』（小学館）からマンガ家デビューをはたす。
卒業後、（株）東京中央プロダクションで立体（人形）アニメを制作、NHK広報番組、TVCMなどを担当。85年からフリーのアニメーション作家・動くダンボールアート作家となり、全国および台湾など海外で個展・作品展を開催、工作教室も行っている。
著書に『動くダンボールおもちゃ』『紙バネ・紙ゼンマイでびっくりおもちゃ』（PHP研究所）などがある。昨年秋には新刊『孫の心をわしづかみドキドキ!ワクワク!紙おもちゃ』（PHP研究所）発刊。大阪美術専門学校非常勤講師（1985~1995年）現在、嵯峨美術短期大学非常勤講師、専門学校アートカレッジ神戸非常勤講師、日本アニメーション協会会員、日本映像学会会員。

インタビュー／吉川 幸夫
文責/企画広報委員　吉川 幸夫

在学中の2019年12月に吉本新喜劇の「金の卵オーデション」を受け合格。「金の卵11個目」として入門。吉本新喜劇の舞台にて活躍中。

吉本興業株式会社
吉本新喜劇所属
咲方　響（本名:坂田　響）
メディア芸術学科 身体表現コース
2020年3月卒業（18AJ042）

【吉本新喜劇でのお仕事について】
短期大学の卒業を前に、役者をやろうと決めていましたがどんな分野で演じるかは決めていませんでした。沢山オーデションを受けることになるのだろうなと思い、ならば小さい頃から好きだった吉本新喜劇の新人オーデションから受けてみようと日頃からチェックをしていたのもあり、受けてみたところ、幸運にも合格をいただきました。毎回の舞台はとても楽しいですが、今演じる中で難しいのは「関西弁」です。島根県の出身なので言葉のイントネーションが違い苦労しています。難しいイントネーションの時は新喜劇の先輩に電話をして「これを話してください」とお願いし、耳で覚えるようにしています。

【メディア芸術学科への入学のきっかけ】
大学に進学を決めるまでは何をやりたいかは漠然としていました。でも、やるなら好きなことにチャレンジしてみようと思い、興味のあった演じることを学ぶ大学を探しました。出身の島根から一番近くにあったのが大阪芸術大学短期大学部でした。もちろん大阪芸術大学も視野に入れて考えました。芸大は学科やコースが沢山あって魅力的でしたが、一つのことを突き詰めるよりも「演じる」を多く学べる芸短の方が自分にあっているなと思い、芸短へ進学を決めました。また2年後芸大への編入も可能だし、役者が合わなかったときは2年ならばやり直しが効くしなと言う気持ちもありました。

【在学当時の思い出】
メディア芸術学科身体表現コースでの2年間は演技に、歌に、ミュージカルにと多くのことが学べました。在学中は卒業公演をはじめとする3～4作品の舞台に関わらせていただき実践が積めました。また、芸短は学外の舞台も参加を認めてくださるので外部の舞台に出演させていただき、ミュージカルも経験できました。ほぼ毎日舞台に関わっていたなというのが思い出です。それに学友会で副会長も務めていたので、芸短祭などのイベントなどにも関わり、2年間「授業」→「舞台」→「イベント」と、とても忙しかったです。でも「ぎゅっ」と詰まっている感じがとても楽しかったですし、2年間だからこそ出来たんだろうと思います。良い思い出です。
2年間の学びでは沢山の先生にお世話になりました。一番印象に残っているのは「さとうしょう先生」です。身体表現コースはさとうしょう先生から指導を受ける時間が多く、振り返ると先生から教えて頂いたことが、今役者としての自分の中に結構残っているなと思います。先生は「卒業公演」の演出もしてくださるのですが、作品は歴史系が多く、演技だけでなく和装の衣装を自分で着付けることも学びました。おかげで着物や袴を自分で着れるようになりました。今は吉本新喜劇でお姉さんたちの着付けを手伝うのに役立っています。先生との授業は舞台以外のことも沢山学ぶことができたと思います。

【これからの夢や目標】
吉本新喜劇に入る前は入ってみて違うかなと思えば映像演技の方に進むことも考えていました。でも吉本新喜劇はとても楽しくて、舞台から沢山の人の笑顔がとても近くに見えて、私自身が元気をもらえる場所だなと思っています。出演の機会も頂けるようになってきたので皆さんに私を知って貰えるようになることが今の目標です。また出身の島根では吉本新喜劇のテレビ放送がされていないので、島根県で放送されることも今一番近い夢です。これから私が何をできるかわかりませんが吉本新喜劇を観たいと言うお客様を増やして、全国や世界中で観て頂く世の中を作ることができればいいなと思っています。
卒業してからも私を知らない在学生に先生や後輩が話してくださり、私を知ってくれている方がいるのが嬉しいです。頑張れば頑張るほど私のことを知ってくださる人も増えるので、その中で「芸短卒業です！」と言い、大阪芸術大学短期大学部、吉本新喜劇に入ってくださる方を増やしていきます。

【インタビュー後記】
コロナ禍ということで、オンラインでインタビューを行いました。
パソコンの向こうの咲方さんは礼儀正しく凛とした、でもまだまだあどけなさの残るチャーミングな女性でした。凛とした姿は、さすが縦の厳しい身体表現コースの卒業生と言うのが最初の感想でした。短い時間でのお話でしたが、彼女の言葉からは、所属されている吉本新喜劇で演じることを今とても楽しんいる様子が溢れでていました。後日、テレビ放映にてご出演されているのを拝見しました。ブラックのパンツスーツでの秘書役！インタビューで拝見した姿とはまた違う大人の女性を演じておられました。今度は劇場へ足を運んでみたいと思います。

インタビュー・文責／企画広報委員　楓井 由美

夢中で駆け抜けた20年 ディレクターとしての挑戦はこれからも続く

松岡 一史

2001年　大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
デザイン学科卒（映像専攻）（D00144）
卒業後、NHKドラマを手がける映像制作会社
テイクファイブ入社。
2002年より数々のドラマの演出・制作に携わる。
2021年3月独立。現在フリーランスとして活躍中

美専の映像専攻を卒業後、20年近くNHK朝の連続テレビ小説などの制作・演出に携わってきた松岡一史さん。2021年11月スタートの「カムカムエブリバディ」の撮影期間中のお忙しいなか、職場近くのカフェでお話をうかがいました。NHK外部の制作会社スタッフとしては史上初めて朝ドラのディレクターとなるなど、現場の最前線を走り続けてきた松岡さんのお話は興味の尽きないものでした。

連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」
NHK 総合　あさ8時～ほか　放送中

最初の会社 テイクファイブに入社したきっかけは？

卒業して半年ほど経った頃、美専の南珠里先生の繋がりで京都の古いお風呂屋さんでやるダンスイベントを手伝ったことがありました。その頃テレビ番組制作会社の採用試験を受けたりしてたこともあって、南さんにそういう話をしてたら「テイクファイブっていう会社が人を募集してるから受けてみたら？」と言われたのが最初です。2週間ほどの試用期間の後、採用されました。既に受けていた制作会社は内定もらっていたけどお断りして。

ドラマ制作のお仕事を選ばれた理由は？

当時の自分としては、情報番組の制作よりドラマ制作を経験する方がその後の自分のキャリアに繋がるような気がしていました。それにドラマの方が何やってるかわかりやすい感じがあって。監督がいて・・・みたいな。それに一通りの制作過程は知っていたことでカメラマンが困ってたらちょっと手助けできるし。というかそんなことしかわからないのでドラマの仕事はやりながら覚えていったという感じですね。

入社してすぐNHK朝ドラのお仕事だったんですか？

そうです。2002年のドラマ作品からですが当時は雑務ばっかりでした（笑）入社してすぐなら見学してから実務という流れが普通だと思うんですけど、そんなこと全くなく2週間後には現場に入っていました。試用期間が済んだばかりの右も左もわからないド素人。お弁当も発注するし、ロケ地も探さないといけない。時代物では現代人が見切れるといけないから人や車を止めたり。NHKの場合、いわゆる助監督業みたいなものと制作部の仕事の垣根がないので撮影期間中は1週間準備して1週間撮影の繰り返しでした。ロケの合間に交代で準備する感じです。今は全然違いますけど、その当時はあまり休んでなかったですね。

テイクファイブはもともと大阪で制作をしていた方が東京にでて立ち上げた会社なので東京と大阪の両方にスタッフを置いてました。勉強のために東京本社で仕事する機会がありました。そこではフリーランスの助監督さんと仕事をして、普段のスタイルと全然違うことに戸惑いました。自分が指示を出して皆に動いてもらわないといけないのに全くうまく立ち回れず、結局自分で全部やることになってしまって。でもその時寝る間を惜しんでやった仕事が役者さんから「役にたったよ」と言ってもらえたことが何より嬉しかったです。その言葉がなかったら続けられていなかったと思います。この東京での経験で助監督業務に集中できることの面白みを感じました。その後、演出だけをやりたいという僕の意思を尊重してくれた先輩がいて、幸い20代半ばから現場を仕切れる立場に置いていただきました。

ディレクターとしてはいつから？

30歳の時、当時プロデューサーに昇格された先輩から「ディレクターになりたいなら前例をつくりなさい」と言っていただいて30秒とか1分とかの短いスポット的な番宣番組のディレクションを任せてもらい「てっぱん・総集編」（2011）ではリサーチャーとして構成を考えました。正式にディレクターとしてデビューしたのは「わろてんか」のスピンオフ（2018）です。その翌年の「まんぷく」（2018）の2週分ですね。それまで朝ドラや大河ドラマに関しては、NHK本体でない外部の人が撮るのはあり得なかったことですが、一気に緩和された時期でした。

ディレクターとしてNHK本体に移ることは考えなかった？

あまり考えませんでした。もちろん外部の制作会社からNHKへ移っていく人もいます。でもその当時テイクファイブも自社で番組制作しようという気持ちがあったので自分はそこで仕事できた方がいいだろうなという気持ちがありました。僕らの世代はバブル世代からだんだん逆ピラミッドになってきた時のちょうど狭間の世代というか、仕事を任せるにも下を見たら僕しかいないみたいな状態になっていました。良いタイミングに業界に入ったのかもしれない。今は働き方改革で人を増やす方向に向かっています。昔は外部スタッフ5～6人でやってた仕事も今は30人ぐらいでやっている。「雇用の創出と機会の喪失」って言ってるんですけど、僕らの時って1週間交代で全部、ロケ地もやればスタジオもやってきたのが分業制になってるんです。仕事を覚えろといってもその機会がない今の状況を見ると、当時無理にでも全部を経験せてもらえてたのは得だったなと思います。

ドラマ撮影においてコロナの影響は？

スタッフだったりロケ先の関係でいろんなことは起きます。でも今のところは大きな撮影の中断はないですね。緊急事態宣言中はリハーサルを取りやめたり、テスト撮影はマスクやフェイスシールド着用で行います。ただ、大阪の朝ドラというのは東京から出演者がわざわざ来て一定期間泊まって撮影しています。現場には合宿っぽい雰囲気があってその空気感は映像にも出ると思うんですが、それができなくなってるのは寂しいですね。出演者の緊張をどうやってほぐしながらやってくかっていうことが難しいです。

連続テレビ小説「わろてんか」
写真提供 NHK

連続テレビ小説「まんぷく」
写真提供 NHK

左から　松岡一史さん、企画広報委員 東陰地正喜

これからのテレビとご自身の展望は？

若い世代がテレビを見なくなっているといっても決してテレビとの接触率は下がってないんです。テレビの使われ方が変わってきているということです。うちの息子でもテレビでYouTube見てますし。結局のところコンテンツをどうやって作っていくのかと、見る側の文化をどう育てていくかだと思います。日本で朝ドラと大河ドラマほど大きな予算をかけたテレビドラマはないんです。ミニマムな予算でできるものもあると思うんですけど、プロとしてはより大きい予算の仕事をした方がいいんじゃないかと思って最初から仕事してきました。

フリーのディレクターとして独り立ちするために企画力を磨いていくことが必要になります。東京進出も選択肢になくはないですが、ディレクションをやれる今の環境を大事したい、軸足は育ててもらった関西でという気持ちもあります。例えば釜山を越える映像産業都市というか、東京ではなく京都や大阪を映画づくりの拠点として仕事していくことについて仲間うちで話したりします。京都など撮影所も残っているんだし、もう全部こっちでやりゃいいのにって。

文責／企画広報委員　東陰地正喜

連続テレビ小説「心の傷を癒すということ」
写真提供 NHK

松岡さんが担当された番組

2003年　ドラマ愛の詩『パパトールドミー』/制作補
2003年　連続テレビ小説『てるてる家族』/制作補・SD
2004年　夜の連続ドラマ『結婚のカタチ』/サード助監督
2004年　連続テレビ小説『わかば』/SD(途中合流)
2004年　夜の連続ドラマ『アイ'ムホーム 遥かなる家路』/SD
2005年　連続テレビ小説『風のハルカ』/制作補・SD(途中合流)
2006年　土曜ドラマ『新・人間交差点』/制作補
2007年　土曜ドラマ『スロースタート』/SD
2007年　木曜時代劇『新・はんなり菊太郎～京・公事宿事件張～』/FD
2007年　土曜ドラマ『ジャッジ～島の裁判官奮闘記～』/SD～FD
2007年　木曜時代劇『柳生十兵衛七番勝負 最後の闘い』/SD(途中合流)
2008年　木曜時代劇『鞍馬天狗』/FD
2008年　土曜ドラマ『ジャッジⅡ～島の裁判官奮闘記～』/FD
2009年　土曜時代劇『浪速の華～緒方洪庵事件帳～』/FD DVD 特典映像
2009年　連続テレビ小説『ウェルかめ』/FD総集編スペシャル/FD
2010年　連続テレビ小説『てっぱん』/FD
プレマップ23分『あかり×みおり～朝ドラヒロイン2つの顔～』
※ディレクター総集編 前編 後編　　※リサーチャー
総集編25秒プレマップ ※ディレクター
DVD特典映像『Talk 4 Men』※ディレクター
DVD特典映像／HP用てっぱんダンス『ひとり編』『グループ編』

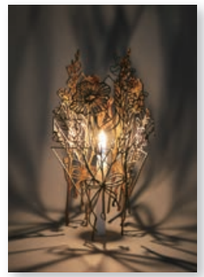
2011年　かんさい特集『やさしい花』/FD
2分プレマップ
25秒プレマップ
5秒クラッチ
2011年　かんさい特集『てっぱん番外編　イブ・ラブ・イブ』/FD
2012年　ドラマ 10『タイトロープの女』/FD
2012年　BS ドラマ『高橋留美子劇場・短編マンガ傑作選（仮）』/FD
2012年　BS時代劇『猿飛三世』/FD
2012年　BSプレミアム「ラストディナー」/FD・制作補
2013年　土曜ドラマ「夫婦善哉」/チーフ助監督
2013年　ただいま母さん PR　　2分 25秒 ※ディレクター
2013年　連続テレビ小説「ごちそうさん」/FD
2014年　連続テレビ小説「マッサン」/FD
2015年　放送90周年ドラマ「経世済民の男 小林一三」/制作補
2015年　連続テレビ小説「あさが来た」/FD
2016年　連続テレビ小説「べっぴんさん」/FD
スピンオフ「忘れられない忘れ物 ヨーソローの一日」第一話・第四話/演出
2017年　連続テレビ小説「わろてんか」/FD
スピンオフ「ラブ＆マンザイ」第5話「勘当のフィナーレ」/演出
2018年　連続テレビ小説「まんぷく」/FD　　第16週・第24週/演出
2019年　よるドラ「だから私は推しました」/チーフ助監督 全8話
土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」第2話「僕たちの仕事」/演出
2021年　連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」スケジューラー/第10週・12週演出

プチギャラリー Wings

大阪芸術大学　芸術学部　工芸学科

作品サイズの単位は mm

金属工芸コース



透
C20008　河西 菜緒
H180×W70×D70
真鍮

クリオネ ー Brass Angel ー
C19012　玉村 陽政
H250×W150×D100
真鍮、銅、ステンレス

ひょうたん
C18027　増永 夕季菜
H1000×W50×D50
真鍮、ステンレス

干支(丑)
C18025　林 怜那
H130×W170×D70
鉄

鍛銅切嵌象嵌合子
C18034　弓場 彩子
H50×W100×D100
銅、真鍮、金箔

陶芸コース

Amulet
C19037　平松 英
H300×W390×D340
陶土・顔料

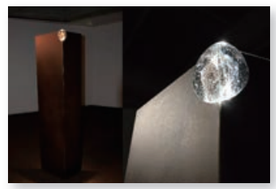
Calm down
C18038　中村 楓
H100×W130×D100
磁土

Mismo
C18016　髙良 優子
H595×W405×D370
陶土

Paradigm shift
C20037　中村 幹
H230×W220×D340
陶土

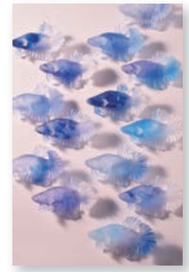
ガラスコース

底意
MS19007　杉村 俊介
H250×W600×D150
ガラス



一滴
MS19007　呉 隆至
H2000×W800×D400
ガラス、鉄

Alive Ⅱ
MS19007　宮木 志江奈
H3000×W1000×D400
ガラス、ミクスドメディア



遊魁
MS21003　渡邊 紫音
H2000×W4000×D50
ガラス

テキスタイル・染織コース

21歳の私
C19026
森谷 涼風
H900×W900
綿・化繊

深層心理『海』
C18007　加藤 有希奈
H1028×W1665
綿布

晴れ着
C19034　日髙 茉緒
H2000×W1750
Tシャツ

『HARE』
C19008
齋藤 桃乃
H1635×W1200
綿布

ほおずき
C18006　勝浦 優真
H1000×W1000
綿布

ハガキ短信

●菅野絵里香
大阪芸術大学美術学科　平成 23 年卒
2015年から刺繍作家活動を始め、展示やイベントなど出展を続けております。今年、2月22日にありがたい事に初めて作品が本に掲載されました。日本ヴォーグ社という会社から「＃今身につけたいハンドメイドアクセサリー150」に作品12点載っています。初心者から上級者まで楽しめるアクセサリーの作り方を説明しているレシピ本です。

「今身につけたいハンドメイドアクセサリー 150」
本体 1,500円＋税
日本ヴォーグ社

●植村香菜子
大阪芸術大学美術学科　平成 18 年卒
いつも楽しく拝読しています。卒業してからずっと大阪で教員をし、子どもたちに美術を教えております。子どもの作り出す芸術作品にいつも刺激をもらい、私自身も変わらず作品制作を続けております。毎年個展もし、創作意欲は年を重ねるごとに増していて嬉しい限りです。
芸大で出会えたサークル仲間やゼミ仲間との交流も変わらずあります。私の人生の大きな土台を作ってくれた芸大に感謝しております。

●細井一真
大阪芸術大学美術学科　昭和 55 年卒
なつかしい写真・駅伝情報
入試関連・学生作品といつも楽しみにしています。
編集ご苦労様です。

●田嶋義幸
大阪芸術大学デザイン学科　昭和 51 年卒
遠藤賢治君とは同期でした。昭和51年の卒業時、彼は大学の助手として残るため私が去ることとなった恵我之荘の、当時としては珍しい電話機付きの部屋に入れ替わりで入居した仲間です。その後のご活躍には本当に目を見張るものがありました。WINGSで仲間の訃報を知りただただ驚愕しております。
……ご冥福を祈ります。

●岩田真一
大阪芸術大学デザイン学科　昭和 51 年卒
「あのころ、あの場所で」は大変懐かしく読ませて頂きました。何度かグーグルで学校の様子を見たことがありましたが、やはり当時の写真の方が学生時代をよく思い出します。学生時代の写真を持っていないので尚更強く感じました。

●内藤康彦
大阪芸術大学デザイン学科　平成元年卒
6年後、定年退職を迎える年齢になりました。思い返すと、アッという間の社会人生活だったと思います。年を追う毎に、wingsを拝見するのが楽しみになってきました。同級生達は、皆どうしているのか…。
今後も楽しい記事を宜しくお願いします。

●堀　智香（旧姓・森岡）
大阪芸術大学デザイン学科　平成 17 年卒
いつも「WINGS」が届くと懐かしい気持ちになります。ゼミでは企画広報委員長の田村昭彦先生に大変お世話になり、たくさんお話をし、教わったことを覚えております。
社内デザイン部のデザイナーを何社か転職し、今は子育てしながら毎日「紙」製品の工場で働いています。プライベートでは、似顔絵や依頼されたイラストをスニーカーやTシャツに描く仕事をしており、大学で培った経験をしっかり活かして、これからも描きます!!

●中村　孝
大阪芸術大学デザイン学科　昭和 58 年卒
現在勤務しております、弊社ニチレイマグネット（株）はマグネットシートを扱っている会社です。面白い商品をショールームに展示しております。是非とも来店お待ちしております。

●井本静美（旧姓・延増）
大阪芸術大学工芸学科　平成 12 年卒
毎年届けられるWingsに目を通させて頂き、様々な取り組みやみなさまのご活躍に心躍ります。仕事先で「大阪芸大卒」という方と出会うとすぐに打ち解けられます。学生時代の友人といつかまたキャンパスにふらりと訪れることができますように。

●阿佐部伸一
大阪芸術大学写真学科　昭和 56 年卒
満60歳で放送局を定年退職し、時流に合わせ、インターネット用映像制作『アサヤン企画』を起業しました。
新型コロナでキャンセル続出し、皆様同様に大変ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

●黒田多嘉雄
大阪芸術大学建築学科　昭和 56 年卒
Wings毎回楽しみにしています。
在学中の気持ちを思い出しながら読ませていただいてます。自分の好きな事を好きなようにやらせてもらえた環境だった事に今更ながら感謝しています。また、卒業生の皆さんも同じ想いである事が感じられました。ありがとうございます。

●丸岡彦太郎
大阪芸術大学環境計画学科　平成 10 年卒
大学はコロナウイルスで大変な一年だったと思います。特に女子駅伝部の富士山女子駅伝の出場辞退は、報道で知り大変驚きました。しかし、コロナがきっかけで浸透したzoomアプリで、先日20年ぶりに大学時代の友人とオンライン同窓会をすることができました。懐かしく、楽しい時間でした。
今は、早くコロナが終息することを願うばかりです。

●黒田実咲（旧姓・秋津）
大阪芸術大学環境デザイン学科　平成 24 年卒
いつも楽しく読ませていただいています。
懐かしい芸大の思い出がよみがえりました。私が立ち上げた書道部はまだあるのかな？それともとっくに閉部してるかな？（笑）色んな事にチャレンジできた学生時代、本当にあっという間だったな。時間を見つけて、2021年は新しい事にチャレンジしていけるようにしたいなと思いました。

●川嵜浩子
大阪芸術大学映像計画学科　昭和 59 年卒
遠藤先生が亡くなったことを知らず、驚きました。いつも静かに笑っておられたように思います。今回はwingsの編集は大変だったでしょうに、いつもより一層充実した内容で、じっくり読みました。「あのころ、あの場所で」のコーナーでは、自分がどこかに居るんじゃないかと、本当になつかしい風景です。この特集をやってほしいです。人生の基礎を作った時代だったように思います。次号もとても楽しみにしています。

●黒田　誠
大阪芸術大学映像計画学科　昭和 58 年卒
今は立派なグランドになってますが、私は在学中に先輩と旧グランド横の墓地から山に入り、第二食堂裏の池に通じる道へキモダメシがてらに歩いた事があります。その時みつけたホタルの大イルミネーショントンネル。何千か何万か今では決して見る事のできない風景。何人の人がこの場所を知っていたのかなあ！

●大谷明子（旧姓・酒井）
大阪芸術大学映像学科　平成 9 年卒
学生時代、遠藤先生には大変お世話になりました。立体アニメーション制作（当時はフィルムでした）についてや、アルバイトの世話まで、話せばひょうひょうと面白く、しかられたことなどひとつもなく、友達のように接してもらえる、でもたのもしい先生でした。学校を卒業後、一度だけ転職で大阪を離れる時に電話した際「がんばってね」と声をかけられたことを覚えています。いつかお会いしたいとずっと思っていましたが、今回の残念なお知らせを知り、心が痛みます。先生、本当にありがとうございました。

●柳沢こずえ
大阪芸術大学文芸学科　昭和 58 年卒
「wings」が届く度に、自分の存在を肯定されているようで、ものすごくうれしく暖かい気持ちになります。楽しみにしています。
もう一度、必ず母校大阪芸大に会いに行きたい一念で、悪かった足を手術しました。絶対に行こうと思います。ずっとずっと応援しています。ありがとうございます。

●三嶋陽子（旧姓・櫻井）
大阪芸術大学文芸学科　平成 5 年卒
現在、アパレルの店の店長と副業としてカードリーディングを使った占いのコンサルタントをしております。息子も分野はちがえども、私の意思をうけついでくれて、現在東京の桜美林大学 芸術学部で音楽を専攻しております。トランペットの奏者を目指す息子の姿にありし日の自分を重ねています。親子２代で芸術にかかわれることに感謝です。

●満　克昌
大阪芸術大学文芸学科　昭和 58 年卒
「あのころ、あの場所で」の写真はまさに、私の卒業アルバムの中の写真でした。
久しぶりに卒業アルバムを見てすごく思いをはせることができ、ありがとうという思いです。

●生山絹江
大阪芸術大学文芸学科　昭和 46 年卒
卒業の年を忘れてしまう位の年月が。でも学生番号だけは覚えてる!!
年に一度のお便り、ありがとうございます。私もまだ現役ですが、続けられるだけ続けるつもり。皆様のご活躍に刺激されながら…。

●上村雅博
大阪芸術大学文芸学科　昭和 54 年卒
市役所を定年退職後、ヘルパーの資格を取り障がい者の支援を６年間続けましたが、大病を患い一昨年退院後、健康に気をつけ今は英語と中国語を学びながら海外からの実習生を対象にした日本語教室でやさしい日本語を教えています。

●荒谷みほ（旧姓・長田）
大阪芸術大学文芸学科　昭和 57 年卒
質量を伴う「WINGS」が手元に届くことをありがたいと思っています。今の時代、ネットで見てくださいやWEBで、と言われることが多いのですがそれだと殆ど見ないのです。やっぱり昭和生まれだからかな？とも思いますが、実物の冊子を手に取って見ることのできる「WINGS」を続けてほしいと願っています。

●高瀬弘行
大阪芸術大学文芸学科　平成 10 年卒
コロナ禍で届いたWingsを読んで元気づけられました。卒業後、大阪を離れて20数年。
「あのころ、あの場所で、」を読んで、芸大時代を懐かしく思いました。関西に行く機会があれば、今のキャンパスに遊びに行きたいです。

●山本裕子（旧姓・中川）
大阪芸術大学放送学科　昭和 64 年卒
WINGSはいつも楽しみにしています。
懐かしのキャンパスライフよかったです。
私はコロッケうどんが好きで、先日学校を訪問しメニューからなくなっているのが、ショックでした。斬新すぎるあのメニューみんな覚えているのかな？

●塚正隆子（旧姓・堺）
大阪芸術大学放送学科　昭和 50 年卒
ウイングス、楽しみにしております。
B1、4期は毎年1泊の同窓会をしておりますが、今年はコロナ禍、9月の予定が、どうなるやら、他の科の皆様も、何かされておられるのでしょうか？

●大石和生
大阪芸術大学放送学科　昭和 54 年卒
コロナ禍の中、皆様には制限された日々を送られていると存じます。WINGS・42号の学校便りを拝見いたし、近鉄喜志駅の改札外階段を芸大生がデザインしたと知り、懐かしく一度お伺いしたいと思っております。
母校並び校友会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

●福山秀見（旧姓・浦下）
大阪芸術大学放送学科　昭和 51 年卒
フリーアナウンサー・ナレーター・朗読家として活動しています。もう 40 年〝声〟の仕事をしていることになりますが、今は自宅、オフィスにいながら、オンラインナレーションで仕事が成り立ちます。便利になりました。大学時代の友人とは今もワイワイやってます。

●澤田　修
大阪芸術大学放送学科　平成 11 年卒
放送学科をギリギリの単位で卒業以降、ニューヨーク→名古屋→東京と拠点を変えながら、ナレーター、FMラジオDJを続けています。縦のつながりはほとんどありませんでしたが、校友誌を懐かしい気持ちで読ませていただきました。次号を期待しています。

●三浦栄一
大阪芸術大学放送学科　昭和 49 年卒
イ）「あのころ、あの場所で、」ロ）「懐かしのキャンパスライフ」拝見、拝読させて頂きました。昭和 46 年入学時に帰らせて頂き、とっても「なつかしい」です。「金剛寮」「1 食」等、私の青春そのものです。
「金剛寮」に入寮していた。デザイン学科千代田幸二君は夜空でかがやいています。そして野田君も昨年「タビダチ」ました。
大阪芸術大学剣道部初代主将、三浦栄一
2021.3.3（水）

●岡本真須美（旧姓・渡辺）
大阪芸術大学音楽学科　平成 5 年卒
コロナ禍の中、内容のある記事を読み励まされました。スタッフの皆様ありがとうございます。
なかなか音楽活動が出来ないですがやれる事から精進します。在学生の皆様の輝かしい未来をお祈り申し上げます。

●韓　進鏞
大阪芸術大学音楽学科　平成 14 年卒
現在、小学校教諭として勤務しております。メディアにも取材して頂く機会があり、日本経済新聞社と読売テレビに授業の様子を取り上げて頂きました。
在学中はピアノ専攻でしたが、卒業後は弦楽器に転向し、オーケストラでも演奏しています。
現在、大学院を目指し勉強中です。

●増本恵理
大阪芸術大学音楽教育学科　昭和 60 年卒
数年前、娘の担任の先生が美術学科の卒業生と知り、懇談で思い出話に花が咲きました。一番驚いた事は、スクールバスが坂の上に着

ハガキ短信

くと聞いたことでした。声楽のレッスンのある日は、ヒールの靴をはいて行くので、下校時の下り坂が辛かった事を一番に思い出しました。今から思うといい運動だったです。

●高口陽子（旧姓・藤田）
大阪芸術大学演奏学科　昭和 52 年卒

いつもお世話になります。
卒業して 44 年が過ぎました。
コロナが落ち着きましたら、大学の方へ出かけて行きたいと思います。
「あのころ、あの場所で、」の心臓破りの坂道の記事なつかしく思い出されました。

●北中祐子（旧姓・竹内）
大阪芸術大学芸術計画学科　平成 8 年卒

コロナで大好きな美術館やクラシックコンサートも中止になったり、ギャラリーにも行けず…。オンラインで大芸大卒業生の絵を買わせていただいたり、すこしでも、アートにたずさわる方達が制作を続けて行けるように願っております。在校生も、つらいと思いますが、こんな時だからこそ、アートが必要です。

●早川祐子（旧姓・八木）
大阪芸術大学芸術計画学科　平成 16 年卒

マメにご送付いただきありがとうございます。
ライターの仕事に加え新たな事業（整理収納アドバイザー）を展開予定です。
2 足のわらじは大変ですが、動くことをやめずに進みたいです。

●福井博章
大阪芸術大学芸術計画学科　昭和 62 年卒

すべての仕事が止まった。考えさせられることの多い一年だった。そして改めてライヴのもつエネルギーという大切なものに気づかされた。オンラインなどの新しい試み。そこに大学時代に得た知見や、同時に体感したことが大いに役立つとは…。感謝！「人生に無駄なことはない」を痛感する日々である。

●菊谷啓太
大阪芸術大学舞台芸術学科　平成 29 年卒

河口湖のキャンプ場を「日本一のエンターテインメント」なキャンプ場にしようと毎日努力しております。ぜひお越し下さい。
Work Shop Camp Resort「森と湖の楽園」Youtube：「森と湖の楽園 Youtube!」で役者活動中です。

●小林桃子
大阪芸術大学舞台芸術学科　平成 9 年卒

毎年のお便りありがとうございます。
昨年 3 月に撮影された映画「おっさんずぶらーす」が湯布院映画祭にかかり、大先輩の渡辺いっけいさんと同じ会場にいられて、今年は 2/26 ～全国のイオンシネマさんで出演作品「忘れられた神様」が公開され、卒業から 20 年以上経って少しずつ場を広げ、これからも頑張ろう思います。いつか取材されるように!!

●住谷梨栄
大阪芸術大学舞台芸術学科　平成 14 年卒

いつも魅力あふれる記事をありがとうございます。2021 年 2 月の NO.42 に仮面ライダー、戦隊ヒーローの制作をされている方々の記事があり、息子にみせました。バッチリはまっているお年頃で。テレビの中のヒーローを創り出すお仕事があるんだと、知るきっかけになりました。舞台も TV も広く親しんでほしいと思う私です。

●髙﨑展好
大阪芸術大学大学院芸術制作研究科
平成 13 年卒

「WINGS」いつも楽しみに拝読させていただいております。現在岡山の環太平洋大学 次世代教育学部で准教授として学生指導に当たっています。コロナが収束したら演奏活動も再開したいです。大阪芸大の益々のご発展を心より祈っております。

●清水邦子
浪速短期大学デザイン美術科　昭和 40 年卒

ウイングス今年も届きました。コロナの影響の中、大変ご苦労を感じます。ありがとうございます。私の学生時代は充実し、悔いはありません。一生懸命デッサンを学びました。一緒に共にした（絵画コース）の皆さんどうしていますか？お元気ですか？私は墨彩画を描いています。45 年になります。もうしばらく続けられたら……と思っていますが、77 才ですから、企画広報の皆様に感謝します。

●倉橋三郎
浪速短期大学デザイン美術科　昭和 37 年卒

浪速短期大学の第一期生です。
装画装丁家です。4000 冊弱の本の装画装丁を制作しました。現在は PHP 文庫「本所おけら長屋」16 巻の装画装丁をしています。

●上田隆康
浪速短期大学デザイン美術科　昭和 45 年卒

ウイングスありがとうございました。
なつかしく読ませていただきました。私の方、今も自分のペースですが、絵を続けています。毎年ではありませんが個展を続けています。今後もすばらしい教育活動をされます事に期待しています。

●澤　戞三
浪速短期大学デザイン美術科　昭和 38 年卒

令和 2 年には、奈良県三郷町と大阪府柏原市の共同で取り組んだ「龍田古道と亀の瀬」が日本遺産認定を受け、私は「公式フォトグラファー」として一躍を担うことができました。写真媒体で多くの古道ファン作り、邁進していきます。

●皆山武史
浪速短期大学デザイン美術科　昭和 39 年卒

1964 年東京オリンピック前にお世話になりました。この時代の先生方の作品をなつかしく想い出しております。あべのハルカスにもびっくりしております。

●武友朋子（旧姓・森）
浪速短期大学デザイン美術科　昭和 38 年卒

昨年（令和 2 年）11 月、主人（武友正修）死去しました。
デザイン美術学科卒です。デザイン事務所終えてのち、パステル画を 10 年余り続けておりましたが、病には勝てませんでした。81 歳でした。多くの友人に見送られました。このコロナ禍の世が早く明るくなりますこと、祈っております。皆々様お礼申し上げます。企画広報委員長の田村様、お元気で！

●瀬野洋子（旧姓・村上）
浪速短期大学広報マスコミ科　昭和 49 年卒

現在 FM ラジオバリバリ（今治の FM 局）でレポーターしてます。
短大の時、学んだことは何でも広く浅くても良いから興味を持ちなさいでした。今も好奇心だけは、失わずレポーターさせてもらってます。コロナで中止になっている同窓生の福井での集まりが出来ること祈ってます。

●上村みゆき（旧姓・広瀬）
浪速短期大学広報マスコミ科　昭和 63 年卒

いつも楽しく拝見しています。
卒業して 23 年。
伊丹学舎はどんな感じになっているのでしょうか…阪急山本駅からの通学・徒歩は辛かったです。

●山村眞由美（旧姓・黒岡）
浪速短期大学広報マスコミ科　昭和 58 年卒

卒業後 出版社に就職しましたが挫折して一般企業に転職。その後 結婚→離婚を乗り越え再婚。そして来年 定年を向かえます。今、振り返ると全くちがう業種にもかかわらず短大時代に勉強したことや経験を仕事に活かせることもあり、楽しい 2 年間だったなと懐かしい想いです。同期の皆さんともまたお会いしたいです。

●村上さくら
浪速短期大学広報科　平成和 14 年卒

2020 年 1 月末に大阪から青森県に移住いたしました。青森県の伝統工芸品「五戸ばおり」「ごのへばおり」という、編笠制作の弟子入りの為です。4 月から師匠の住んでいる町へもう一回、引越しします。村役場の方々も応援して下さっております。がんばります！

●瀬田　文（旧姓・田中）
浪速短期大学広報科　平成 11 年卒

広報科を卒業し一時的にメディア関係ではない職種につき、その後再びメディア関係で就職をと思っておりましたが、広報で学んだことと、元々好きだったデザインを勉強をし、グラフィックデザイナーとして現在働いています（契約社員ですが）充実した毎日を過ごしております！

●大城由稀（旧姓・吉田）
大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科
平成 28 年卒

現在「有村宮澄（みすみ）」という芸名でムーブマンに所属し、声優として活動しています。

●鳶嵜竹治
浪速短期大学英語科　昭和 30 年卒

大阪芸術大学の益々の発展大慶に存じます。女子駅伝部の活躍期待しています。大阪女子マラソンでの宮永光唯選手の快走は天晴れでした。昭和は遠くなりにけり。昭和 30 年卒の小生は最年長でしょうか、美章園の木造校舎が懐かしいです。塚本学院の益々の発展を祈ります。

●岡﨑桂興
浪速短期大学英語科　昭和 38 年卒

最近、ふるさとの史跡等をデジカメで撮り、グーグルマップに送っています。これまでに藤坂の大桂、我家の江戸～大正時代の銘酒 玉の井醸造跡、室町時代の白藤城跡、NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」関連の八上城跡、49 寺院跡、福住の流状溶岩、大熊の笛吹山（瑠璃寺跡）等が掲載されました。全世界の人々が御覧になれば幸甚です（笑）

●玉置麻予（旧姓・中江）
浪速短期大学商業科　昭和 60 年卒

数年前、30 年ぶりに友だち数人と再会し私たちの青春のシンボル矢田の円形校舎に行きました。学校名が変わっていたのは少しビックリしましたが、大きく立派になっていたので嬉しく、ほこらしい気分になりました。ますますの発展をお祈りします。

●杉井弥生（旧姓・日下）
浪速短期大学保育科　昭和 57 年卒

卒業後、民間の保育園で 8 年勤め、その後、公立の試験を受け運良く合格し、現在にいたります。といいましてもあと 1 年で定年となる年頃です。大阪市も厳しい状況になり、先輩方が、辞めていってしまい、いつのまにか所長になり 5 年目となりました。今は、係長として、区役所に勤務しています。

●尾崎里美（旧姓・津村）
浪速短期大学保育科　昭和 45 年卒

いつも楽しく、なつかしく読ませてもらっています。学生さん、OB の方のすばらしいご活躍に感動しています。私は 51 年前の卒業なので時代と共にかわっていく様子がよくわかります。これからもよろしくね　ご苦労様です。

●藤本史子（旧姓・秋武）
浪速短期大学保育科　昭和 35 年卒

後輩が社会で活躍されていること嬉しく存じます。
一生懸命に学び楽しい学生生活でした。

●朝山靖子（旧姓・長）
浪速短期大学保育科　昭和 33 年卒

現在も元気に過ごしていますが当時の卒業生の方とは全くお会いしたことはなく、今まで会報のみを楽しみにしています。

●矢野美智子（旧姓・井辺）
浪速短期大学保育科　昭和 44 年卒

短大で保育を専攻し保育士と幼教論の資格を取り、幼稚園で 30 年間勤める中で一級の免除を取ったお蔭で現在も学童保育で子ども達と接し、楽しく毎日をすごしています。お陰様です。有難うございました。

●多田サチ
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 45 年卒

通信を頂きなつかしく目を通しています。
お陰様で今年 86 歳になります。公立幼稚園の勤務を終了後、民生委員、社会教育指導員、教育委員、日赤奉仕団、地域のボランティア活動をしています。私ごとですが、令和 2 年に厚生大臣賞を受賞しました。本校の今後のご発展を心よりお祈り致します。

●山本宏子（旧姓・山岡）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 39 年卒

ウイングス 42 号ありがとうございました。
ページをめくりながら…感動とおどろき!! 年代を感じます。80 代になりました。毎日ゆっくりの散歩ですが季節の移り変わりを見つけ楽しんでいます。何の力添えも出来ませんが皆様方のご活躍とご健康を祈っています。

●高橋美智子（旧姓・田中）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 51 年卒

私は短大（通教）でお世話になりました。2 年前芸大の方に 45 年ぶりに行ってびっくり新しい校舎ができすばらしかったです。今年コロナがあり矢田の校舎を見学に行きたいと思ってますがなかなか実現できそうにありませんが本誌で学び舎がありすごく感動しました。今小学校でサポートスタッフとして働いています。

●星野正子（旧姓・相澤）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 43 年卒

コロナの前昨年大阪へ行き阿倍野まで行きましたが、うらしま太郎の様で何もわからず、学校へは行けませんでした。でもみなさま方の活躍をいつも見せていただきうれしく思います。未だに通教のスクーリングでご一緒した友人とお付き合いをしてなつかしく思っております。みなさま方のますますのご活躍祈っております。

●山口幸枝（旧姓・舘）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 48 年卒

「WINGS」42 号の送付ありがとうございます。卒業して 48 年が経ち、浪速短大、大阪芸大でのスクーリング等、あの頃を懐かしんでいます。保育士として 45 年勤め、現在は、地域のボランティア活動、趣味等楽しんでいます。今後も、貴校の益々のご発展をお祈りいたします。

●吉中和子（旧姓・大隈）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 40 年卒

毎年「WINGS」を送っていただきありがとうございます。短大通信教育で幼稚園教諭の免許をいただいたおかげで、私立幼稚園に 8 年、公立幼稚園に 17 年、園児減少で市役所の中へ異動、定年まで勤務する事ができました。今は手話の勉強、茶道（表千家）の勉強、楽しくしております。今年で喜寿ですが、頑張ります。

●中島文子
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 48 年卒

ウイングス毎年送っていただきありがとうございます。また大阪で万博がありますね。私たちはスクーリング中に前万博に参加しました。どこの館も行列で人、人と暑さでヘトヘトになって帰ったことを忘れられません。でも 1 単位いただきましたよ。心から感謝です。貴校の御発展御祈りいたします。

●在本桂子
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 54 年卒

毎回 wings をお送り下さり感謝しています。現在 76 才ですが、学院で学んだことをいか

ハガキ短信

し、童話執筆、よみきかせ、ボランティア、などをおこない、生活をエンジョイしています。ありがとうございます。　感謝です

●冨賀見マユリ（旧姓・富永）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 39 年卒
浪速短大の通信教育で保育科を卒業、幼稚園教諭そして国家試験を受けて保母の資格修得、子育てしながら打ちこめた保育の仕事に夢中になれた事が〝しあわせ〟でした。
昭和 39 年 3 月卒業
浪速短大〝ありがとう〟私の人生 !!

●北川恵美子（旧姓・髙橋）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 40 年卒
校友会誌のご送付ありがとうございます。
若い頃、頑張っていた自分をなつかしく思い出させて頂き、本当にうれしいです。

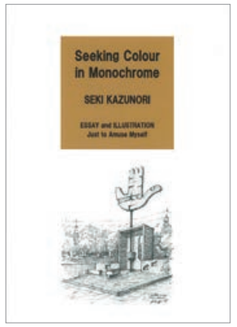
●熊倉公子（旧姓・藤木）
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 45 年卒
連絡ありがとうございます。
すっかり遠い時の流れに、細かく思い出せません。でもおかげ様で 8 年の幼稚園教師の時代を今も仲間と語り、会う事が楽しめる時があります。感謝です !

●中川愛子
浪速短期大学通信教育部保育科　昭和 32 年卒
昭和 6 年生まれですが健康で体操教室を公民館で実施しております。なんとか、死ぬまで歩きたい一人の生活をまんきつしています。いつまでもこの生活がつづけられるよう日々、努力したい注意して生きていきたいと思っています。

●楫野ゆり（旧姓・石飛）
大阪美術専門学校デザイン学科　平成 2 年卒
昨年はそれまで卒展に見に行っていたのがコロナ禍行けず、今年こそはと思っていたのですが、残念ながら状況を考え行く事をやめました。学校便りで現学生の状態を知り自分達の時はとても恵まれた時であったと思います。貴重な学び時間を大切に学生の皆様に頑張っていただきたいです。応援しています。

書籍・CD・DVD出版

著者・出版物のご案内



BOOK Seeking Colour in Monochrome
著者――関　一則
（大阪芸術大学建築学科卒）
出版社――ブイツーソリューション

BOOK きみの傷跡
著者―― 藤野恵美
（大阪芸術大学文芸学科卒）
発行所――角川書店
定価――1,600円+税

BOOK たこ焼きの岸本3
大阪で生まれた女
著者――蓮見恭子
（大阪芸術大学美術学科卒）
発行所――角川春樹事務所
定価――680円+税

BOOK 輝け! 浪華女子大駅伝部
著者――蓮見恭子
（大阪芸術大学美術学科卒）
発行所――光文社
定価――740円+税

BOOK 思い描いた世界を作る Photoshop
レタッチ・加工 魔法のレシピ
著者――上山太陽　その他
（大阪芸術大学映像学科卒）
出版社――ナツメ社
定価――2,400円+税

BOOK スワン
著者――呉　勝浩
（大阪芸術大学映像学科卒）
発行所――角川書店
定価――1,700円+税
2019年下半期
第 162 回直木賞候補作

書籍・CD・DVD出版

著者・出版物のご案内

BOOK サヨクとイマジン
著者――岡田成史
（大阪芸術大学美術学科卒）
発行所――文芸社
定価――900円+税

BOOK 目利き芳斎事件帖③
猫化け騒動
著者――井伊和継
（大阪芸術大学舞台芸術学科卒）
発行所――二見書房
定価――700円+税

BOOK 歌麿春画で江戸かなを学ぶ
著者――車　浮代
（大阪芸術大学デザイン学科卒）
発行所――中央公論新社
定価――1,800円+税

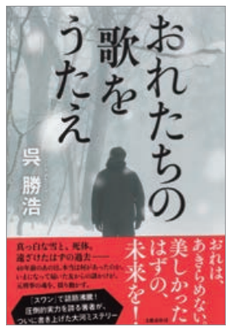
BOOK 蔦重の教え
著者――車　浮代
（大阪芸術大学デザイン学科卒）
発行所――双葉社
定価――710円+税

BOOK 今身につけたい
ハンドメイドアクセサリー150
著者――菅野絵里香
（大阪芸術大学美術学科卒）
出版社――日本ヴォーグ社
定価――1,500円+税

BOOK マイカルの祈り
9.11 同時多発テロに殉じた神父の物語
著者――中村吉基
（大阪芸術大学文芸学科卒）
出版社――あめんどう
定価――1,000円+税

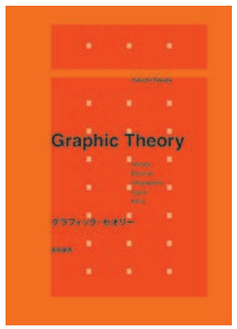
BOOK 孫の心をわしづかみ
ドキドキ!ワクワク!紙おもちゃ
著者――千光士義和
（大阪芸術大学映像学科卒）
出版社――PHP研究所
定価――1,300円+税

BOOK メディコ・ペンナ
万年筆よろず相談
著者――蓮見恭子
（大阪芸術大学美術学科卒）
出版社――ポプラ社
定価――1,600円+税



BOOK おれたちの歌をうたえ
著者――呉　勝浩
（大阪芸術大学映像学科卒）
発行所――文藝春秋
定価――2,000円+税
2021年上半期
第 165 回直木賞候補作

電子書籍 ビジネスを成功に導く
ビジュアルブランディング　Kindle版
著者――秋篠くるみ
（大阪芸術大学放送学科卒）
出版社――ＵＴＳＵＷＡ出版
定価――Kindle版 1,000円(税込)



BOOK グラフィック・セオリー
著者――高田雄吉
（大阪芸術大学デザイン学科卒）
出版社――パイ インターナショナル
定価――1,500円+税

校友会員・各学校の
教職員による
著書・CD 等を
Wings 及び
ホームページで
紹介します。
企画広報委員会まで
寄贈してくださいませ。

大阪芸術大学体育会 アメリカンフットボール部OB会支部

大阪芸術大学体育会アメリカンフットボール部　総監督　岡田 邦彦

いつも応援いただきありがとうございます。
昨年度より猛威をふるっております新型コロナウィルスの影響で我がアメリカンフットボール部は休部の状態に追い込まれてしまいました。
グランド立ち入り禁止でまともな練習は出来ず、対面での新入生に対する勧誘は出来ないなど厳しい状況でクラブとしての体をなさず、今後どのように運営していけば良いのかを考えさせられる一年となりました。
学生の命や健康のことを考えるとやむをえないことなのですが、もともとが少ない人数でやりくりしてきたクラブなので、50数年連綿と続いてきたものがあっという間に崩れてしまいました。我が校だけでなく、関西の大学でアメリカンフットボールをする人数がコロナ発生前と比べて約半分の数になりました。本当に寂しい限りです。
本気で楽しみ、正しい方法で勝利を目指すことが学生スポーツの本質であり、本気で戦うからこそ素晴らしいチームメートができ、ライバルができ、そのそれぞれが一生の宝物になります。
私は学生スポーツをすることは学校の勉強以外に大人になっていく過程において多くのことが学べる場所であると信じ、卒業後45年近く我がバイパースに携わってきました。
厳しい状況ではありますがこのまま終わるわけにはいきません。
今年度はなんとか復活の道を探るべくアイデアを絞り出し、全国に散らばるOB会員の力を結集し、一歩前に進めるように行動していきたいと思っております。
手始めにアメリカンフットボールをやっている高校にバイパースのリクルート用リーフレットを送り少しでも興味を持ってくれたところがあれば出向いて行き、芸大、そしてバイパースの良さをアピールしていきたいと考えております。
校友会の皆さまのお知り合いで高校で何かスポーツをやっていたけれど大学は芸術系にいきたいと思っておられる方がおられましたらぜひご一報ください。
宜しくお願い申し上げます。

大阪芸術大学演奏学科 管弦打支部

支部長　山本 恭平

2018年 15回演奏会　SAYAKAホール

皆様こんにちは。
現在も我々は世界的なコロナ禍の影響下において、日々の生活を送っております。
そのような状況の中でオリンピックが開催され、我々に大きな感動を与えてくれました。　多くの関係者の皆様のご尽力の賜物で、ひと時ではありますが、平常時の気分を感じさせて頂いた次第です。

さて、ヴィルトゥオーゾオーケストラ演奏会は事態の状況などを踏まえ、当面の間中止とさせて頂きます。
昨年に続き、今年も校友会より交付金(塚本学院校友会社会貢献等支援事業)のご支援を賜りましたが誠に残念ながら「2年続けて中止」との判断をさせて頂きました。
判断根拠は様々ございましたが、賛助出演を予定していた中学校吹奏楽部の皆様への配慮が大きな要素でした。
誠に残念ではございますが、「安心して演奏会が開催できる」と判断出来る時まで待ちたいと思います。卒業生の皆様におかれましては、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。演奏会開催の日が早く訪れることを祈り、お互いに笑顔で再会いたしましょう。

最後になりますが、これまで演奏会を支えて頂いた多くの諸氏がおられます、牧村邦彦氏、伊勢敏之氏、橋爪伴之氏などですが、今年度より伊勢氏が常勤として学生の指導に当たっておられることをお知らせいたします。

2014年 11回演奏会　河内長野ラブリーホール

2019年 16回演奏会　八尾市プリズムホール

校友会支部を立ち上げませんか

塚本学院校友会支部は、校友会本部との連携をもとに、支部会員相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的に活動しています。現在、学科支部が5支部、クラブ支部が3支部、地域支部が1支部、それぞれ活動を展開中です。

会員のみなさんも校友会支部を立ち上げて、互いの親睦を図るとともに、母校の隆盛に貢献しませんか。詳しくは、校友会事務局までお問合せください。

支部運営委員長　奥見 俊晴

校友会事務局　TEL 06-6607-1988　FAX06-6607-7485

映像学科支部は、コロナ禍でも沢山のOBが連携し、協力がとれた1年でした。

大阪芸術大学 映像学科支部長　広瀬 まり

50周年記念同窓会を始め、総会も貢献活動も安全を重視し延期しております。その中で校友会及びOBも協力しました産学共同映画『虹の彼方のラプソディ』が完成しました。キャストとして華を添えてくれました演奏学科客員教授の木根尚登先生、マーク・パンサー先生より芸大映画初参加のコメントを寄せて頂きました。多忙なスケジュールの中、有難うございました。その世代は大喜びでした♪

木根尚登（TM NETWORK）演奏学科客員教授より

2020年制作の映画「虹の彼方のラプソディ」にゲスト出演させて頂きました。撮影のこの日は、本当に驚きと感動の一日でした。共演者で本学の教授でもある森川美穂さんとは、何十年かぶりの再開でした。ご一緒出来て嬉しかったです。それと、なんと大森一樹監督に演技指導して頂いた事は、僕の一生涯の思い出になりました。その監督のもと、キャストもスタッフも全て学生さん。撮る方も撮られる方も、プロ顔負けの演技と技術でした。撮影時の緊張感と、皆さんの真剣な表情は、今も忘れられません。太陽のいない寒い冬の日でした。でも、その日は一日暖かい気持ちでいられました。今、僕は、卒業生の皆さんの未来が楽しみです。新しい時代が来ます。固定概念や先入観は捨てて、人生というドラマのどんな役が来ても、自分と未来を信じて、何があっても一日楽しく朗らかに、周りを気にせずに、ただ一歩ずつ前だけを見てゆっくり歩いて行ってください。僕も遠くから応援しています。

撮影休憩中の木根尚登先生

①

②

③

マーク・パンサー（globe）演奏学科客員教授より

マーク先生、オープンキャンパス講座

行きつけのバーで一杯飲んでいたとある夜、事務所の社長から電話が入り“映画に出てみないか？”と聞かれ、すぐに断ったのを覚えている。理由は簡単だ。僕は音楽の世界で生きていて、映画の世界は子供の頃に捨てていたからだ。しかし、次の日に社長は台本をもってきた。ゆっくりと読んでみると、僕の出番はほとんど無い。どんな役かというと、僕自身「マーク・パンサー」が、夢見る生徒にチャンスをあたえる、そんなプロデューサーみたいな役だった。台本を読んでいくにつれて、自分の役なんてどうでもよくなった。この映画のストーリーに引き込まれていった。学生たちの間に巻き起こる、友情、恋愛、それだけではなく、未来へと向かいながら、努力や挫折、若い時にしか経験できない、いろんな事が絡み、頑張る若者。そんなストーリーは台本の中だけではなく、実際の撮影現場でもプロに混じって芸大の生徒達が汗を流し映画を実際に作っていくとの事だった！映画と現実がきっと交差するそんな瞬間も生まれるんだろうなと思った。台本を読み終わり、僕は目の前でニヤニヤしていた社長に是非出演させて欲しいと伝えた。
夢は寝ながら見るものだ。しかしそんな夢はただの夢。忘れてしまうし、実現することもないだろう。目を覚ましてる時に見る夢こそが大切な夢だと思う。そんな実現可能なでっかい夢をたっぷりと見れるのが大学だ！そんな夢を映画にしてくれて本当にありがとう！
これから卒業していくみんな、自信をもっていろんな壁を乗り越えて行って欲しい！がんばれ！未来のスーパースター達よ!!!

※なかなか思うような動きがとれない年でしたが、沢山のOBが各自の経験とネットワークで協力した1年だったと感じます。来年度からは新たな体制で校友会員の皆様と支部会を作っていきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

記念同窓会はコロナウィルス感染収束後、開催を決定します。メール及びホームページで連絡いたします。支部会、同窓会は全OB.OGの皆様と共に楽しく作っていきたいと思っております。

https://v-dousoukai-oua.jimdofree.com/
e-mail:v-dousou@osaka-geidai.ac.jp
〒585-8555 大阪府南河内郡河南町東山469
大阪芸術大学映像学科研究室内　映像学科支部会
担当：近藤

①② 産学映画撮影中／山本氏（v9）撮影
③「あの日のキャンパス」1980年0号館前／柴田氏（v9）撮影

塚本学院校友会 大阪支部 活動報告

第7回を迎える「大阪芸術大学OB＆OG会」、「塚本学院校友会 大阪支部」と承認されてから第3回目の総会が令和3年9月25日（土）に開催される予定でありましたが、コロナ禍のために今年も中止となりました。

前回、中止になった時は流石に今回は治まって開催できるだろうと 高を括っておりましたが、治まるどころか、緊急事態宣言の都道府県が増える一方で、当然大阪はその期間の延長ということになってしまっている状況となっております。ただ、ワクチン接種も進み、コロナに対しての医療も進むと思いますので、次回こそはコロナが収束して総会が行われることを期待しております。
総会では毎回、この1年の大阪支部の活動報告の後、参加メンバーの自己紹介、活動発表やイベントの発信を行っておりますが、次回は3年分溜まった報告を出席メンバーのみなさんから、発信して頂けるものと思いますし、例年より内容の濃い総会となるように計画したいと思っております。
本会は、校友会本部と連携を保ち、支部会員相互の親睦を深め、もって母校に寄与する事を目的としており、今後も学校・学部・年度の枠を飛び越え、色々なところで活躍されている仲間たちと交流し、新しい繋がりを広げて行きたいと思っております。

第1回 OB＆OG会

第2回 OB＆OG会

第3回 OB＆OG会

第4回 OB＆OG会

第5回 OB＆OG会・第1回 大阪支部総会

第6回 OB＆OG会・第2回 大阪支部総会

塚本学院校友会で、大阪府に在住・在職している会員及び、大阪府以外に在住・在職している会員でも、目的に賛同して頂ける人を支部員としていますので、ぜひ、入会して頂きたいと思っております。今後も、目的達成に向け、SNS等での情報発信、見学会、発表会、後援会等を行っていきたいと思っております。
次回、2022年の総会も9月最後の土曜日に予定しておりますので、塚本学院校友会 大阪支部 会員の皆様、また新規会員も募集しておりますので、ふるってご参加下さい。

お問い合わせ先
株式会社 スタジオ オット　大林 誠
〒530-0047
大阪市北区西天満1丁目1-11 レーベルビル2F
Tel . 06-6363-1591
E-mail : otto_say_0510@yahoo.co.jp
Facebook
https://www.facebook.com/groups/ouoa84ct/

役員の選任

支部長	大林　誠	（芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻）
副支部長	辻　　健	（芸大 デザイン学科 グラフィックデザイン専攻）
	植井和彦	（芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻）
理事	下岡　清・吉谷武敏	（お二人とも 芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻）
	金沢ちかこ・西河英里	（お二人とも 芸短 デザイン美術学科 インテリアデザインコース）
	野田峰子・前田千寿	（お二人とも 芸大 デザイン学科 グラフィックデザイン専攻）
	植村幸治	（芸大 デザイン学科 インテリアデザイン専攻）

写真学科OB会支部活動報告

大阪芸術大学 写真学科OB会支部長　奥見 俊晴

写真学科OB会は、設立より2022年で3年目を迎えることが出来ました。現在は、会員数も400人を超え、総会、懇親会及びホームページでの卒業生の展覧会や出版等の告知などで、会員相互の親睦、交流の場として活動を続けております。しかし、新型コロナウイルス蔓延の影響により、昨年度は、総会及び懇親会を開催する事が出来ず、会則による総会での役員改選が行われませんでした。現執行役員は、任期の2年を超過して活動を行なっています。

役員改選及びOB会活動のため総会の開催を検討してまいりましたが、現在も続く感染対策の影響を受け、多数が集まっての総会開催を断念し、今年度の総会は、Zoom会議を利用したオンライン総会を下記の日程で開催し、役員改選及び会計報告等を行いたいと思います。

写真学科卒業生の皆様方におかれましては、ご多忙中を恐縮ではありますが、会員による活発な意見交換が出来ればと思いますので、ぜひとも、Zoom会議による総会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

総会について

日時／2022年2月13日（日）13時より
場所／Zoomによるオンライン会議
〈ログインIDとパスワードは後日通知します〉
議題／1.役員改選　2.会計報告　3.会則改定

また総会と合わせて会員相互の親睦を深めるためのオンラインイベントを開催予定です。

☆企画（1）

現在活躍する卒業生を招いてのトークショーを行います。詳細は決定次第OB会ホームページにて告知しますのでご期待ください。

☆企画（2）

WEBギャラリーを用いた卒業生による作品および近況報告写真の展示を行います。写真は、専用のWEBページにて一定期間展示を行います。総会当日には、Zoom会議を利用しWEBギャラリーを巡回しながらの近況報告会の開催を予定しております。

ぜひとも、この機会に普段は直接会うことのできない友人たちとの再会や、世代を超えた交流の機会として活用ください。写真学科卒業生であればどなたでも参加可能ですので、沢山の応募をお待ちしております。応募は随時OB会ホームページより受け付けております。

写真学科OB会支部WEBギャラリー

OB会の運営には、現在十数名の理事を中心としてボランティアで行っております。OB会の活動を継続するためには、印刷費、郵送費やホームページ運用など諸々の経費が必要となっております。新型コロナウィルス感染前には、総会開催時に多くの方々から寄付金を募り、OB会の運営費として活用して参りました。しかし、昨年度、今年度は、多数が集まる総会を開催する事もままならない状況が続き、今後の活動を継続する為には、運営費の調達が急務となっております。そこで、OB会の理念、運営に御賛同いただけます方々から、お気持ちのこもった寄付金を賜りたく、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

写真学科OB会支部Web理事会

総会およびイベントの詳細や、WEBギャラリーへの応募、寄付金募集方法の詳細等につきましては、OB会ホームページにて告知しております。下記のURLでご確認くださいますようお願い申し上げます。またホームページでは、普段より卒業生の展覧会や出版等の告知も行っておりますので、皆様からの情報提供などお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

大阪芸術大学写真学科
OB会支部ホームページ
https://www.photogeidai.com/
「写真学科 OB会」で検索

保育学科支部活動報告

大阪芸術大学短期大学部
保育学科支部長　伊山 千鶴子

保育学科卒業生の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

一昨年より新型コロナウィルス感染症が猛威をふるい、今も尚不安な生活が続いておりますが卒業生の皆様には、お変わりなくお過ごしでしょうか。

昨年Wings42号で令和3年度はコロナ禍の中で状況が見通せないことを鑑み、保育学科支部総会・懇親会は行わず、代替措置として支部の事業報告、会計報告については、保育学科支部会長及び副会長、役員で報告会を行う予定でおりましたが、その後予想だにしなかった新型コロナウィルス感染症の大きな波に役員会を行うことすら難しい状況が続いております。

保育学科支部の活動につきましてはコロナに負けることなく、今後も進めてまいります。どうぞ、皆さまもご自愛いただき必ずまた再会し、保育学科の先生方と懐かしいお話が出来る日が来ることを願っております。

円形校舎

長野県のOB・OGの皆様へ

支部結成の呼びかけ2

塚本学院大阪芸大グループの大学、短大、附属美術専門学校卒業の皆様におかれましてはそれぞれの立場で、ご健康にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。

一昨々年の11月に塚本学院校友会設立50周年式典が大阪で盛大に行われました。そこで長野県出身者の一人として、この機会に長野県支部（北信～中信～東信～南信）の結成を考えておりますが、当県は南北に長く広範囲のため、長野県北信、長野県中信、長野県東信、さらに長野県南信支部の結成を模索中です。

この一年、コロナ禍に悩まされ、さらにはオミクロン株による感染が拡大している現在…、既に校友会会員情報取材スタッフ制度の発表があり、特に北信や中信の方々にも情報スタッフに参加していただくと共に、出身学校、年齢、性別に関係なく北信、中信支部の幹事になっていただける方を広く募集いたします。詳細は塚本学院校友会事務局にお問い合わせください。

尚、南信支部（仮称）におきましては現状
・大阪芸大　デザイン学科第1期生　42年度卒
発起人代表　林　武史（飯田市）
・大阪芸大　デザイン学科第4期生　45年度卒
事務局　秦　照文（飯田市）
・大阪芸大　写真学科（開学8期生）　49年度卒
幹　事　唐木　孝治（高森町）
の構成メンバー3名を中心に発足を予定しております。
特に北信支部、中信支部、東信支部につきましては、核になる方を中心にして発足していただけるようお願い致します。

塚本学院校友会の絆を築くためにも是非とも参加していただきますよう、お願いとご案内を致します。お手数ながら詳細は校友会事務局へお問い合わせください。

文責/1期生　林　武史

プチギャラリー Wings

大阪芸術大学
芸術学部　美術学科／版画コース

作品サイズの単位は mm

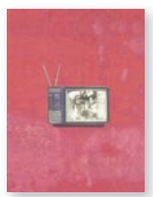
みずのなか
F19075　高松 美空
200×150
水性木版/和紙

春の吐息
F18080　藤本愛実
直径550の正円
木版画/水性絵具・油性絵具・和紙

星夜の琥珀糖
F19054　横川 舞衣
210×210
水性木版/和紙

ぴよ
F19041　逸見 渓太
792×547
シルクスクリーン/油性インク・PHO紙

Nothing To Wear
F18009　井出 晴
320×320
シルクスクリーン/
油性インク・PHO紙



無題
F18060　矢野 康平
270×195
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

だれ
F18088　李 宥萱
400×300
シルクスクリーン/
油性インク・PHO紙

Sunny
F18044　福ヶ迫 琴
280×380
シルクスクリーン/油性インク・キャンソン

プチギャラリー Wings

大阪芸術大学
芸術学部　美術学科／版画コース

作品サイズの単位は mm

後日談
F19006　呉 美喜
340×260
リトグラフ/油性インク・キャンソン

とける
F19004　上田 小晴
直径300
銅版画/シルクスクリーン/油性インク・ハーネミューレ

折衷
F18038　渡田 開斗
188×170
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

アダムス
F19009　尾林 楓月
235×180
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

凡になる一
F18061　山崎 達也
415×520
リトグラフ/油性インク・キャンソン

水中生活
F19002　伊東 輝
318×410
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

ファッションの秋
F18077　堤 義明
380×570
リトグラフ/油性インク・キャンソン

モク
F18068　石埜 晴
785×555
シルクスクリーン/油性インク・PHO紙

burn
F19039　平野 瑞稀
175×235
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

金魚
F18033　田辺 亮太
160×168
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

動
F19074　浅見 琴音
332×248
シルクスクリーン/油性インク・ケント紙

ゆらゆら
MS21048　孟 慶青
118×180
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

城と少年
F18012　上田 わか葉
410×345
シルクスクリーン/
油性インク・キャンソン

無題
F19030　豊田 遼
505×710
銅版画/油性インク・ハーネミューレ

孤独
F19062　ナイマ ワジティ
225×300
油性木版/銅版画/ハーネミューレ

結んで
F18040　西山 一葉
384×179
シルクスクリーン/
油性インク・PHO紙

一輪の空
F18051　松下 明子
210×150
水性木版/和紙

芸術計画学科学生による演習授業内プロジェクトの取り組み

芸術計画学科では、未来の社会を動かすイベントのつくり手を輩出するため、講義と演習を通して発想力・実践力の養成に取り組んでおります。

この度の大阪芸術大学体操服復刻プロジェクトも、学生たちが演習授業を通して実施しており、クラウドファンディング型（事前申込予約方式）を利用しますので、下記詳細を御一読いただきご賛同賜りますと幸いです。

芸術計画学科 学科長 教授 村上敬造

【芸ジャー復刻プロジェクト】事前応募のお申し込みのお知らせ

芸術計画学科では「青春ノスタルジック～過去のきらめきをもう一度～」と企画テーマを称し、体操服を復刻することが決定いたしました。

以前の大阪芸術大学では体育の授業が必須科目となっており、当時は全ての学生が体操服を購入し、着用していました。しかし、現在では体育の授業は必須科目ではなく、指定の体操服を着ることがなくなりました。

そこで、かつての伝統とノスタルジーを蘇らせるため、当時も大阪芸術大学の体操服を販売していた近鉄百貨店とタッグを組み、体操服を復刻するためのプロジェクトを実施いたします！ご購入を希望される卒業生の方はこのページに掲載している二次元コード、または URL にアクセスし、名前・メールアドレス・サイズ・卒業学科をご入力のうえ、送信してください。

Wings 読者限定の先着 100 セットのご用意となります。事前応募が 100 人に達しなかった場合は中止とさせていただきます。

卒業生の皆様、大阪芸術大学の伝統を蘇らせる活動に是非ご賛同お願いします。

※ご購入はお一人様につき 1 セットまでとなりますのでご了承ください。

※キャンセルは不可とさせていただきます、ご了承ください。

事前応募期間

Wings発行後
〜
2022年3月15日（火）まで

事前応募サイト

https://bit.ly/3zPzK0g
↑詳しくはこちらから

価　格

単　　価：15,700円
税込み価格：17,270円+送料

応募はお一人様一回、1 セットのみとさせていただきます

サイズ詳細（ジャージ上）

サイズ	M (身長170㎝程度)	L (身長175㎝程度)	XL (身長180㎝程度)
着丈	65㎝	70㎝	75㎝
バスト	98㎝	104㎝	110㎝

※ジャージ下・半袖の詳細は事前応募サイトにて記載しております。

お問い合わせ

ご質問などございましたら、下記のメールアドレスまでお尋ねください。
その際、件名を「芸ジャーの問い合わせ」と記入をお願いします。

geikei.kurafan.jyouei@gmail.com

問い合わせしていただいた内容は今回のプロジェクトでしか使用しません。

塚本学院校友会援助金検討委員会からのお知らせ

学生活動支援制度

塚本学院校友会では、充実した学生生活の創造と社会にとって有用な人材の育成を図ることを目指して、学生個人として修学上有益な自主活動（以下「支援対象活動」という。）に対する支援を行っています。

支援対象活動の例示

公募展への出展、コンテスト、コンクールへの出場、調査・研究

※1　支援対象経費
　　支援対象活動を行うために必要な経費
　　但し、対象外経費に注意してください。（詳細はしおりにて）

支援申請の対象者

（以下の用件を満たしている者）

1　大阪芸術大学、大阪芸術大学短期大学部及び大阪美術専門学校の在学生
2　塚本学院校友会の入会手続きを完了していること。（準会員）
3　学業を継続する意思と能力がありかつ学業・人物とも優秀であること

支援上限額　10 万円

支援金受給制限　年度内 1 回限り

支援申請用紙について

制度の詳細説明と支援申請書がついた「学生活動支援制度申請のしおり」は、塚本学院校友会ホームページからダウンロードするか、塚本学院校友会事務局にて配布しております。

提出方法

塚本学院校友会事務局へ直接届け出るか、郵送にて提出してください。

締切日

偶数月の末日（末日が休日の場合は翌日）
但し 12 月は第 3 週の金曜日

支援申請窓口・問い合せ

塚本学院校友会援助金検討委員会
塚本学院校友会　事務局
〒546-0023　大阪市東住吉区矢田 2-14-19
TEL:06-6607-1988　FAX:06-6607-7485
Email:tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp
HP:http://koyukai.osaka-geidai.ac.jp

芸短保育は元気です!!

世界中が新型コロナウイルス感染症と向き合い、戦う毎日が長く続いています。世の中がいろいろな初めてに戸惑う中、子どもたちの命を守り、心と体を育てる為の仕事を目指し「芸短保育」に来てくれた学生たちはコロナに負けることなく学びを続けています。

オンライン授業、マスクを通しての会話や実習。どれだけ不安で不便なことでしょう。けれども芸短保育に受け継がれる「元気さと明るさ」を身に付けた彼らは、自分に責任を持ち、友達を支え、子どもを愛する人へと育っていきます。まもなく一番大変な思いをした2020年度生が卒業を迎えます。コロナ禍での経験が豊かな保育者の礎となるよう祈ります。

特別講義（保育学科客員教授　鈴木翼先生）

フレッシュマンキャンプ inCampus

長居植物公園みどりの工作室（どんぐり工作隊）

あんよがじょうず　（オープンキャンパスで体験入学）

あんよがじょうず～クリスマスバージョン～

卒業式（令和２年度生）

「ビセンにビビビッ！」ビセンは大きく変わります！

校友会会員のみなさま、本校のホームページにツイッターを掲載していることをご存知でしょうか？

HPをスクロールしていただくと一番下にツイッターマークがあります。下記の QR コードからもご覧いただけます。

2018 年 4 月よりスタートして、4 年目になります。学校の日々の様子をお伝えしていることは言うまでもなく、特に過去のツイッターを閲覧していただくと、卒業生の受賞歴やアーティストとして活躍している人たちの個展情報の多さに驚いていただけるかと思います。卒業生たちの活躍と卒業生たちがこのような情報を学校に知らせてくれることを嬉しく思いますし、これからも卒業生たちと太い糸、細い糸でつながっていけることを願っています。

同じくホームページでビセンカラーのブルーの顔をしたかわいい「ビッ」を見つけてください。名前は「ビセンくん」です。このデザインは今年度から新しく校長として就任した大阪芸術大学教授でグラフィックデザイナーの三木健先生のデザインです。

三木先生が教える白熱授業「APPLE」は世界で話題となり、日本語・英語・中国語・韓国語で出版されています。「ワクワクドキドキ」「ビセンにビビビッ！」をテーマに本校は大きく変わろうとしています。オープンキャンパスは「トキメキ体験入学」です。

各コースから 60 分の授業を高校生に提供するにあたり、各コースの教員が数十個のプログラムを考えて、教員が自分自身で作品を作ってみて、お互いに検証した体験入学の授業内容です。本校は 2 学科 10 コース 13 分野ありますので各コースが 1 つ提供しても 13 クラスになります。各コースがそれぞれ数十個アイデアを考えて、厳選して作られた体験プログラムです。高校生に、「ワクワクドキドキ」を感じてもらえたらと切に願います。

ビセンの伝統である「デッサン教室（初心者クラス）」「デッサン教室（経験者クラス）」は変わらずに開講しています。

学内には、正面玄関を入った所に大型ポスターを掲示しています。廊下にはマナーキャンペーンポスターが貼られています。今後もこの「ビセンくん」がメディア媒体やグッズとしていたるところに現れますのでご期待ください。

在学生は頑張っています。マスクをして、ある種の緊張を抱えながらも電車通学をして対面授業に臨んでいます。密になることを警戒しながら毎日制作に励んでいます。時にはリモート授業に切り替わってもスマートにその時々の状況にフレキシブルに対応しています。それがビセンの学生であると思います。

自分が決める作品の到達点、自分との戦いがモノづくりをする者の普通です。

それをスマートにこなしているように見えるのは本校教員のきめ細かな教育力のおかげなのでしょう。学内は静かです。ビセンの学生はとにかく制作しています。

これからもビセンの学生の活躍にご期待ください！

学び のフィールド

現代芸術の多彩なフィールドを網羅する、大阪芸大グループの令和4年度の学科編成

大阪芸術大学

[アートサイエンス学科]
〈研究領域〉
- アートエンターテインメント
- 先端デザイン

[美術学科]
- 油画コース
- 日本画コース
- 版画コース
- 彫刻コース

[デザイン学科]
- グラフィックデザインコース
- イラストレーションコース
- デジタルメディアコース
- デジタルアーツコース
- プロダクトデザインコース
- 空間デザインコース
- デザインプロデュースコース

[工芸学科]
- 金属工芸コース
- 陶芸コース
- ガラス工芸コース
- テキスタイル・染織コース

[写真学科]
〈研究分野〉
- ファインアート
- プロフェッショナル
- 映像表現

[建築学科]
〈研究分野〉
- 建築
- 環境デザイン

[映像学科]
〈研究分野〉
- 映画
- 映像
- シナリオ
- 映像学

[キャラクター造形学科]
- 漫画コース
- アニメーションコース
- ゲームコース
- フィギュアアーツコース

[文芸学科]
〈研究分野〉
- 創作（小説・詩・脚本）
- ノンフィクション・文芸批評
- 出版・編集
- 翻訳・講読

[放送学科]
- 制作コース
- アナウンスコース
- 先端メディアコミュニケーションコース
- 声優コース

[芸術計画学科]
〈研究分野〉
- アートプロデュース
- イベントプロデュース

[舞台芸術学科]
- 演技演出コース
- ミュージカルコース
- 舞踊コース
- ポピュラーダンスコース
- 舞台美術コース
- 舞台音響効果コース
- 舞台照明コース

[音楽学科]
- 音楽・音響デザインコース
- 音楽教育コース

[演奏学科]
- ピアノコース
- 声楽コース
- 管弦打コース
- ポピュラー音楽コース

[初等芸術教育学科]

大阪芸術大学短期大学部

[大阪学舎]

[保育学科]

[伊丹学舎]

[メディア・芸術学科]
- メディアコース（出版・広告・放送・映像）
- 舞台芸術コース（身体表現・舞台制作）
- ポピュラー音楽コース
- 声優コース
- ポピュラーダンスコース

[デザイン美術学科]
- グラフィックデザイン・イラストレーションコース
- 空間演出デザインコース
- キャラクター・マンガ・フィギュアコース
- アニメーション・デジタルデザイン・ゲームコース
- 工芸・立体デザインコース
- 絵画・版画コース
- アートサイエンスコース

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校

[総合デザイン学科(3年制)]
- グラフィックデザインコース
- デジタルデザインコース
- イラストレーションコース
- プロダクトデザインコース
- インテリアデザインコース

[コミック・アート学科(2年制)]
- マンガコース
- コミックイラストコース
- アニメコース
- フィギュアコース
- 美術・工芸コース（絵画・版画・アクセサリー・陶芸）

令和5(2023)年度　入学試験日程

※入試について詳しくは主催校にお問い合わせください。

◆大阪芸術大学

●お問い合わせ／大阪芸術大学 入試部入試課　TEL **0721-93-6583**　URL https://www.osaka-geidai.ac.jp

■学部入学試験日程

試験種別	試験日	学　科	試験会場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜入学試験(1期)	令和4年 9月10日(土)～11日(日)	(2日間)全学科共通	本学	WEBエントリー　令和4年9月1日(木)～5日(月) 出願可否通知　令和4年9月20日(火) WEB出願〈専願制〉　令和4年9月21日(水)～9月29日(木) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】(簡易書留速達)	合格通知 令和4年 11月1日(火)	令和4年11月18日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
総合型選抜入学試験(2期)	令和4年 10月9日(日)～10日(月・祝)	(2日間)全学科共通	本学	WEBエントリー　令和4年10月1日(土)～5日(水) 出願可否通知　令和4年10月17日(月) WEB出願〈専願制〉　令和4年10月18日(火)～22日(土) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】(簡易書留速達)	合格通知 令和4年 11月1日(火)	令和4年11月18日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)

試験種別		試験日	学　科	試験会場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
一般選抜入学試験(1期) ※1		令和4年 11月12日(土)	デザイン・写真・映像・文芸 芸術計画・舞台芸術・音楽　各学科	本学	WEB出願　※5 令和4年11月1日(火)～11月6日(日) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和4年 12月1日(木)	令和4年12月14日(水) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
		令和4年 11月13日(日)	アートサイエンス・美術・工芸・建築・キャラクター造形 放送・演奏・初等芸術教育　各学科	本学			
※4 学校推薦型スポーツ選抜入学試験	専願制	令和4年 11月11日(金)	全学科共通	本学	令和4年11月1日(火)～11月5日(土) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)		
一般選抜入学試験(2期)　※1 [専門試験方式]		令和5年 2月7日(火)	デザイン・写真・映像・文芸 芸術計画・舞台芸術・音楽　各学科	本学	WEB出願　※5 令和5年1月27日(金)～1月31日(火) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和5年 2月22日(水)	令和5年3月3日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
一般選抜入学試験(2期)　※1※2※3 [共通テスト+専門試験 方式]		令和5年 2月8日(水)	アートサイエンス・美術・工芸・建築・キャラクター造形 放送・演奏・初等芸術教育　各学科	本学			
大学入学共通テスト 利用入学試験(1期)	※3	本学個別の試験は課しません			WEB出願 令和5年1月27日(金)～1月31日(火) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和5年 2月22日(水)	令和5年3月3日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
大学入学共通テスト 利用入学試験(2期)	※3	本学個別の試験は課しません			WEB出願 令和5年3月1日(水)～3月4日(土) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和5年 3月17日(金)	令和5年3月24日(金) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)

※1 試験日が異なる学科の併願、及び他の入学試験との併願が可能です。(入学検定料は一律。)　※2 一般入学試験[共通テスト＋専門試験 方式]に出願すると、自動的に一般入学試験[専門試験方式]及び大学入学共通テスト利用入学試験(1期)でも選考します。
※3 一般入学試験[共通テスト＋専門試験 方式]及び大学入学共通テスト利用入学試験(1期)(2期)の出願者は、令和5年1月14日(土)・15日(日)に実施される大学入学共通テストを受験してください。(令和5年度 大学入学共通テストの出願期間は令和4年10月上旬頃です。)
※4 スポーツ推薦入学試験においては事前に出願資格審査があります。詳細は「2023年度 学校推薦型スポーツ選抜入学試験学生募集要項」をご確認ください。
※5 外国人留学生は一般選抜入学試験(1期)・一般選抜入学試験(2期)(専門試験方式)に出願可能です。

■編入学試験日程

試験種別	試験日	学　科	試験会場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
3年次編入学	令和4年 11月12日(土)	デザイン・写真・映像・文芸 芸術計画・舞台芸術・音楽　各学科	本学	WEB出願 令和4年11月1日(火)～11月5日(土) 【出願書類は締切日翌日の郵便局消印有効】 (簡易書留速達)	令和4年 12月1日(木)	令和4年12月14日(水) 【郵便局消印有効】 (簡易書留速達)
	令和4年 11月13日(日)	アートサイエンス・美術・工芸・建築・キャラクター造形 放送・演奏・初等芸術教育　各学科	本学			

◆大阪芸術大学大学院

●お問い合わせ／大阪芸術大学 入試部入試課　TEL **0721-93-6583**　URL https://www.osaka-geidai.ac.jp

	試験種別	試　験　日	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
芸術研究科　博士課程[前期] 【芸術文化学専攻・芸術制作専攻】	1期入学試験	令和4年11月11日(金)	令和4年10月17日(月)～10月24日(月) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)	令和4年11月18日(金)	令和4年12月9日(金) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)
	2期入学試験	令和5年2月24日(金)	令和5年2月3日(金)～2月13日(月) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)	令和5年3月6日(月)	令和5年3月13日(月) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)

	試　験　日	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
芸術研究科　博士課程[後期] 【芸術専攻】 (芸術文化学研究分野・芸術制作研究分野)	令和5年2月24日(金)	令和5年2月3日(金)～2月13日(月) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)	令和5年3月6日(月)	令和5年3月13日(月) 【郵便局消印有効】(簡易書留速達)

※社会人特別選抜入学試験も同様の日程

◆大阪芸術大学短期大学部　●お問い合わせ／大阪芸術大学短期大学部 伊丹学舎 事務室　TEL 072-777-1842　URL https://osaka-geitan.jp

試験種別		エントリー受付期間	試験日	出願期間	合格発表日	手続締切日
総合型選抜入学試験（専願）	1期	令和4年 9月 1日(木)～ 9月 5日(月)	令和４年 9月10日(土)	令和4年 9月23日(金)～ 9月28日(水)	令和4年11月 1日(火)	令和4年12月13日(火)
	2期	令和4年 9月29日(木)～10月 3日(月)	令和４年10月 8日(土)	令和4年10月15日(土)～10月20日(木)	令和4年11月 1日(火)	令和4年12月13日(火)
	3期	令和4年11月17日(木)～11月21日(月)	令和４年11月26日(土)	令和4年12月 3日(土)～12月 8日(木)	令和4年12月17日(土)	令和5年 1月10日(火)
	4期	令和5年 2月 9日(木)～ 2月13日(月)	令和５年 2月18日(土)	令和5年 2月24日(金)～ 2月28日(火)	令和5年 3月 6日(月)	令和5年 3月13日(月)

試験種別	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
学校推薦型選抜指定校制入学試験（専願）	令和4年 11月1日(火)～11月7日(月)	令和４年11月12日(土)大阪 令和４年11月13日(日)伊丹	令和4年12月1日(木)	令和4年12月19日(月)
一般選抜入学試験（1期）				
一般選抜入学試験（2期）	令和5年 2月1日(水)～2月6日(月)	令和5年2月14日(火)	令和5年2月27日(月)	令和5年3月6日(月)
一般選抜留学生入学試験	令和5年 1月24日(火)～1月30日(月)			
共通テスト利用選抜入学試験	令和5年 2月1日(水)～2月6日(月)	大学入試共通テスト		
一般選抜入学試験（3期）	令和5年 3月4日(土)～3月8日(水)	令和5年3月13日(月)	令和5年3月16日(木)	令和5年3月23日(木)

予定の為、詳細は短大ホームページにてご確認ください。

◆大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校　●お問い合わせ／大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 入学センター　TEL 06-6713-4466　URL https://www.bisen.ac.jp/

試験種別		エントリーシート提出期間	選考日	入学選考結果通知	出願期間	合格発表	入学手続締切日
AO入学試験（専願）	1期	2022年 6月 1日(水)～ 6月13日(月)	6月19日(日)	各選考日の翌２日以内に発送	9月 1日(木)～ 9月14日(水)	各志願書提出締切日より翌３日以内に発送	11月17日(木)
	2期	2022年 6月29日(水)～ 7月11日(月)	7月17日(日)				
	3期	2022年 7月20日(水)～ 8月 1日(月)	8月 7日(日)				
	4期	2022年11月 2日(水)～11月14日(月)	11月20日(日)		～11月30日(水)		12月14日(水)
	5期	2023年 1月11日(水)～ 1月23日(月)	1月29日(日)		～ 2月 8日(水)		2月22日(水)
	6期	2023年 2月 8日(水)～ 2月20日(月)	2月26日(日)		～ 3月 8日(水)		3月20日(月)

試験種別	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
指定校制推薦入学試験（専願）	2022年10月 1日(土)～10月 7日(金)	10月16日(日)	試験日の翌2日以内に発送	11月17日(木)
	2023年 1月11日(水)～ 1月25日(水)	2月 1日(水)		2月25日(土)
授業料全額免除入学試験	2022年10月 1日(土)～10月21日(金)	10月30日(日)		11月17日(木)
自己推薦入学試験 社会人入学試験	2023年 1月11日(水)～ 1月25日(水)	2月 1日(水)		2月25日(土)
	2023年 2月24日(金)～ 3月10日(金)	3月18日(土)		3月27日(月)必着

プチギャラリー Wings

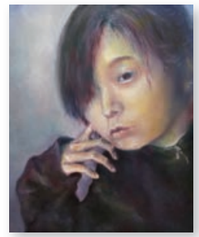
大阪芸術大学短期大学部
デザイン美術学科 絵画・版画コース

作品サイズの単位は mm

タンビカンザシフウチョウ
赤﨑 真理愛
333×242mm
麻紙ボールド、墨、水干絵具、岩絵具、アクリル絵具

夕雲
暮部 玲奈
803×1000mm
アクリル絵具

ふれる
齊藤 千明
910×727mm
油彩、キャンバス

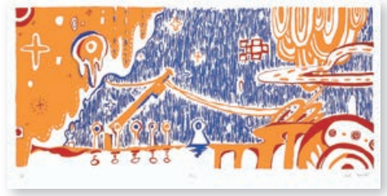


未熟なかっこつけ
椎原 睦優
606×500mm
油彩、キャンバス

憧憬
福田 光
242×333mm
麻紙ボールド、墨汁、水干絵具、岩絵具

海
福村 まゆき
1300×1620mm
油彩、キャンバス

スフィンクス
山根 望莉
318×410mm
テンペラ画



りく
浅見 琴音
544×726
紙/シルクスクリーン

peekaboo
樋口 葵
544×424
紙/リトグラフ

せいせい
秀島 真生
726×544
紙/シルクスクリーン

ウマレタキミ、ソウゲンのコエ
平 祥奈
364×257
紙/リトグラフ

夕日のあいだ
正井 真梨奈
544×423
紙/シルクスクリーン

Quo vadis
工藤 龍馬
544×726
紙/銅版画、リトグラフ

千尋の海
北尾の海
544×423
紙/リトグラフ

植物少女
安井 也実
544×423
紙/シルクスクリーン、コラージュ、手彩色

昨日
竹本 結
393×508
紙/シルクスクリーン

ホワイトイレイザー
片爪 寛明
544×726
紙/シルクスクリーン

The guidance of the graduation production exhibition

卒業制作のご案内

大阪芸術大学 卒業制作展

学内展

「令和3年度 大阪芸術大学 卒業制作展」
期間：令和4年2月13日(日)～20日(日)
11:00~17:00
会場：大阪芸術大学
※同時に芸術情報センター展示ホールにて
「優秀作品展」を開催

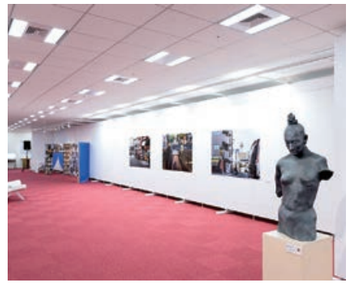
学外展

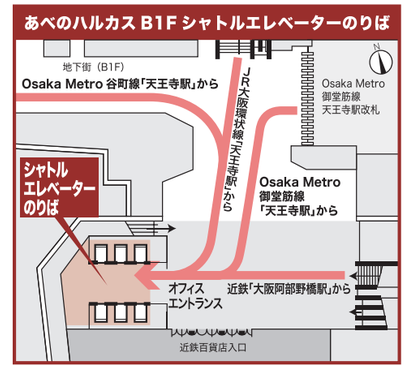
○大学院
「令和3年度 大阪芸術大学 大学院修了制作展」
期間：令和4年2月8日(火)～18日(金)
11:00~19:00（入場は~18:30）
会場：大阪芸術大学スカイキャンパス
〔休館日 2/14(月)〕

○芸術学部・短期大学部・大阪美術専門学校
「令和3年度 大阪芸術大学グループ
卒業制作選抜展」
期間：令和4年2月25日(金)～3月6日(日)
11:00~19:00（入場は~18:30）
会場：大阪芸術大学スカイキャンパス
〔休館日 2/28(月)〕

※詳細については、大阪芸大ウエブサイトをご確認ください。

■大阪芸術大学スカイキャンパス
〒545-6090 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス 24F
TEL 06-6654-5557
※あべのハルカスには本学専用駐車場がございません。恐れ入りますが公共交通機関をご利用の上、ご来場ください





あべのハルカス B1F オフィスエントランスよりシャトルエレベーターをご利用ください。（17F オフィスロビーにて、オフィスエレベーター（低層用）に乗り換え）

大阪芸術大学 短期大学部 卒業制作展

学内展（メディア・芸術学科）（デザイン美術学科）
期間：2022年 2 月 7 日(月)～12日(土)
10:00～16:00
会場：大阪芸術大学短期大学部　伊丹学舎

学外公演

○メディア・芸術学科　舞台芸術コース
期間：2022年 2 月 26 日(土)
会場：川西市みつなかホール

○メディア・芸術学科　ポピュラーダンスコース
期間：2022年 2 月 18 日(金)
会場：あましん アルカイックホール　オクト

○メディア・芸術学科　ポピュラー音楽コース
期間：2022年 3 月 13 日(日)
会場：ビルボードライブ大阪

▲卒業制作展

▲卒業制作展

▲ポピュラーダンスコース卒業公演

▲ポピュラー音楽コース卒業ライブ

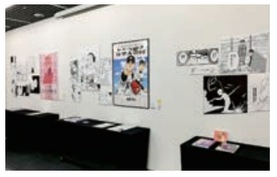
▲舞台芸術コース卒業公演

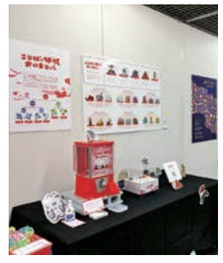
▲舞台芸術コース卒業公演 2

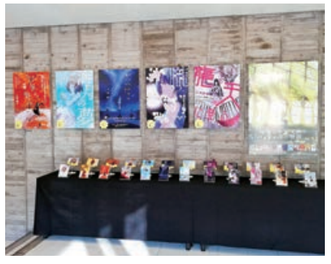
▲舞台芸術コース卒業公演 3

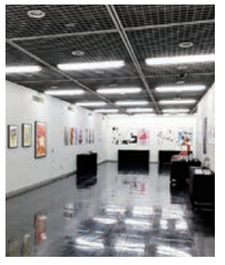
大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 卒業制作展

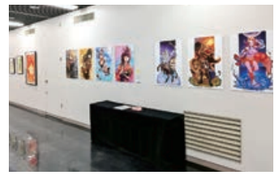
期間：2022年 2 月12日(土)～15日(火)
10:00～17:00
会場：大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校











Business Card Ad

1969年に設立された塚本学院校友会は、多くの皆さまが芸大グループに集い、学ばれました。2021年現在、その数は約113,000人を越え、卒業生はさまざまな業界で活躍されています。
「WINGS」は、学部、学科、世代が異なる卒業生をつなぐ縦糸・横糸の働きをするものと考えています。そこで、巣立っていかれた卒業生の皆さま同士が発展的な交流を生み出し、そして新たな価値創造を行う場として校友会会員企業広告を掲載いたします。同窓生（卒業生）の名刺型広告の掲載をお待ちしています。

子育てのこと、お気軽にご相談ください。
〈職員募集〉

◎児童養護施設
◇若江学院
・ショートステイ　・トワイライトステイ
大阪府東大阪市西岩田1-2-8
TEL：072-962-1808　FAX：072-962-1807

◎指定障害福祉サービス
◇若江障害者センター
・短期入所事業　・日中一時支援事業
大阪府東大阪市西岩田1-2-14
TEL：072-961-0009　FAX：072-961-0006

社会福祉法人　若福会
理事長・施設長　福永 亮碩
浪速短期大学 広報科 1964年3月卒

外構・造園設計施工
株式会社 田中造園

取締役営業部長
末廣　茂
芸術学部環境計画学科　卒

本　店
〒543-0054　大阪市天王寺区南河堀町9-48-208
TEL 06（6773）3376　FAX 06（6773）8283
河南支店
〒585-0004　大阪府南河内郡河南町山城639番地
TEL 0721（93）3119　FAX 0721（93）4674

池田 康子 創作舞踊ワークショップ
トータルセラピー ラピス・ヤスコの部屋
ホリスティックケアサロン：サロン・ド・ラピィ

YJW主宰　池田康子
大阪芸術大学　舞台芸術学科 舞踊コース卒業

〒557-0042　大阪市西成区岸里東1-5-22C
e-mail：yasukojw@nifty.com
https://www.facebook.com/Totarudansuyjw
舞踊デザイナー・衣装コーディネーター・トータルセラピスト

一級建築士事務所
スズキ デザイン オフィス

鈴木儀雄
大阪芸術大学 デザイン学科インテリア専攻（1969年度卒）
鈴木由慶
大阪芸術大学 建築学科（1999年度卒）

〒542-0061
大阪市中央区安堂寺町1-3-12　大阪谷町ビル7F
TEL 06-6796-7057　FAX 06-6796-7058
yoshio.suzuki@s-d-o.info　http://www.s-d-o.info

社会福祉法人 南河学園
児童養護施設 南河学園

副園長 伊山千鶴子
浪速短期大学 保育科 1975年3月卒

大阪府柏原市国分本町7丁目6-14
TEL 072-975-2200
FAX 072-975-2224

株式会社 スタジオオー

STUDIO O
OSAKA/TOKYO

大阪芸術大学 環境計画・建築・デザイン 卒業
龍田 修 E-1 ・ 金野 武治 E-83 ・ 大森 泰博 E-95 ・ 飴田 拓志 E-97 ・ 松本 達郎 A-00
住友 優 ED-03・中尾 智明 ED-04・長谷川 貴大 A-04・湯口 奈美子 D-04・樋上 和典 D-07
大阪　〒558-0022　大阪府住吉区帝塚山西1丁目1番25号　TEL 06（6653）5307
東京　〒135-0023　東京都江東区平野2丁目16番20号　TEL 03（3641）1133

みやび流　押絵
四代目
小西　聡甫
浪速短期大学　デザイン美術科 1996年3月卒

〒659-0035　兵庫県芦屋市公光町3-15
TEL&FAX：0797-34-1001
E-mail：ZWU00307@nifty.ne.jp
https://www.facebook.com/soho.oshie

株式会社 西日本電気保安事務所

代表取締役　樽本裕美
大阪芸術大学 美術学科 1990年3月卒

〒578-0905
大阪府東大阪市川田2丁目21番18号
TEL：072-963-5633　FAX：072-963-5832

WAY OUT
CREATIVE DESIGN OFFICE
HAND PHONE　090-3277-2129
TEL　0721-93-6868
FAX　0721-93-4687
http://www.geocities.jp/kfwgk261/
E-mail　kanyatsuboi@ybb.ne.jp

造形作家
壺井　勘也
大阪芸術大学 美術学科 1977年3月卒
585-0005
大阪府南河内郡河南町大宝5-3-12

YAMAWAKI DESIGN OFFICE

株式会社
山脇デザインオフィス
代表取締役
山脇 悠一郎
大阪芸術大学　デザイン学科 1968年
郵便番号 659-0092
兵庫県芦屋市大原町11-4
電話 0797-35-5676
E-mail: yama3007-1@rondo.ocn.ne.jp

Media Opus +

取締役COO
圓林真吾
大阪芸術大学 文芸学科 2003年3月卒

株式会社メディアオーパスプラス
大阪本社
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル2F
marubayashi@mediaopusplus.com
代表 06-6396-8540

---

photo boutique NON co.,ltd.
株式会社 フォトブティック・ノン

代表取締役社長
吉田　昇
浪速短期大学　デザイン学科写真専攻 1964年3月卒

〒565-0853　吹田市春日4丁目20番3号
TEL 06-6385-0107　FAX 06-6338-1626
E-MAIL：p-non@chive.ocn.ne.jp

伝統的工芸品 寄木細工専門店
箱根丸山物産

代表取締役　丸山一郎
昭和62年度　大阪芸術大学　工芸学科　卒業
有限会社　箱根丸山物産
箱根からくり美術館
箱根開発株式会社
〒250-0520 神奈川県足柄下郡箱根町箱根17番地
TEL. 0460-83-6604　FAX. 0460-83-7825
HP www.hakonemaruyama.co.jp

株式会社 渡辺石整舎

代表取締役
渡辺創太
大阪芸術大学　美術学科 1990年3月卒

〒660-0864　尼崎市東桜木町22
TEL/06-6411-0205
FAX/06-6411-1588
http://www.watanabesekiseisha.jp

山中基男
浪速短期大学　デザイン美術科 1963年3月卒

〒579-8013　大阪府東大阪市西石切町1-3-58
TEL 072-987-6388

塚本学院校友会誌
wings
www.osaka-geidai.ac.jp/koyukai/

企画広報委員はこの名刺を持って取材含め他の活動に対応致しております。

WINGS vol.43

執筆等、お世話になった方々

石橋　秀夫	小山　保広	高橋　成樹	三浦　栄一
今西　泰宏	坂井　裕子	多賀谷津也子	森　隆嘉
大下　靖子	咲田　響	中瀬　洋一	森脇　英哲
大林　誠	坂本　ひとみ	中村　麻由子	森脇　元太郎
大舩　光洋	佐藤　幸一郎	林　武史	森脇　早代
岡野　憲右	佐藤　武司	広瀬　まり	師岡　清高
奥見　俊晴	佐藤　はるか	福原　成雄	安井　寿磨子
片岡　昭夫	島村　和香子	牧村　邦彦	山本　恭平
日下部　一司	菅谷　富夫	松岡　一史	山本　善一郎
倉田　健一郎	千光士　義和	松田　典子	（50音順）（敬省略）
倉田　麻衣子	十川　英治	松本　尚大	
小山　忠之	平　美代子	丸山　一郎	

ウイングス編集の行程で大変お世話になりました
塚本学院校友会 事務局長／細見 勲さん　職員／柴田 稔子さん　松本 晴名さんに感謝します。

9月30日
会議　出席者

校友会　副会長
松井 公一
特別委員

企画広報委員
齋藤 信

企画広報委員
金沢 ちかこ

企画広報副委員長
竹垣 恵子

企画広報委員
吉川 幸夫

企画広報委員
東陰地 正喜

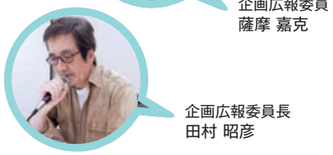
天気予報と
同じ様に各地のコロナ
感染情報が気になり、インフルエンザも
追いかけてくる。
緊張感のある今日この頃です。
この様な過酷な環境の中で誌面には楽しい記事、
明るい話題が求められています。
広報誌 Wings No.43 の取材スタッフが各自の
ネットワークを含め事務局に寄せられた様々な
情報を選択そして収録しました。
今後の記事扱いも含め皆様からのご意見、
ご提案、感想を塚本学院校友会 事務局
までお寄せくださいませ。

会議　欠席者

竹内 美子　香川 文人　岡田 邦彦
楓井 由美　木下 淳史　豊田 千晶
東 真一郎　平松 佑介　山口 俊介

企画広報委員
植村 幸治

企画広報委員
薩摩 嘉克



企画広報委員長
田村 昭彦

事務局　松本 晴名
9月30日　広報委員会に出席した委員です。
発言時のみマスクを外しております。

企画広報委員
和田 貢

企画広報委員
吉田 昇

企画広報委員
下村 宗生

事務局
柴田 稔子

事務局長
細見 勲

2022 WINGS vol.43

母校と校友を結ぶ コミュニケーション誌『WINGS』に 広告を掲載しませんか？

校友会では、広報誌やホームページを広告媒体として、
異業種交流の一環、「企業と個人」のコミュニケーションを
図るというコンセプトで企画しました。

■媒体概要

発行形態：年 1 回発行（次号予定は、2023 年 1 月予定）　判型：A4 版（天地 297× 左右 210mm）無線綴じ　印刷方式：オフセット輪転印刷（全ページカラー）
配布方式：会員名簿に基づき、会員へ無料で郵送
発行部数：70,000 部（令和 3 年度実績）　募集規格：天地 52 × 左右 87 mm
掲 載 料：1 回 1 枠 10,000 円（税込）

■お申し込み、お問い合わせは、塚本学院校友会 事務局

〒546-0023　大阪市東住吉区矢田 2-14-19
TEL：06-6607-1988 ／ FAX：06-6607-7485
E-mail：tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp

大阪芸術大学 / 工芸学科 / 陶芸コース
蛸　H250×W330×D340
松村 波知

卒業生（校友会員）の展覧会・コンサートなどの活動報告や、校友会事務局からのお知らせなどを掲載しています。広報誌『WINGS』のバックナンバーもデジタル BOOK で閲覧できます。
又、校友会員から提供されました。催物・音楽会等の招待券も事務局まで連絡いただきましたら送付します。是非会員の作品等を観賞してください。

塚本学院校友会ホームページ
http://koyukai.osaka-geidai.ac.jp

塚本学院校友会